4-547-800-**02** (1)

SONY

Data Projector

簡易説明書 JP

Quick Reference Manual GB

Guide de référence rapide FR

Manual de referencia rápida ES

Kurzreferenz DE

Guida rapida all'uso IT

快速参考手册 CS

Краткое справочное руководство RU

VPL-GTZ1

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書と付属の CD-ROM に入っている取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 2014 Sony Corporation

4547800020

よくあるお問い合わせ、窓口業務などはホームページをご利用ください。
http://www.sony.jp/professional/support/

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **0120-788-333**
携帯電話・PHS・一部のIP電話など
フリーダイヤルがご利用になれない場合 ・・・ **050-3754-9550**
FAX **0120-884-707**
受付時間　9:00～18:00（土・日・祝日、および休業日は除く）

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

出版日期：2014年9月

http://www.sony.net/

Sony Corporation Printed in Japan

このマニュアルについて

本書は、本機の設置から映像を映すまでの簡単な説明と、本機を取り扱う際に事故を防ぐための重要な注意事項を記載しています。
「インジケーターの見かた」は必要に応じてご覧ください。
操作方法について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書をご覧ください。

Step 1 準備する ..... 14 ページ

Step 2 設置する ..... 16 ページ

Step 3 接続する ..... 19 ページ

Step 4 メニューの表示言語を切り換える... 20 ページ

Step 5 見る ..... 21 ページ

困ったときは インジケーターの見かた ..... 22 ページ

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5 年に 1 度は、内部の点検を、ソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、ソニーの相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたりキャビネットを破損したときは

↓

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ ソニーの相談窓口に連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

JP

⚠警告

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

調整工具を内部に入れない

禁止

工具を誤って落とすと火災や感電の原因となります。

ハンドルの取り付けは絶対に自分でやらない

禁止

ハンドルの取り付けや取りはずしは、プロジェクター設置時に設置業者に依頼してください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、虫の入りやすい場所、直射日光のあたる場所、熱器具の近くに置かない

禁止

機器を油煙･湯気･湿気･埃の多い場所に設置すると、故障により火災や感電の原因となります。

プロジェクターの上に水の入った物を置かない

禁止

本機の上に水の入った物を置くと、倒れて感電の原因となります。

床置きおよび天吊り以外の設置をしない

禁止

壁への取り付けを行いたい場合はソニーご相談窓口へ連絡してください。

排気口、吸気口をふさがない

禁止

吸排気口をふさいだことによる熱で、やけどをする恐れがあります。

安全アースを接続する

アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと感電の原因となります。

指定された部品を使用する

指示

指定以外の部品を使用すると火災や感電および故障や事故の原因となります。

付属の電源コードを使用する

注意

付属の電源コードを使用しないと火災･感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードの挟み込みによりコードが傷付くと感電の原因となります。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

指示

電源コードは完全に挿入しないと接触不良により火災の原因となります。

容量の低い延長電源コードを使用しない

禁止

電源の延長には定格に余裕のあるコードを使用しないと発熱によりショートや火災、感電の原因となります。

レンズを覗かない

禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する

禁止

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

禁止

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入り故障や火災の原因となります。

お手入れの際は電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源 ON のままお手入れをすると感電や火傷の原因となります。

アースキャップやコネクターカバーは幼児の手の届かないところへ保管する

注意

お子様が誤って飲み込み、窒息死の恐れがあります。

内部を開けない

分解禁止

不用意に分解したり改造すると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行の時は電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長時間の不在時に電源を接続したままにしておくと思わぬ事故を招く恐れがあります。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります

運搬・移動は慎重に行う

注意

プロジェクターを持ち運ぶ際、落下させるとけがやプロジェクターの破損の原因となります。

本機を立てて置かない

禁止

縦置きすると倒れて思わぬ事故の原因となります。

ハンドルに衝撃を与えたり、重い物をぶら下げたりしない

禁止

衝撃を与えたり、重い物をぶら下げたりすると、けがやプロジェクターの破損の原因となります。

持ち運び以外の目的でハンドルを使用しない

禁止

持ち運び用途以外で使用するとけがやプロジェクターの破損の原因となります。

水のある場所に置かない

水ぬれ禁止

水のあるところに設置すると感電の原因となります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない

禁止

排気口やレンズの近くにスプレー缶などの発火物を置くと火災の原因となります。

不安定な場所に置かない

禁止

プロジェクターが落下して怪我をする恐れがあります。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

禁止

熱感知器、煙感知器のそばに設置すると装置が作動して思わぬ障害の原因となります。

脚部（調整可）調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

調整用足の調整を慎重に行わないと挟みこみ等で指をけがする恐れがあります。

脚は取りはずさない

禁止

脚以外の部分でプロジェクターを支えると故障や事故の原因となります。

製品の上に物を載せない

禁止

重量物や物を載せると故障や事故の原因となります。

製品の上に人が乗らない

禁止

人が乗ると故障や事故の原因となります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

接触禁止

落雷による感電の恐れがあります。

キャビネットのカバー類はしっかり固定する

指示

カバーの固定を忘れるとカバー類が落下してけがをする恐れがあります。

排気口周辺には触れない

高温

排気口周辺の高温部に触れると軽い火傷をする危険があります。

排気口を覗かない

禁止

排気口を覗くと強い光で目を傷つける原因となります。

本製品を使用中に他の機器の電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

注意

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

電源コード、接続コードに足を引っ掛けない

注意

電源コードや接続コードを足に引っ掛けて転倒したり、落下によるけがの原因となります。

ぬれた手で電源プラグに触らない

ぬれ手禁止

ぬれた手でプラグに触れると感電する危険があります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

禁止

遮った物体が変形して発煙発火の恐れがあります。

設置の際、本機と設置部分での指挟みこみに注意する

手を挟まれないよう注意

設置の際、本機と設置部分で指を挟み、けがをする恐れがあります。

天吊りする場合の安全上のご注意

⚠警告

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

禁止

天井への取り付けは必ずソニーの相談窓口にご相談ください(有料)。

落下防止をする

指示

天吊りする場合、必ずワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。その施工は、専門の設置業者に依頼してください。

特約店様へ

⚠警告

天井への取り付けには細心の注意をはらう

注意

- 天井への取り付け強度が不充分な場合、落下により死亡や大けがにつながることがあります。必ず専用の取り付け工事を実施してください。
- 取り付けを安全に行うために、本書の注意事項をお読みください。
- 取り付けが不完全な場合、落下する可能性があります。
  また、取り付け時にはプロジェクターを落下させ、けがをすることのないように作業は必ず3人以上で行ってください。

低い天井に天吊りしない

指示

頭などをぶつけてけがをすることがあります。

⚠注意

天吊りを行う際は必ず天井の強度を確認する

指示

天井の強度を確認しないまま設置すると落下による事故の原因となります。
必ずプロジェクターと使用する器具の重量を考慮するようにしてください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機で使用可能な乾電池についての注意事項を記載しています。

⚠警告

- 機器の表示に合わせて ⊕ と ⊖ を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- 液漏れした電池を使用しない。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。

⚠注意

- 外装チューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。
- 火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

3D メガネの電池を交換／廃棄するときのご注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。
必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

3D 映像視聴について

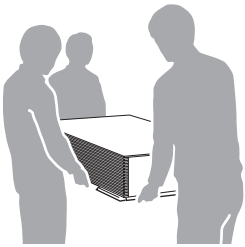
⚠注意

- 3D 映像をご覧になる以外には 3D メガネを使用しないでください。
- 3D 映像の視聴中や 3D テレビゲームのプレイ中に、眼の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D 映像を視聴したり、3D テレビゲームをしたりするときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断してください。不快な症状が出たときは、回復するまで 3D 映像の視聴や 3D テレビゲームのプレイをやめ、必要に応じて医師に相談してください。本機と一緒に使用する機器やソフトの取扱説明書もあわせてご覧ください。なお、お子様（特に 6 歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子様が 3D 映像を視聴したり、3D テレビゲームをプレイする前に小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子様が上記注意点を守るよう監督してください。
- 大人の監視がない場合、お子様だけのご使用はなさらないでください。
- ヒンジ（折りたたみ部）に指などを挟みこまれないようご注意ください。
- 3D メガネを落としたり改造したりしないでください。
- メガネのレンズが割れた際は、目や口に破片が入らないようにしてください。

設置・使用時のご注意

本機の持ち運びかた

持ち運びは、図のように両側面にそれぞれ1人、前面に1人の3人以上で行ってください。
底面を持つときは、奥まで手を入れてしっかりと持ってください。



ちょっと一言

ハンドル取り付け時は、ハンドルを持って運んでください。

ご注意

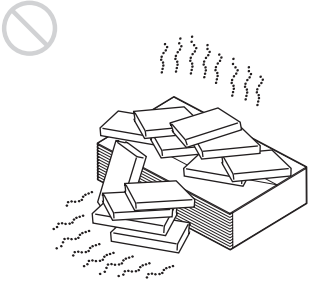
前面のコントロールパネル部を持たないようご注意ください。

設置に適さない場所

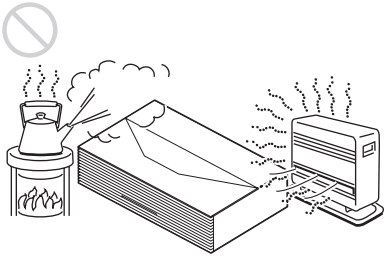
次のような場所には置かないでください。故障や破損の原因となります。

風通しの悪い場所

本機の上面や、前面 30 cm 以内には物を置かないようにしてください。

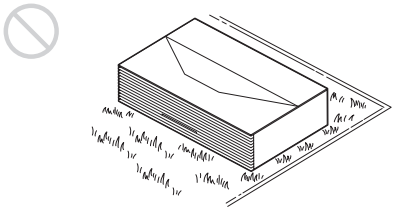


温度や湿度が非常に高い場所

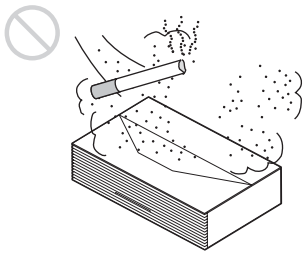


毛足の長いじゅうたんの上

本機の底面には吸気口があります。吸気口がふさがれると故障の原因となることがあります。



ほこりが多い場所、たばこの煙などが直接入る場所



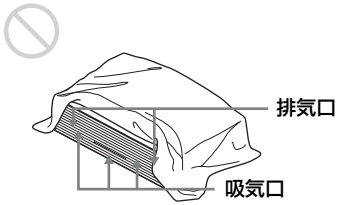
その他のご注意

- 空調からの風や、本機またはほかの周辺機器からの排気などの影響で、まれに画面にゆらぎが発生する場合があります。空調の風やこれら排気がレンズ部に回り込まないよう設置にご注意ください。
- 製品の脚に砂やゴミなどが入り込んだ場合、床を傷つけることがあります。

使用に適さない状態

次のような状態では使用しないでください。

吸気口や排気口を覆う



本機を前後左右に傾ける

本機を前後に傾けて配置すると投写面上の画像は台形状になります。投写面と本機を平行となるように配置してください。

標高の高い場所でご使用になる場合

海抜 1,500 m 以上の場所でのご使用に際しては、「初期設定」メニューの「冷却設定」を「強」にしてください。そのまま使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用上のご注意

光源まわりの点検について

本機はレーザーを使用しているため、光源まわりの点検等の整備を行う場合は、特別な注意と環境が必要です。必ずソニーの相談窓口にご依頼ください（有料）。

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

結露について

プロジェクターを設置している室内の急激な温度変化および、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだときなどは結露を引き起こすことがあります。

結露は故障の原因となりますので、冷暖房の温度調節にはご注意ください。結露が起きたときは、プロジェクターの電源を入れたまま約 4 時間放置した後でお使いください。

通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

ご注意

LAN 端子の接続について

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。

警告

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

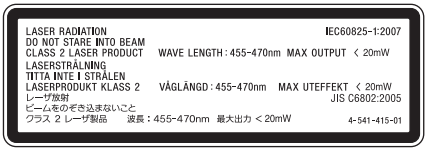
付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

本機は「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品」です。

注意

ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。



本機は「クラス 2 レーザー製品」です。このクラス 2 レーザー製品ラベルは、データプロジェクターの側面に貼付されています。

このラベルはデータプロジェクターの投写窓の横に貼付されています。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。

証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のソニーご相談窓口にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など（たとえばパーティションの設置など）についてご相談ください。

3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のソニーご相談窓口にお問い合わせください。

この表示のある無線機器は 2.4 GHz 帯を使用しています

変調方式として FH-SS 方式を採用し、与干渉距離は 10 m です。

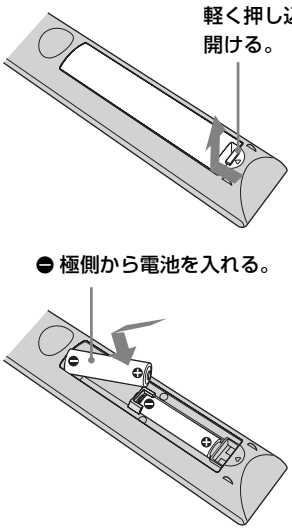
Step 1 準備する

付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

・リモコン RM-PJ28（1 個）
・単 3 型乾電池（マンガン）（2 本）
・電源コード（1 本）
・プラグホルダー（1 個）
・ハンドル（2 個）
・ハンドル固定用ネジ（予備）（4 個）
・調整工具（1 個）
・クリーニングクロス（1 枚）
・簡易説明書（本書）（1 部）
・取扱説明書（CD-ROM）（1 枚）
・保証書（1 部）

リモコンに電池を入れる



注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。
必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

電池の使用について

リモコン（RM-PJ28）には、単 3 型乾電池が 2 個必要です。
破裂の原因となりますので、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池以外は使わないでください。

リモコンの取り扱いについてのご注意

・落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
・直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

CD-ROM マニュアルの使いかた

Adobe Reader がインストールされたコンピューターで、取扱説明書を閲覧できます。
Adobe Reader は、Adobe のウェブサイトから無償でダウンロードできます。

1 CD-ROM に収録されている index.html ファイルを開く。

2 読みたい取扱説明書を選択してクリックする。

◆CD-ROM が破損または紛失した場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口経由で購入できます。

ハンドルの使いかた

必要に応じて、本体に付属のハンドルを取り付けて、持ち運びや設置を行ってください。

お客様へ

ハンドルの取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行なってください。

特約店様へ

ハンドルの取り付けの際には本書をよくご覧のうえ、設置を行なってください。取り付け不備や取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。

⚠警告

取り付け指示通りにハンドルを固定する

指示

取り付け指示通りに固定しないとハンドルがはずれ､けがやプロジェクターの破損の原因となります。

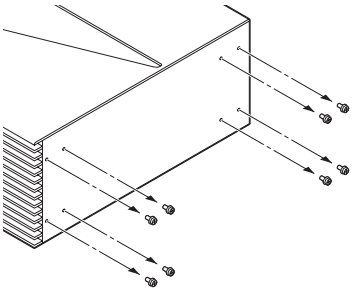
⚠注意

付属の部品以外でハンドルを固定しない

指示

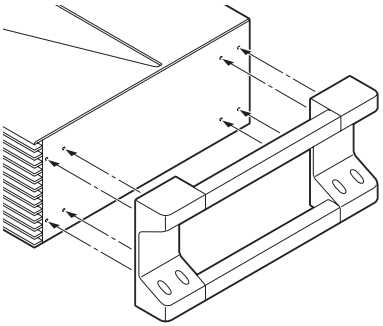
付属の取り付け部品以外で固定すると､プロジェクターを持ち運ぶ際に落下し､けがやプロジェクターの破損の原因となります。

1 本体両側の留め具をはずす。



2 ハンドルを本体に取り付ける。

ハンドルに付いているネジで取り付けてください。



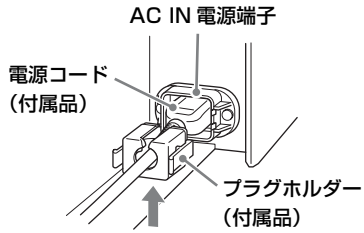
3 正しく取り付けられていることを確認する。

ハンドルの設置後は、ハンドルと本体に隙間がないことを確認のうえ使用してください。また2ヶ月に1度、留め具がしっかり固定されていることを確認してください。

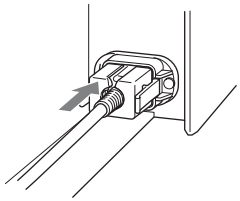
Step 2 設置する

電源コードを接続する

1 電源コードをAC IN電源端子に差し込み、プラグホルダーを電源コードに取り付ける。



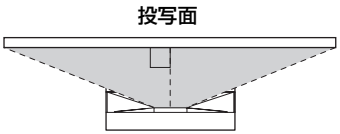
2 プラグホルダーをスライドさせて、本体に固定する。



本機を設置する

1 投写面に平行になるように本機を置く。

上から見た図



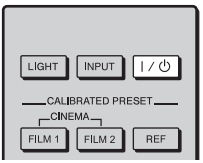
2 画像を映して画面の位置を調整する。

投写画面を調整する

1 電源コードを本機につないでから、電源プラグをコンセントに差し込む。

スタンバイ状態になります。

2 I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンを押して電源を入れる。



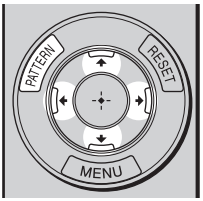
LED インジケーターが白色に点灯します。

3 投写サイズに対応するピクチャーポジション機能を使用する。

「スクリーン設定」メニューの「ピクチャーポジション」から設定することができます。

画面サイズ（ズーム最大時）	設置距離（投写面から後面部）	調整値の登録先
147 ～ 132 型	11 ～ 17 cm	ピクチャーポジション カスタム 1
132 ～ 121 型	6 ～ 11 cm	ピクチャーポジション カスタム 2
121 ～ 113 型	3 ～ 6 cm	ピクチャーポジション カスタム 3
113 ～ 106 型	0 ～ 3 cm	出荷時

4 スクリーンに画像を映して、画面の大きさ、画面中心のピント、画面上部の隅のピントおよび歪みを調整する。



❶ 画面の大きさを合わせる

PATTERN ボタンを繰り返し押して ZOOM 調整画面を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面の大きさを合わせる。

❷ 画面中心のピントを合わせる

PATTERN ボタンを繰り返し押して FOCUS 調整画面を表示し、画面中心のピントを合わせる。

❸ 画面上部の隅のピントおよび歪みを合わせる

PATTERN ボタンを繰り返し押して CORNER CORRECTION 調整画面を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで画面上部の隅のピントおよび歪みを合わせる。

5 画面が平行、水平、垂直になっていることを確認する。

❶ 画面の上辺と下辺が平行になっているかを確認する

平行になっていない場合は、投写面に対して本機を平行に設置する。

❷ 画面の下辺が水平になっているか確認する

水平になっていない場合は、本機が水平になるように左右の脚部（調整可）を調整する。

❸ 画面の左右の辺が垂直になっていることを確認する

垂直になっていない場合は、本機が投写面に対して垂直になるように手前の脚部（調整可）を調整する。

本機を設置する（天吊りの場合）

お客様へ

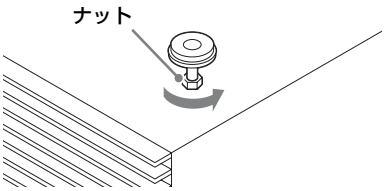
⚠警告

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらないでください。

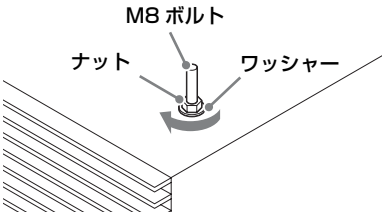
特約店様へ

「天吊りする場合の安全上のご注意」（7ページ）を必ずご確認ください。

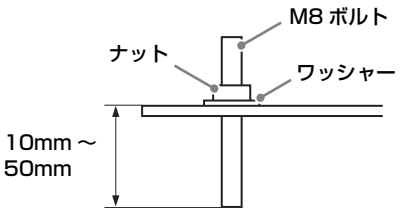
1 ナットをゆるめ、脚部をはずす（6 箇所）。



2 M8 ボルト（長さ 60mm 以上）とワッシャーを取り付け、ナットを締める。（推奨締付トルク：12.5 N・m）



ボルトの本体内部への挿入量：10mm 以上 50mm 以下



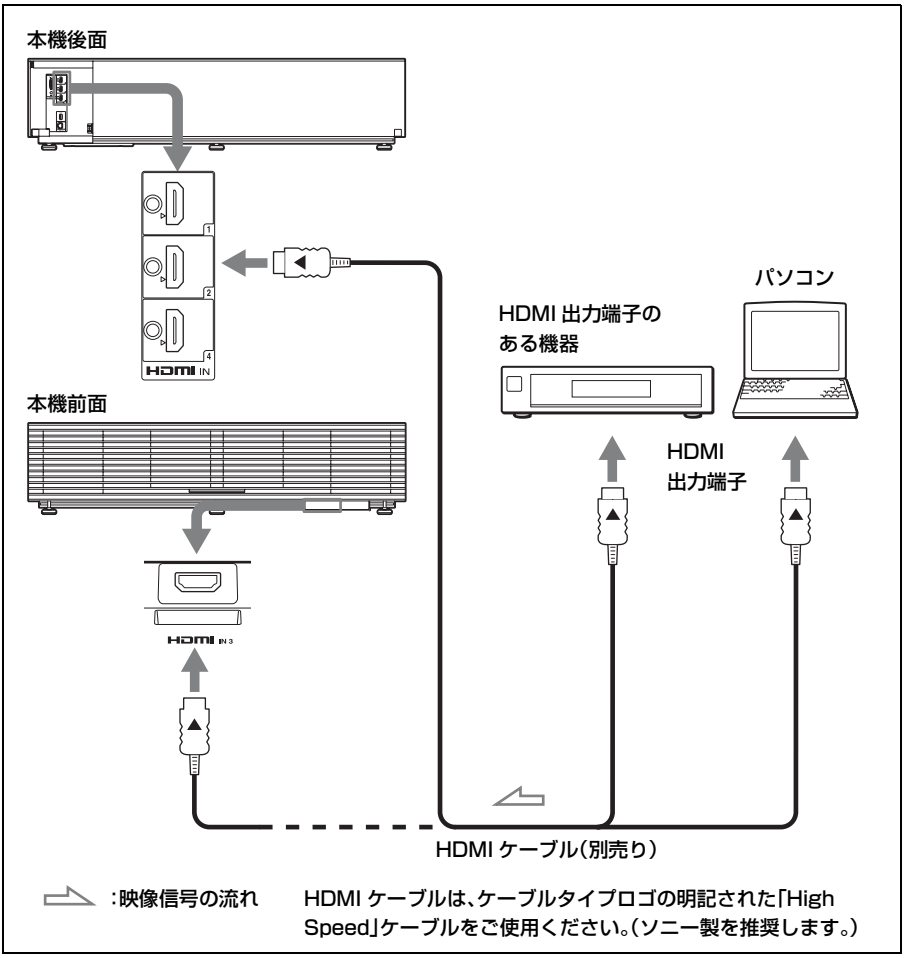
M8 ボルトの取り付け位置について詳しくは、取扱説明書（CD-ROM）の「寸法図」をご覧ください。

◆さらに詳しく知りたいときは、取扱説明書（CD-ROM）の「接続と準備」をご覧ください。

Step 3 接続する

接続するときは

・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不充分な接続は動作不良、画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

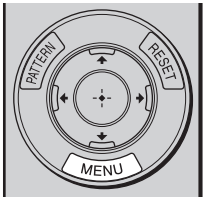


◆さらに詳しく知りたいときは、取扱説明書（CD-ROM）の「接続と準備」をご覧ください。

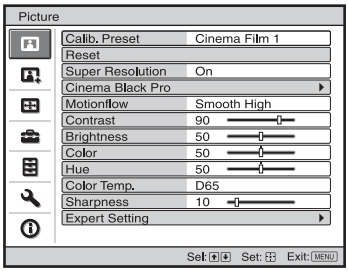
Step 4 メニューの表示言語を切り換える

お買い上げ時は、メニュー画面やメッセージの表示言語が英語に設定されています。以下の手順で変更してください。

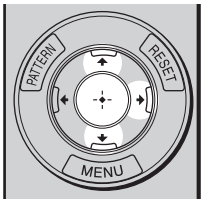
1 MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示する。



メニュー画面が表示されます。

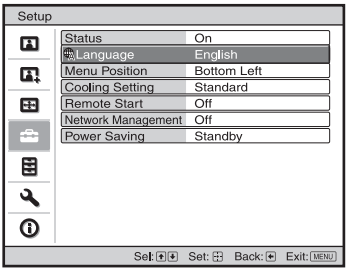


2 表示言語を切り換える。



❶ ↑/↓ ボタンを押して、Setup（初期設定）を選び、➡ または ⊕ ボタンを押す。

❷ ↑/↓ ボタンを押して、Language（表示言語）を選び、➡ または ⊕ ボタンを押す。



❸ ↑/↓/←/➡ ボタンを押して表示言語を選び、➡ または ⊕ ボタンを押す。

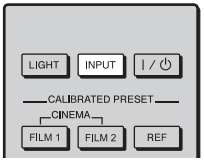
3 MENU ボタンを押し、メニュー画面を消す。

Step 5 見る

映像を投写する

1 本機と、本機に接続した機器の電源を入れる。

2 INPUT ボタンを押して、入力選択パレットを表示させる。



3 映したい機器を選ぶ。

INPUT ボタンを繰り返し押すか、↑/↓/⊕（確定）ボタンで映したい機器を選びます。

例：本機の HDMI1 端子につないだビデオの画像を見る

電源を切る

1 I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンを押す。

「パワーオフしますか？」というメッセージが表示されます。

2 メッセージが消える前に I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンをもう一度押す。

LED インジケーターが消灯します。

この後、電源コードを抜くことができます。

ご注意

・本機の電源が入っているときは、電源コードを抜かないでください。
・「🔧 設置設定」メニューの「イルミネーション」が「切」に設定されている場合は、LED インジケーターに変化はありません。

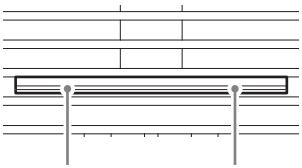
上記の手順のかわりに I/⏻（オン／スタンバイ）ボタンを約 1 秒押したままにしても電源が切れます。

◆さらに詳しく知りたいときは、取扱説明書（CD-ROM）の「見る」をご覧ください。

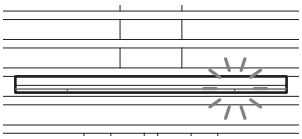
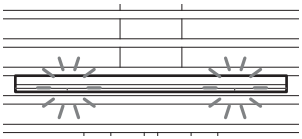
困ったときは

インジケーターの見かた

本機では、本体前面の WARNING1 インジケーターと WARNING2 インジケーターの点灯または点滅で不具合をお知らせします。



WARNING1 インジケーター　WARNING2 インジケーター

点滅／点灯状態	点滅回数	原因と対処
 （赤点滅）	3 回	光源が高温になっています。電源を切り、光源が冷えてからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合は、光源消耗が考えられます。ソニーの相談窓口にご相談ください。
	6 回	落下衝撃を検出しました。 異常時はソニーの相談窓口にご相談ください。 異常がない場合は、電源コードを抜き、LED インジケーターが消えるのを確認してからもう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
 （赤点滅）　（赤点滅） 同時に点滅	2 回	本体内部温度が高温になっています。排気口、吸気口がふさがれていないか、標高が高い場所で使用していないか確認してください。
	3 回	ファンが故障しています。ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご注意

上記以外の点滅ならびに上記対応を行っても解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

◆ご使用中にトラブルが発生したり、メッセージが表示された場合は、取扱説明書（CD-ROM）の「困ったときは」をご覧ください。

About the Quick Reference Manual

This Quick Reference Manual explains the installation and basic operations for projecting pictures. It also describes important notes and cautions to which you have to pay attention when handling and using this unit.
Refer to “About Indicators,” as necessary.
For details on the operations, refer to the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

Step 1 **Preparing** ..... **Page 12**

Step 2 **Installing the Unit** ..... **Page 14**

Step 3 **Connecting the Unit** ..... **Page 17**

Step 4 **Selecting the Menu Language** ..... **Page 18**

Step 5 **Projecting** ..... **Page 19**

Error Handling **About Indicators** ..... **Page 20**

Before operating the unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.
To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING
THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

WARNING
When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit. If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

CAUTION
About the LAN connector
For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to this port.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.
DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SJT, three 16 or 18 AWG wires
Length	Minimum 1.5 m (4 ft. 11 in.), Less than 4.5 m (14 ft. 9 in.)
Rating	Minimum 10 A, 125 V

Using this unit at a voltage other than 120 V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both. To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.
1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

For the customers in the U.S.A.
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to

comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of part 15 of FCC Rules.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

If you have any questions about this product, you may call;
Sony Customer Information Service Center 1-800-222-7669 or http://www.sony.com/

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model:	VPL-GTZ1
Responsible party:	Sony Electronics Inc.
Address:	16530 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number:	858-942-2230

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in the U.S.A. and Canada

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment complies with FCC/IC radiation exposure limits set forth for uncontrolled equipment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines in Supplement C to OET65 and RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules. This equipment should be installed and operated with at least 20cm and more between the radiator and person's body (excluding extremities: hands, wrists, feet and ankles).

This device and its antenna(s) must not be co-located or operating with any other antenna or transmitter except Grant condition.

For the customers in Canada

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

For the customers in Europe

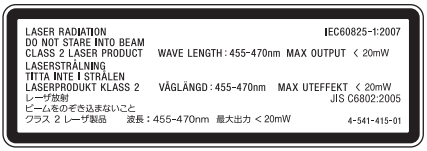
This product has been manufactured by or on behalf of Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. Inquiries related to product compliance based on European Union legislation shall be addressed to the authorized representative, Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters, please refer to the addresses provided in the separate service or guarantee documents.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

Caution

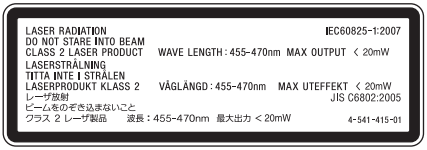
Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure.



This Data Projector is classified as a CLASS 2 LASER PRODUCT.
This CLASS 2 LASER PRODUCT label is located at the side of the Data Projector.

This label is located beside the projection window of the Data Projector.

För kunderna i Sverige



Denna dataprojektor är klassificerad som en LASERPRODUKT AV KLASS 2. Etiketten LASERPRODUKT AV KLASS 2 finns på dataprojektorns sida.

Denna etikett är placerad bredvid dataprojektorns projiceringsfönster.

Caution

The use of optical instruments with this product will increase eye hazard.

For the customers in Canada

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

For the customers in Europe

Notice for customers: the following information is only applicable to equipment sold in Countries applying EU directives.

CE

Bulgarian	С настоящето Сони Корпорация декларира, че VPL-GTZ1/Проектор за данни отговаря на основните изисквания и другите съответстващи клаузи на Директива 1999/5/ЕС. Подробности може да намерите на Интернет страницата : http://www.compliance.sony.de/.
Croatian	Ovime Sony Corporation izjavljuje da je VPL-GTZ1/podatkovni projektor u skladu s osnovnim zahtjevima i ostalim relevantnim odredbama direktive 1999/5/EZ. Dodatne informacije potražite na sljedećoj internet adresi: http://www.compliance.sony.de/
Czech	Sony Corporation tímto prohlašuje, že tento VPL-GTZ1/datový projektor je ve shodě se základními požadavky a dalšími příslušnými ustanoveními směrnice 1999/5/ES. Podrobnosti lze získat na následující URL: http://www.compliance.sony.de/
Danish	Undertegnede Sony Corporation erklærer herved, at følgende udstyr VPL-GTZ1/Dataprojektor overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF. For yderligere information gå ind på følgende hjemmeside: http://www.compliance.sony.de/
Dutch	Hierbij verklaart Sony Corporation dat het toestel VPL-GTZ1/Dataprojector in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG. Nadere informatie kunt u vinden op: http://www.compliance.sony.de/
English	Hereby, Sony Corporation, declares that VPL-GTZ1/Data Projector is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of the Directive 1999/5/EC. For details, please access the following URL: http://www.compliance.sony.de/

Estonian	Sony Corporation kinnitab käesolevaga seadme VPL-GTZ1/dataprojektor vastavust 1999/5/EÜ direktiivi põhinõuetele ja nimetatud direktiivist tulenevatele teistele asjakohastele sätetele. Üksikasjalikum info: http://www.compliance.sony.de/.
Finnish	Sony Corporation vakuuttaa täten että VPL-GTZ1/Dataprojektori tyyppinen laite on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiivin muiden ehtojen mukainen. Halutessasi lisätietoja, käy osoitteessa: http://www.compliance.sony.de/
Greek	Με την παρούσα η Sony Corporation δηλώνει ότι VPL-GTZ1/Προβολέας δεδομένων συμμορφώνεται προς της ουσιώδεις απαιτήσεις και τις λοιπές σχετικές διατάξεις της οδηγίας 1999/5/ΕΚ. Για λεπτομέρειες παρακαλούμε όπως ελένξετε την ακόλουθη σελίδα του διαδικτύου: http://www.compliance.sony.de/
Hungarian	Alulírott, Sony Corporation nyilatkozom, hogy a(z) VPL-GTZ1/ adatprojektor megfelel a vonatkozó alapvető követelményeknek és az 1999/5/EC irányelv egyéb előírásainak. További információkat a következő weboldalon találhat: http://www.compliance.sony.de/
Latvian	Ar šo Sony Corporation deklarē, ka VPL-GTZ1/datu projektors atbilst Direktīvas 1999/5/EK būtiskajām prasībām un citiem ar to saistītajiem noteikumiem. Plašāka informācija ir pieejama: http://www.compliance.sony.de/
Lithuanian	Šiuo Sony Corporation deklaruoja, kad šis VPL-GTZ1/duomenų projektorius atitinka esminius reikalavimus ir kitas 1999/5/EB Direktyvos nuostatas. Susipažinti su visu atitikties deklaracijos turiniu Jūs galite interneto tinklalapyje: http://www.compliance.sony.de/
Norwegian	Sony Corporation erklærer herved at VPL-GTZ1/dataprojektor er i samsvar med de grunnleggende krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF. For flere detaljer, vennligst se: http://www.compliance.sony.de/
Polish	Niniejszym Sony Corporation oświadcza, że VPL-GTZ1/projektor jest zgodny z zasadniczymi wymaganiami oraz innymi stosownymi postanowieniami Dyrektywy 1999/5/WE. Szczegółowe informacje znaleźć można pod następującym adresem URL: http://www.compliance.sony.de/
Portuguese	Sony Corporation declara que este VPL-GTZ1/Projector de dados está conforme com os requisitos essenciais e outras disposições da Directiva 1999/5/CE. Para mais informacoes, por favor consulte a seguinte URL: http://www.compliance.sony.de/
Romanian	Prin prezenta, Sony Corporation declară că VPL-GTZ1/Proiector respectă cerinţele esenţiale şi este în conformitate cu prevederile Directivei 1999/5/EC. Pentru detalii, vă rugăm accesaţi următoarea adresă: http://www.compliance.sony.de/
Slovak	Sony Corporation týmto vyhlasuje, že VPL-GTZ1/dataprojektor spĺňa základné požiadavky a všetky príslušné ustanovenia Smernice 1999/5/ES. Podrobnosti získate na nasledovnej webovej adrese: http://www.compliance.sony.de/

Slovenian	Sony Corporation izjavlja, da je ta VPL-GTZ1/podatkovni projektor v skladu z bistvenimi zahtevami in ostalimi relevantnimi določili direktive 1999/5/ES. Za podrobnosti vas naprošamo, če pogledate na URL: http://www.compliance.sony.de/
Swedish	Härmed intygar Sony Corporation att VPL-GTZ1/Dataprojektor står står I överensstämmelse med de väsentliga egenskapskrav och övriga relevanta bestämmelser som framgår av direktiv 1999/5/EG. För ytterligare information gå in på följande hemsida: http://www.compliance.sony.de/
Turkish	Sony Corporation, VPL-GTZ1/Veri Projektörü ürünü için gerekli tüm testleri 1999/5/EC Direktifine gore yapmış bulunmaktadir. Daha detaylı bilgi için lütfen web sayfasını ziyaret ediniz: URL: http://www.compliance.sony.de/

For the customers in Taiwan/

針對台灣消費者

Radio cautions sentence/
無線電磁波法規
第十二條
經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
第十四條
低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。
低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Caution on replacement/disposal of the battery for the 3D glasses

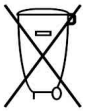
Danger of explosion if battery is incorrectly replaced.
Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer.
When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.

For the customers in Taiwan only

廢電池請回收

For the Customers in Brazil only

DESCARTE DE PILHAS E BATERIAS



Após o uso, as pilhas e/ou baterias deverão ser entregues ao estabelecimento comercial ou rede de assistência técnica autorizada.

Pilhas e Baterias não recarregáveis
Atenção:
Verifique as instruções de uso do aparelho certificando-se de que as polaridades (+) e (-) estão no sentido indicado. As pilhas poderão vazar ou explodir se as polaridades forem invertidas, expostas ao fogo, desmontadas ou recarregadas.

Evite misturar com pilhas de outro tipo ou com pilhas usadas, transportá-las ou armazená-las soltas, pois aumenta o risco de vazamento.

Retire as pilhas caso o aparelho não esteja sendo utilizado, para evitar possíveis danos na eventualidade de ocorrer vazamento.

As pilhas devem ser armazenadas em local seco e ventilado.

No caso de vazamento da pilha, evite o contato com a mesma.
Lave qualquer parte do corpo afetado com água abundante.
Ocorrendo irritação, procure auxílio médico.

Não remova o invólucro da pilha.

Mantenha fora do alcance das crianças. Em caso de ingestão procure auxílio médico imediatamente.

For the customers in the U.S.A.

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit http://www.sony.com/psa/warranty for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Canada

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit http://www.sonybiz.ca/solutions/Support.do for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

For the customers in Europe

Sony Professional Solutions Europe - Standard Warranty and Exceptions on Standard Warranty.
Please visit http://www.pro.sony.eu/warranty for important information and complete terms and conditions.

For the customers in Korea

SONY LIMITED WARRANTY - Please visit http://bpeng.sony.co.kr/handler/BPAS-Start for important information and complete terms and conditions of Sony's limited warranty applicable to this product.

Precautions

On safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected to the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while in use.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes. The air coming out is hot.

On preventing internal heat build-up

After you turn off the power with the **I**/⏻ (ON/STANDBY) button, do not disconnect the unit from the wall outlet while the cooling fan is still running.

Caution

This unit is equipped with ventilation holes (intake/exhaust). Do not block or place anything near these holes, or internal heat build-up may occur, causing picture degradation or damage to the unit.

On repacking

Save the original shipping carton and packing material; they will come in handy if you ever have to ship your unit. For maximum protection, repack your unit as it was originally packed at the factory.

On watching 3D video images

Safety precautions

- You should only use the 3D glasses for watching 3D video images.
- If you observe flickering or flashing, turn off the lighting in the room.
- Not for use by children without proper adult supervision.
- Be careful not to pinch your fingers in hinges of the 3D glasses when bending the temple frames.
- Do not drop or modify these 3D glasses.
- If these glasses are broken, keep broken pieces away from your mouth or eyes.

On inspection of light source related parts

Since the unit uses a laser, when performing maintenance or inspection of light source related parts, particular attention and a safe environment are necessary. Be sure to consult with qualified Sony personnel (charged).

On LCD Projector

The LCD projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that continuously appear on the LCD projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction.
Also, when you use multiple LCD projectors to project onto a screen, even if they are of the same model, the color reproduction among projectors may vary, since color balance may be set differently from one projector to the next.

On condensation

If the room temperature where the projector is installed changes rapidly, or if the projector is moved suddenly from a cold to a warm place, condensation in the projector may occur. As the condensation may cause malfunction, be careful in adjusting temperature settings of the air conditioner. If condensation occurs, leave the projector turned on for about four hours before use.

SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND RESULTING FROM A FAILURE TO IMPLEMENT PROPER SECURITY MEASURES ON TRANSMISSION DEVICES, UNAVOIDABLE DATA LEAKS RESULTING FROM TRANSMISSION SPECIFICATIONS, OR SECURITY PROBLEMS OF ANY KIND.

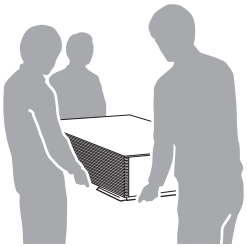
Notes

- Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR CLAIMS OF ANY KIND MADE BY USERS OF THIS UNIT OR MADE BY THIRD PARTIES.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR THE TERMINATION OR DISCONTINUATION OF ANY SERVICES RELATED TO THIS UNIT THAT MAY RESULT DUE TO CIRCUMSTANCES OF ANY KIND.

Notes on Installation and Usage

Carrying the unit

When carrying the unit, be sure to use three or more people - one person for each side and one person for the front side as in the below illustration.
When holding the bottom of the unit, hold it firmly by placing your hand under the inner part as much as possible.



Tip

While the handle is attached, grab the handle to carry.

Note

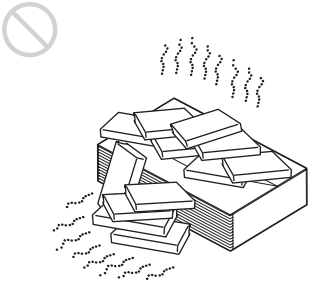
Be sure not to grasp the control panel part.

Unsuitable installation

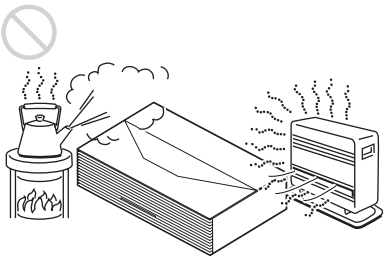
Do not place the unit in the following situations, which may cause malfunction or damage to the unit.

Poorly ventilated location

Leave space of more than 30 cm (11 $^{7}/_{8}$ inches) from the top or front of the unit.

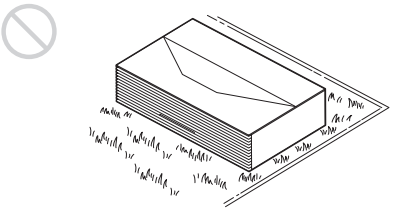


Hot and humid

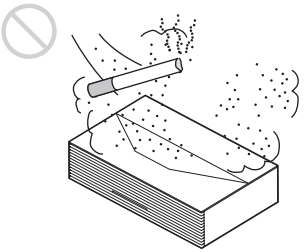


On a long fluffy carpet

There are the ventilation holes on the bottom of the unit. It may cause a malfunction if the ventilation holes are blocked.



Very dusty and extremely smoky locations



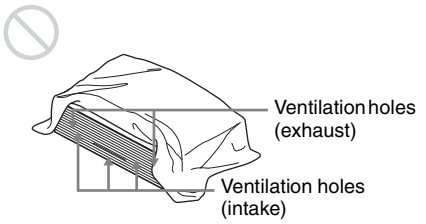
Other Note

- Air from air conditioners or the ventilation holes of this unit or other devices, may cause oscillation on the projection surface. Be sure not to install this unit in the area where the air from air conditioners or the ventilation holes of these devices reach to the lens part of this unit.
- If there is debris, sand, etc. in the legs of the unit, the floor may be damaged.

Unsuitable Conditions

Do not do any of the following while using the unit.

Blocking the ventilation holes (intake or exhaust)



Tilting front/rear and left/right

If the unit is installed with inclining back and forth, the picture shape on the projection surface is trapezoidal. Install the unit so that the unit and projection surface are arranged in parallel.

When installing the unit at high altitudes

When using the unit at an altitude of 1,500 m (approx. 4,900 ft) or higher, set "Cooling Setting" on the Setup menu to "High". Failing to set this mode when using the unit at high altitudes could have adverse effects, such as reducing the reliability of certain components.

Safety precautions for the handle

- Do not use the handle for purposes other than for which it is designed.
- Only qualified service personnel should carry out installation or dismounting of the handle from the unit.
- Use the supplied accessories only. Use of accessories other than those supplied may result in damage to the handle.
- Do not hit or hang any heavy objects on the handle. If the handle is damaged, stop use and contact a qualified service person immediately.

Safety precautions for installing the unit on a ceiling

- Never mount the projector on the ceiling or move it by yourself. Be sure to consult with qualified Sony personnel (charged).
- When installing the unit on a ceiling, be sure to use a safety wire, etc., to prevent the unit from falling. Entrust the installation to an experienced contractor or installer.

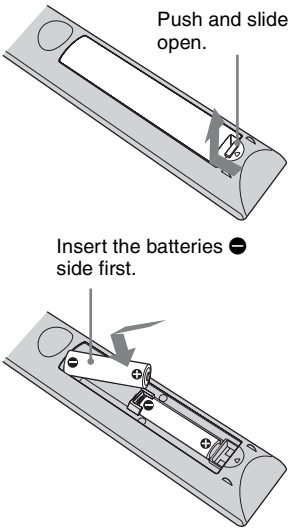
For dealers

- When the projector is mounted on the ceiling, a Sony bracket or recommended equivalent must be used for installation.
- Be sure to secure the cabinet cover firmly when installing to the ceiling firmly.

Checking the Supplied Accessories

Check the carton to make sure it contains the following items:
- Remote control RM-PJ28 (1)
- Size AA (R6) manganese batteries (2)
- AC power cord (1)
- Plug holder (1)
- Handle (2)
- Screws for handle fixation (spare) (4)
- Adjustment tool (1)
- Cleaning cloth (1)
- Quick Reference Manual (this manual) (1)
- Operating Instructions (CD-ROM) (1)

Inserting the Batteries into the Remote Control



CAUTION

Danger of explosion if battery is incorrectly replaced.
Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer.
When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.

Installing batteries

Two size AA (R6) batteries are supplied for RM-PJ28 Remote Control.
To avoid risk of explosion, use size AA (R6) manganese or alkaline batteries.

Caution about handling the remote control

- Handle the remote control with care. Do not drop or step on it, or spill liquid of any kind onto it.
- Do not place the remote control in a location near a heat source, a place subject to direct sunlight, or a damp room.

Using the CD-ROM manual

The manual can be read on a computer with Adobe Reader installed.
You can download Adobe Reader free from the Adobe website.

1 Open the index.html file in the CD-ROM.

2 Select and click on the manual that you want to read.

Note

If you have lost or damaged the CD-ROM, you can purchase a new one from your Sony dealer or Sony service counter.

Using the handle

Attach the supplied handle to the unit to carry or install when required.

For customers

Sufficient expertise is required for installing the handle. Be sure to subcontract the installation to Sony dealers or licensed contractors and pay special attention to safety during the installation.

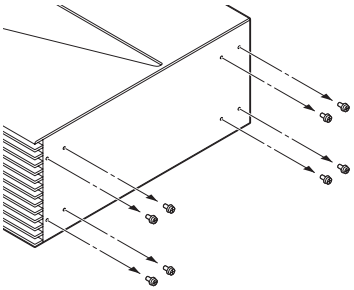
For dealers

Be sure to read this manual thoroughly when installing the handle. Sony is not liable for

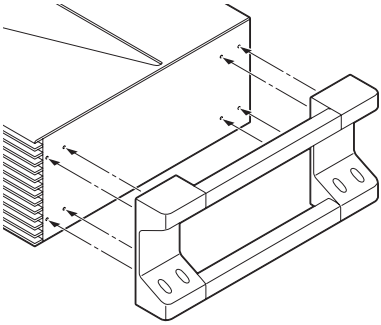
any damages or injury caused by mishandling or improper installation.

Be sure to read “Safety precautions for the handle” (page 11).

1 Remove the fasteners on both sides of the unit.



2 Attach the handle to the unit.
Use the screws attached to the handle.

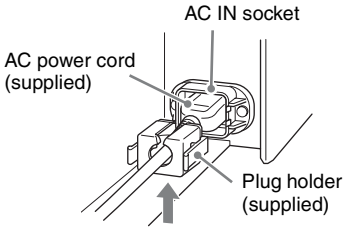


3 Check if the handle is attached properly.
After installation of the handle, check that there is no space between the handle and the unit. Ensure that the screws are still tight every two months.

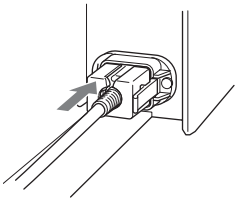
Step 2 Installing the Unit

Connecting the AC Power Cord

1 Plug the AC power cord into the AC IN socket, then attach the plug holder to the AC power cord.



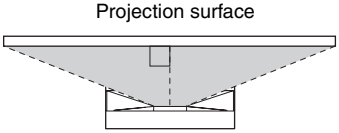
2 Slide the plug holder over the AC power cord to fix to the unit.



Installing the Unit

1 Position the unit so that the unit is parallel to the projection surface.

Top view

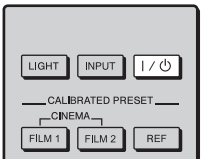


2 Project an image on the projection surface and adjust the picture so that it fits the projection surface.

Adjusting the Projection Image

1 After connecting the AC power cord to the unit, plug the AC power cord into a wall outlet.
The unit goes into standby mode.

2 Press the I/⏻ (ON/STANDBY) button to turn on the unit.



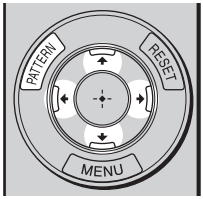
The LED indicator lights in white.

3 Use the Picture Position function that matches the projection size.

This setting is available in "Picture Position" of the Screen menu.

Image size (for maximum zoom)	Installation distance (from a projection surface to the rear of the unit)	Destination for adjustment
147- to 132-inch	11 to 17 cm (4.3 to 6.7 inches)	Picture Position Custom 1
132- to 121-inch	6 to 11 cm (2.4 to 4.3 inches)	Picture Position Custom 2
121- to 113-inch	3 to 6 cm (1.2 to 2.4 inches)	Picture Position Custom 3
113- to 106-inch	0 to 3 cm (0 to 1.2 inches)	Default setting

4 Project an image on the screen, then adjust the ZOOM, FOCUS, and CORNER CORRECTION.



❶ Adjust the picture size.

Press the PATTERN button repeatedly to display the ZOOM adjustment window, and adjust the size of the picture by pressing the ↑/↓/←/→ buttons.

❷ Adjust the focus.

Press the PATTERN button repeatedly to display the FOCUS adjustment window, and adjust the focus of the center of the picture.

❸ Adjust the focus and distortion on the top corner of the picture.

Press the PATTERN button repeatedly to display the CORNER CORRECTION adjustment window, and adjust the focus and distortion on the top corner of the picture by pressing the ↑/↓/←/→ buttons.

5 Check that the screen is parallel, horizontal, and vertical.

❶ Check if the upper side and lower side of the picture are parallel.

If not, install the unit in a position parallel to the projection surface.

❷ Check if the lower side of the picture is horizontal.

If not, use the left/right feet (adjustable) to keep the unit level.

❸ Check if the left side and right side of the picture are vertical.

If not, use the foreground feet (adjustable) to keep the unit vertical to the projection surface.

Installing the Unit (On a ceiling)

For customers

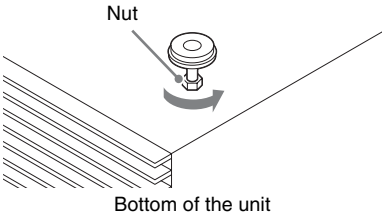
CAUTION

When mounting the projector to the ceiling or moving it to a different location, do not do so by yourself.

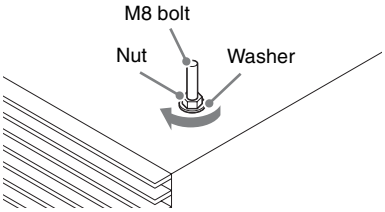
For dealers

Be sure to read "Safety precautions for installing the unit on a ceiling" (page 11).

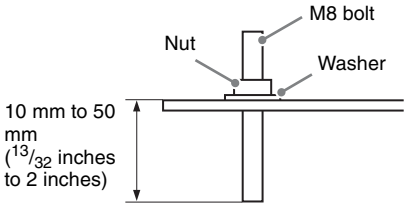
1 Loosen the nut and remove the feet (six points).



2 Attach an M8 bolt (60 mm or longer) and a washer then fasten the nut. (The recommended fastening torque: 12.5 N•m)



The amount of bolt insertion into the unit: from 10 mm to 50 mm ($^{13}/_{32}$ inches to 2 inches).



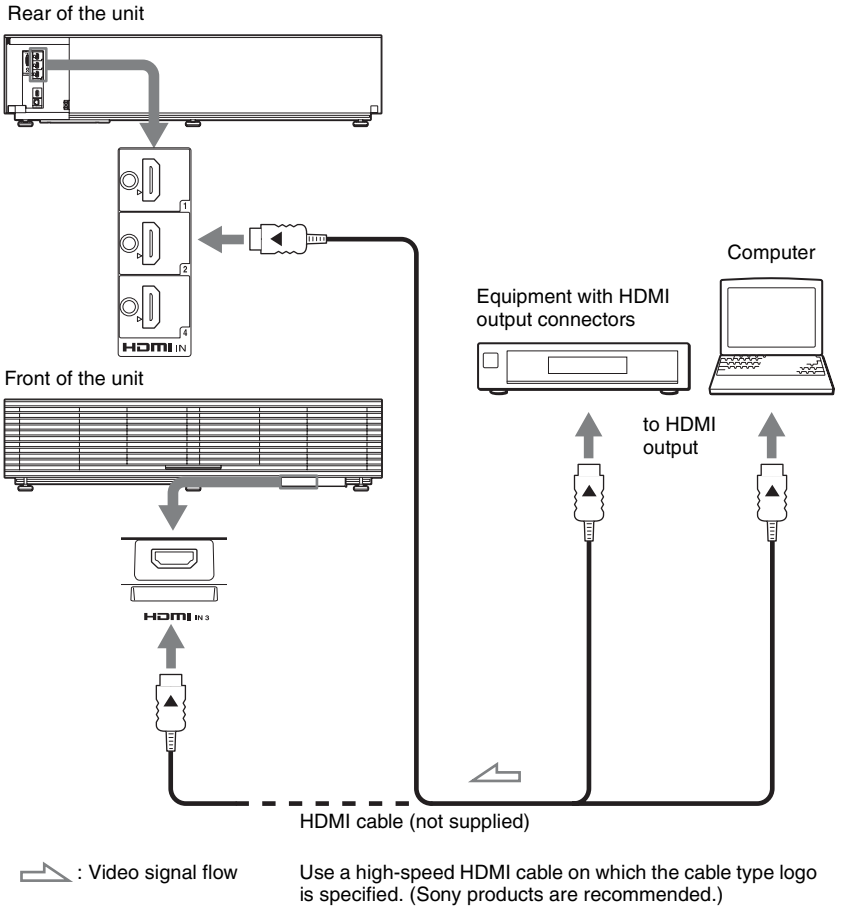
For details about the attachment position of the M8 bolt, refer to "Dimensions" in the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

For more information, refer to "Connections and Preparations" in the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

Step 3 Connecting the Unit

When making connections, be sure to do the following:

- Turn off all equipment before making any connections.
- Use the proper cables for each connection.
- Insert the cable plugs properly; poor connection at the plugs may cause a malfunction or poor picture quality. When pulling out a cable, be sure to pull it out from the plug, not the cable itself.
- Refer to the operating instructions of the connected equipment.

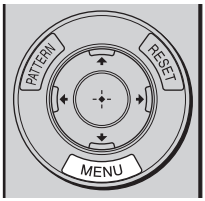


For more information, refer to "Connections and Preparations" in the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

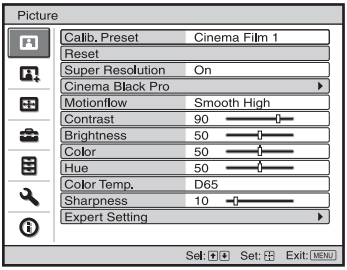
Step 4 Selecting the Menu Language

The factory setting for the language for displaying menus, messages, etc. is English. To change the on-screen language, proceed as follows:

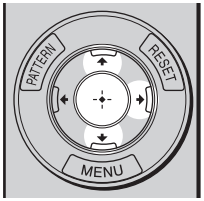
1 Press MENU to display the menu.



The menu window appears.

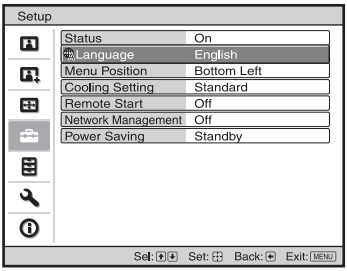


2 Select the menu language.



❶ Press ↑/↓ to select the Setup menu, then press → or ⊕.

❷ Press ↑/↓ to select "Language," then press → or ⊕.



❸ Press ↑/↓/←/→ to select a language, then press → or ⊕.

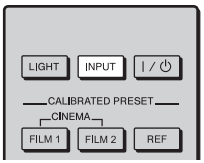
3 Press MENU to turn off the menu window.

Step 5 Projecting

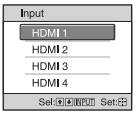
Projecting the Picture

1 Turn on both the unit and the equipment connected to the unit.

2 Press INPUT to display the input palette on the projection surface.



3 Select the equipment from which you want to display images.
Press INPUT repeatedly or press ↑/↓/⊕ (enter) to select the equipment from which to project.



Example: To view the picture from the video equipment connected to the HDMI 1 connector of this unit.

Turning Off the Power

1 Press the I/⏻ (ON/STANDBY) button.
The message “POWER OFF?” appears.

2 Press the I/⏻ (ON/STANDBY) button again before the message disappears.
The LED indicator turns off.

You can disconnect the AC power cord.

Notes

- Never disconnect the AC power cord while the unit is turned on.
- The LED indicator does not change when “Illumination” is set to “Off” on the Installation 🔧 menu,

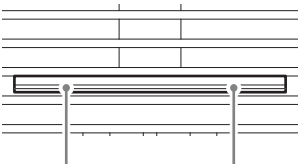
You can turn off the unit by holding the I/⏻ (ON/STANDBY) button for about 1 second, instead of performing the above steps.

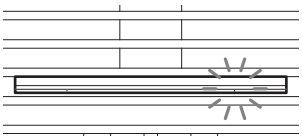
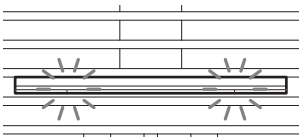
For more information, refer to “Projecting” in the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

Error Handling

About Indicators

The WARNING1 or WARNING2 indicator lights up or flashes if there is any trouble with your projector.



Flashing/Lighting indicators	The number of flashes	Cause and Remedy
 (Flashes in red)	Three times	The temperature of the light source is unusually high. Turn off the power and wait for the light source to cool, then turn on the power again. If the symptom persists, the light source may be at the end of its service life. In this case, consult with qualified Sony personnel.
	Six times	The unit detects a drop impact. If there is abnormality on the unit, consult with qualified Sony personnel. If there are no abnormalities on the unit, disconnect the AC power cord and check that the LED indicator turns off, then connect the AC power cord and turn the unit on.
 (Flashes in red) (Flashes in red) Both indicators flash	Twice	The internal temperature is unusually high. Check to ensure that if nothing is blocking the ventilation holes or whether or not the unit is being used at high altitudes.
	Three times	The fan is broken. Consult with qualified Sony personnel.

Note

If the indicator starts flashing in a way of other than the above, and the symptom persists even after carrying out the above methods, consult with qualified Sony personnel.

If there is any problem or an error message appears on the screen, refer to "Error Handling" in the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.

A propos du Guide de référence rapide

Ce Guide de référence rapide décrit l'installation et les procédures de base de projection des images. Vous y trouverez également des mises en garde et des remarques importantes qu'il convient de respecter au cours de la manipulation et de l'utilisation de cet appareil.
Reportez-vous à « À propos des indicateurs », le cas échéant.
Pour plus d'informations sur l'utilisation, reportez-vous au Mode d'emploi que vous trouverez sur le CD-ROM fourni.

Etape 1 **Préparation** ..... **Page 9**

Etape 2 **Installation de l'appareil** ..... **Page 11**

Etape 3 **Raccordement de l'appareil** ..... **Page 14**

Etape 4 **Sélection de la langue du menu** .... **Page 15**

Etape 5 **Projection** ..... **Page 16**

Gestion des erreurs **À propos des indicateurs** ..... **Page 17**

Avant d'utiliser l'appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et le conserver pour future référence.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité. Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT
CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

ATTENTION

À propos du connecteur LAN

Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive à ce port.

AVERTISSEMENT

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

Pour les clients aux Etats-Unis et au Canada

Cet appareil est conforme à l'article 15 des réglementations de la FCC. Son opération est sujette aux deux conditions suivantes : (1) cet appareil ne peut pas causer des interférences nuisibles, et (2) cet appareil doit accepter toutes les interférences reçues, y compris celles qui peuvent causer un fonctionnement non désiré.

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux radiations imposées pour tous les équipements non contrôlés, et est conforme aux directives sur les expositions aux fréquences radio (FR) du supplément C du DET65 et aux réglementations IC des expositions aux fréquences radio (FR) RSS-102. Cet équipement devrait être installé et utilisé avec une distance minimale de 20 cm entre le dispositif émettant des radiations et le corps de l'utilisateur (les extrémités ne sont pas incluses : mains, poignets, pieds et chevilles).

Cet appareil et sa ou ses antennes ne doivent pas être placés à proximité d'autres antennes ou émetteurs ni fonctionner avec eux, sauf autorisation spéciale.

Pour les clients au Canada

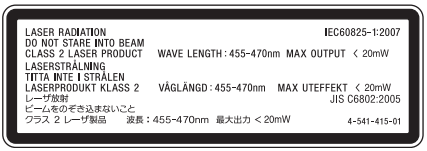
CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

Pour les clients en Europe

Ce produit a été fabriqué par ou pour le compte de Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japon. Toutes les questions relatives à la conformité des produits basées sur la législation européenne doivent être adressées à son représentant, Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question relative au Service Après-Vente ou à la Garantie, merci de bien vouloir vous référer aux coordonnées qui vous sont communiquées dans les documents « Service (SAV) » ou Garantie.

Attention

L’emploi de commandes ou ajustements ou l’exécution de procédures autres que celles spécifiées ici peut provoquer une exposition dangereuse au rayonnement.



RAYONNEMENT LASER
NE PAS REGARDER LE FAISCEAU
PRODUIT LASER DE CLASSE 2
Ce projecteur de données est classé comme PRODUIT LASER DE CLASSE 2.
Cette étiquette PRODUIT LASER DE CLASSE 2 est apposée sur le côté du projecteur de données.

Cette étiquette est apposée à côté de la fenêtre de projection du projecteur de données.

Pour les clients au Canada

Cet appareil est conforme à la (aux) norme(s) RSS exempte(s) de licence d’Industrie Canada. Son fonctionnement est sujette aux deux conditions suivantes : (1) cet appareil ne peut pas causer des interférences nuisibles, et (2) cet appareil doit accepter toutes les interférences reçues, y compris celles qui peuvent causer un fonctionnement non désiré.

Pour les clients en Europe

Notice pour les clients : Les informations suivantes ne sont applicables qu’aux équipements vendus dans les pays appliquant les directives de l’union européenne.

CE

Par la présente Sony Corporation déclare que l’appareil VPL-GTZ1/Projecteur de données est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la Directive 1999/5/CE.

Pour toute information complémentaire, veuillez consulter l’URL suivante: http://www.compliance.sony.de/

Attention lors du remplacement/de la mise au rebut de la batterie des lunettes 3D

Il y a danger d’explosion s’il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d’un type équivalent recommandé par le constructeur.
Lorsque vous mettez la batterie au rebut, vous devez respecter la législation en vigueur dans le pays ou la région où vous vous trouvez.

Pour les clients au Canada

GARANTIE LIMITÉE DE SONY - Rendez-vous sur http://www.sonybiz.ca/solutions/Support.do pour obtenir les informations importantes et l’ensemble des termes et conditions de la garantie limitée de Sony applicable à ce produit.

Précautions

Sécurité

- S'assurer que la tension de service de votre projecteur est identique à la tension locale.
- Si du liquide ou un objet quelconque venait à pénétrer dans le boîtier, débrancher le projecteur et le faire vérifier par un technicien qualifié avant la remise en service.
- Débrancher le projecteur de la prise murale en cas de non-utilisation pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, le tirer par la fiche. Ne jamais tirer sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité du projecteur et être facile d'accès.
- Le projecteur n'est pas déconnecté de la source d'alimentation tant qu'il reste branché à la prise murale, même s'il a été mis hors tension.
- Ne regardez pas dans l'objectif pendant son utilisation.
- Ne pas placer la main ou des objets à proximité des orifices de ventilation. L'air expulsé est brûlant.

Prévenir l'accumulation de chaleur interne

Après avoir mis l'appareil hors tension au moyen du bouton **I**/⏻ (marche/veille), ne pas le débrancher de la prise murale tant que le ventilateur de refroidissement tourne.

Mise en garde

Cet appareil est doté d'orifices de ventilation (prise d'air et sortie d'air). Ne pas obstruer ces orifices et ne rien placer à proximité car ceci risquerait de provoquer une surchauffe interne pouvant entraîner une altération de l'image ou un endommagement de l'appareil.

Remballage

Conserver le carton d'emballage original et le matériel d'emballage ; ils seront très utiles si l'on doit un jour expédier l'appareil. Pour assurer une protection maximale, remballer l'appareil tel qu'il avait été emballé en usine.

À propos du visionnage d'images vidéo 3D

Consignes de sécurité

- Vous devez seulement porter les lunettes 3D pour regarder des images vidéo 3D.
- Si vous observez des scintillements ou des éclairs, éteignez l'éclairage.
- Cet appareil n'est pas destiné à être utilisé par des enfants sans la surveillance d'un adulte.
- Veillez à ne pas vous pincer les doigts dans les charnières des lunettes 3D lorsque vous repliez les branches.
- Ne laissez pas tomber ou ne modifiez pas ces lunettes 3D.
- Si ces lunettes sont cassées, éloignez les débris de la bouche ou des yeux.

À propos du contrôle des pièces de la source d'éclairage

Comme l'appareil utilise un laser, il convient d'être particulièrement vigilant et de travailler dans un environnement sûr lors de l'entretien ou du contrôle des pièces de la source d'éclairage. Veillez à vous adresser à un technicien Sony agréé (service payant).

Projecteur LCD

Le projecteur LCD est fabriqué au moyen d'une technologie de haute précision. Il se peut toutefois que vous constatiez que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) apparaissent continuellement sur le projecteur LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement.
Si vous utilisez plusieurs projecteurs LCD pour projeter sur un écran, la reproduction des couleurs peut varier selon les projecteurs, même s'ils sont du même modèle. Ceci est dû au fait que l'équilibre des couleurs peut être réglé différemment sur les projecteurs.

Remarque concernant la condensation

Si la pièce dans laquelle le projecteur est installé subit de brusques changements de températures ou si vous déplacez soudainement le projecteur d'un endroit froid à un endroit chaud, de la condensation peut se former à l'intérieur du projecteur. Étant donné que la condensation peut provoquer un dysfonctionnement, réglez la température de votre climatiseur avec précaution. Si de la condensation se forme, laissez le projecteur allumé pendant quatre heures environ avant de l'utiliser.

Sony ne peut être tenue responsable de tout dommage, de quelque nature que ce soit, résultant d'une incapacité à mettre en place des mesures de sécurité adaptées pour les dispositifs de transmission, de fuites de données inévitables dues aux spécifications de transmission ou de tout autre problème de sécurité.

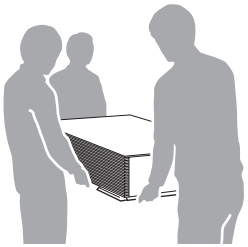
Remarques

- Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.**
- **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les réclamations, quelle qu'elles soient, effectuées par les utilisateurs de cet appareil ou par des tierces parties.**
- **Sony n'assumera pas de responsabilité pour la cessation ou l'interruption de tout service lié à cet appareil, résultant de quelque circonstance que ce soit.**

Remarques sur l'installation et l'utilisation

Transport de l'appareil

Trois personnes au moins sont nécessaires pour transporter l'appareil : une de chaque côté et une à l'avant, comme illustré ci-dessous.
Quand vous saisissez le dessous de l'appareil, tenez-le fermement en glissant la main le plus loin possible sous la partie intérieure.



Conseil

Quand la poignée est présente, saisissez-la pour transporter l'appareil.

Remarque

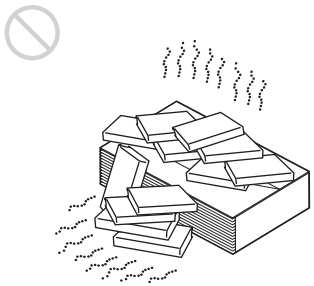
Veillez à ne pas saisir le panneau de commande.

Installation déconseillée

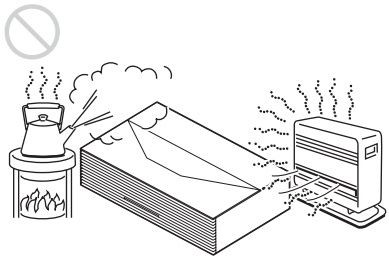
Ne pas placer l'appareil dans les positions suivantes, ce qui risquerait de provoquer un dysfonctionnement ou des dommages.

Mauvaise ventilation

Laisser un dégagement de plus de 30 cm ($11\ ^{7}/_{8}$ pouces) autour de l'appareil.

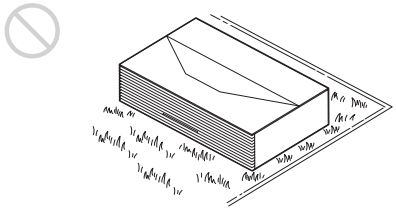


Endroits chauds et humides

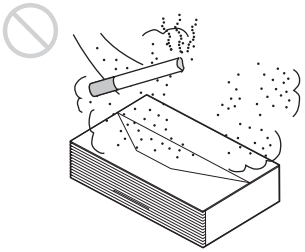


Sur un tapis à poils longs

Il y a des orifices de ventilation sur le dessous de l'appareil. Si les orifices de ventilation sont bloqués, cela risque de provoquer une panne.



Endroits très poussiéreux ou enfumés



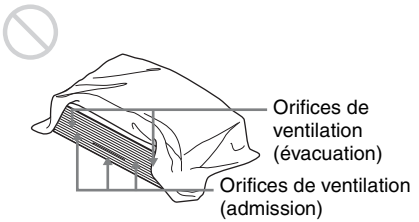
Autre remarque

- La surface de projection peut osciller sous l'effet de l'air dégagé par des climatiseurs ou encore les orifices de ventilation de cet appareil et d'autres équipements. Veillez à ne pas installer cet appareil dans des endroits où son objectif risque d'être soumis à des flux d'air provenant de climatiseurs ou des orifices de ventilation de ces équipements.
- La présence de résidus, de sable, etc. dans les pieds de l'appareil risque d'endommager le sol.

Conditions inappropriées

Éviter ce qui suit pendant l'utilisation de l'appareil.

Blocage des orifices de ventilation (admission ou évacuation)



Inclinaison vers l'avant/arrière et vers la gauche/droite

Si l'appareil est incliné vers l'avant ou l'arrière, l'image qui apparaît sur la surface de projection risque d'être trapézoïdale. Installez l'appareil en veillant à ce qu'il soit parallèle à la surface de projection.

Lors de l'installation de l'appareil à haute altitude

Lorsque vous utilisez l'appareil à une altitude de 1 500 m (environ 4 900 pi) ou plus, réglez «Régl. refroidssmnt» dans le menu Réglage sur «Haut». Si vous n'activez pas ce mode lors d'une utilisation à haute altitude, ceci pourra affecter le projecteur (diminution de la fiabilité de certaines pièces, par exemple).

Précautions de sécurité relatives à la poignée

- N'utilisez pas la poignée à d'autres fins que celles pour lesquelles elle est conçue.
- L'installation ou le démontage de la poignée de l'appareil doit être confiée exclusivement à un personnel qualifié.
- Utilisez exclusivement les accessoires fournis. L'utilisation d'accessoires non fournis risque d'endommager la poignée.
- Des objets lourds ne doivent jamais heurter la poignée ou être accrochés à celle-ci. Si la poignée est endommagée, cessez de l'utiliser et contactez immédiatement un technicien qualifié.

Précautions de sécurité relatives à l'installation de l'appareil au plafond

- N'installez jamais le projecteur au plafond et ne le déplacez jamais par vos propres moyens. Veillez à vous adresser à un technicien Sony agréé (service payant).
- Lorsque vous installez l'appareil au plafond, veillez à utiliser un fil de sécurité, par exemple, pour l'empêcher de tomber. Confiez l'installation à un professionnel ou à un installateur expérimenté.

Pour les revendeurs

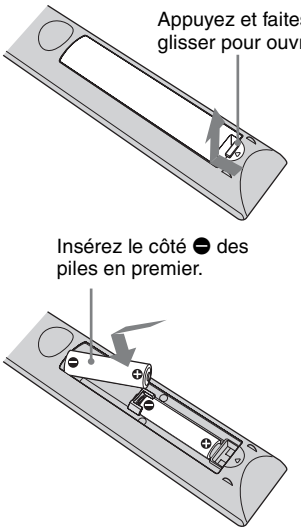
- Quand le projecteur est fixé au plafond, un support Sony ou un support équivalent recommandé doit être utilisé pour l'installation.
- Vous devez fermer le couvercle du cabinet solidement lors de l'installation au plafond.

Etape 1 Préparation

Vérification des accessoires fournis

Vérifiez si le carton renferme bien tous les éléments suivants :
- Télécommande RM-PJ28 (1)
- Piles au manganèse AA (R6) (2)
- Cordon d'alimentation (1)
- Porte-fiche (1)
- Poignée (2)
- Vis de fixation de la poignée (réserve) (4)
- Outil de réglage (1)
- Tissu de nettoyage (1)
- Guide de référence rapide (ce manuel) (1)
- Mode d'emploi (CD-ROM) (1)

Insertion des piles dans la télécommande



ATTENTION

Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur.
Lorsque vous mettez la batterie au rebut, vous devez respecter la législation en vigueur dans le pays ou la région où vous vous trouvez.

Mise en place des piles

Deux piles de format AA (R6) sont fournies pour la télécommande RM-PJ28.
Pour éviter tout risqué d'explosion, utilisez des piles de format AA (R6) au manganèse ou des piles alcalines.

Précautions relatives à la manipulation de la télécommande

- Manipulez la télécommande avec précautions. Ne renversez aucun liquide sur la télécommande, ne la laissez pas tomber et ne marchez pas dessus.
- Ne placez pas la télécommande à proximité d'une source de chaleur, dans un endroit exposé aux rayons directs du soleil ou dans une pièce humide.

Utilisation du manuel sur CD-ROM

Vous devez installer Adobe Reader sur votre ordinateur pour pouvoir lire ce manuel. Vous pouvez télécharger Adobe Reader gratuitement depuis le site Web d'Adobe.

1 Ouvrez le fichier index.htm situé sur le CD-ROM.

2 Sélectionnez le manuel que vous souhaitez lire, puis cliquez sur ce dernier.

Remarque

Si vous avez perdu ou endommagé le CD-ROM, vous pouvez acheter un CD-ROM de remplacement auprès de votre représentant Sony ou du service clientèle Sony.

Utilisation de la poignée

Fixez la poignée fournie à l'appareil à transporter ou à installer, le cas échéant.

Pour les clients

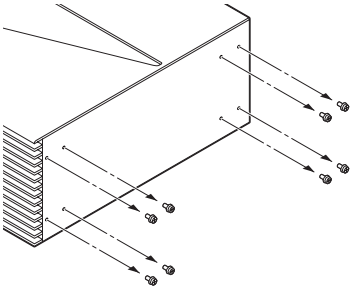
Vous devez disposer d'un certain savoir-faire pour installer la poignée. Veillez à confier l'installation à des revendeurs Sony ou à des installateurs agréés et portez une attention particulière aux consignes de sécurité pendant l'installation.

Pour les revendeurs

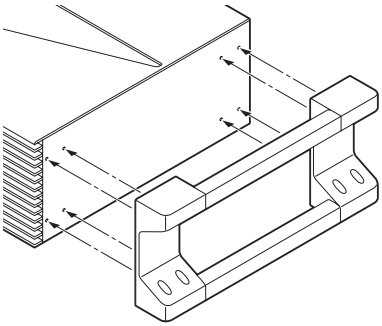
Lisez intégralement ce manuel quand vous installez la poignée. Sony ne peut être tenue responsable de tout dommage ou de toute blessure découlant d'une mauvaise utilisation ou d'une installation incorrecte.

Veillez à lire « Précautions de sécurité relatives à la poignée » (page 8).

1 Retirez les fixations de part et d'autre de l'appareil.



2 Fixez la poignée à l'appareil.
Utilisez les vis fixées à la poignée.



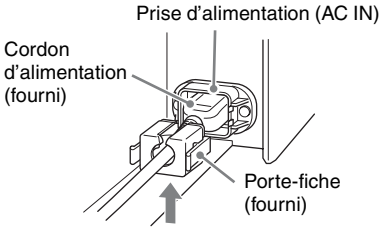
3 Vérifiez si la poignée est correctement fixée.

Quand la poignée est installée, vérifiez s'il n'y a pas d'espace entre la poignée et l'appareil. Tous les deux mois, vérifiez si les vis sont toujours bien serrées.

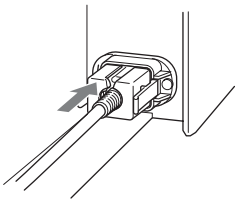
Etape 2 Installation de l'appareil

Raccordement du cordon d'alimentation

1 Branchez le cordon d'alimentation sur la prise d'alimentation (AC IN), puis fixez-lui le porte-fiche.



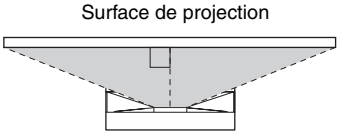
2 Glissez le porte-fiche par-dessus le cordon d'alimentation afin de le fixer à l'appareil.



Installation de l'appareil

1 Positionnez l'appareil de façon à ce qu'il soit parallèle à la surface de projection.

Vue du haut

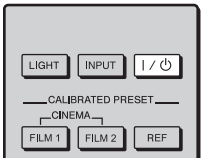


2 Projetez une image sur la surface de projection et réglez l'image de sorte qu'elle s'adapte à la surface de projection.

Réglage de l'image de projection

1 Après avoir branché le cordon d'alimentation à l'appareil, branchez le cordon d'alimentation secteur à une prise murale.
L'appareil passe en mode veille.

2 Appuyez sur le bouton **I**/⏻ (ON/STANDBY) pour mettre l'appareil sous tension.

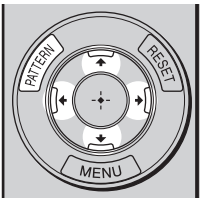


L'indicateur LED s'allume en blanc.

3 Utilisez la fonction Position de l'image correspondant à la taille de projection.
Ce réglage est disponible sous « Position de l'image » du menu Écran .

Taille d'image (pour un zoom maximal)	Distance d'installation (d'une surface de projection à l'arrière de l'appareil)	Destination de réglage
147 à 132 pouces	11 à 17 cm (4,3 à 6,7 po)	Position de l'image Person. 1
132 à 121 po	6 à 11 cm (2,4 à 4,3 po)	Position de l'image Person. 2
121 à 113 po	3 à 6 cm (1,2 à 2,4 po)	Position de l'image Person. 3
113 à 106 po	0 à 3 cm (0 à 1,2 po)	Réglage par défaut

4 Projetez une image sur l'écran, puis procédez aux réglages de ZOOM, FOCUS et CORNER CORRECTION.



❶ Réglez la taille de l'image.

Appuyez plusieurs fois sur le bouton PATTERN pour afficher la fenêtre de réglage ZOOM, puis réglez la taille de l'image en appuyant sur les boutons ↑/↓/←/→.

❷ Réglez la mise au point.

Appuyez plusieurs fois sur le bouton PATTERN pour afficher la fenêtre de réglage FOCUS, puis réglez la mise au point du centre de l'image.

❸ Réglez la mise au point et la distorsion sur le coin supérieur de l'image.

Appuyez plusieurs fois sur le bouton PATTERN pour afficher la fenêtre de réglage CORNER CORRECTION, puis réglez la mise au point et la distorsion dans le coin supérieur de l'image en appuyant sur les boutons ↑/↓/←/→.

5 Vérifiez si l'écran est parallèle, horizontal et vertical, comme suit.

❶ Vérifiez si le côté supérieur et le côté inférieur de l'image sont parallèles.

Si ce n'est pas le cas, installez l'appareil dans une position parallèle à la surface de projection.

❷ Vérifiez si le côté inférieur de l'image est horizontal.

Si ce n'est pas le cas, utilisez les pieds gauche/droit (réglables) pour que l'appareil reste au même niveau.

❸ Vérifiez si le côté gauche et le côté droit de l'image sont verticaux.

Si ce n'est pas le cas, utilisez les pieds de l'avant (réglables) pour que l'appareil reste vertical par rapport à la surface de projection.

Installation de l’appareil (au plafond)

Pour les clients

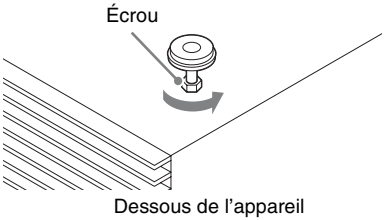
ATTENTION

Faites-vous aider pour déplacer le projecteur ou pour le fixer au plafond.

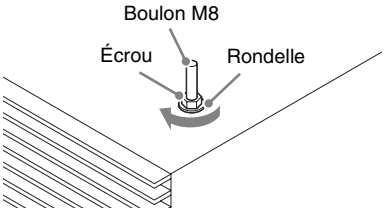
Pour les revendeurs

Veillez à lire « Précautions de sécurité relatives à l’installation de l’appareil au plafond » (page 8).

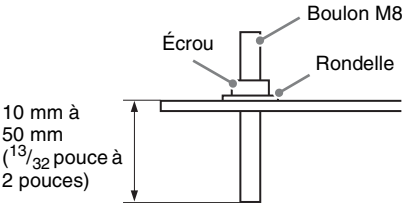
1 Desserrez l’écrou et retirez les pieds (six points).



2 Accrochez un boulon M8 (longueur minimale de 60 mm) et une rondelle, puis fixez le boulon. (Couple de serrage recommandé : 12,5 N•m)



Longueur d’insertion du boulon dans l’appareil : de 10 mm à 50 mm ($^{13}/_{32}$ pouce à 2 pouces).



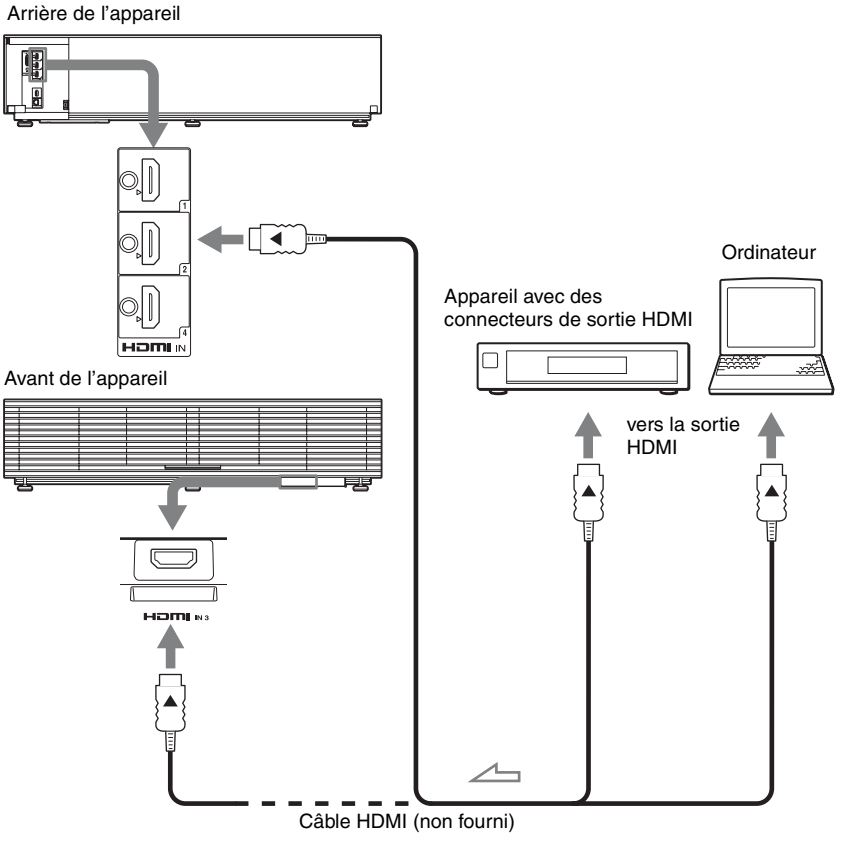
Pour plus d’informations sur la position de fixation du boulon M8, reportez-vous à « Dimensions » dans le Mode d’emploi que vous trouverez sur le CD-ROM fourni.

Pour plus d’informations reportez-vous à « Raccordements et préparatifs » dans le Mode d’emploi que vous trouverez sur le CD-ROM fourni.

Etape 3 Raccordement de l'appareil

Lors de l'exécution des raccordements, vous devez procéder comme suit :

- Mettez tous les appareils hors tension avant tout raccordement.
- Utilisez les câbles appropriés pour chaque raccordement.
- Insérez correctement les fiches de câble ; le mauvais raccordement des fiches peut entraîner un dysfonctionnement ou une piètre qualité d'image. Débranchez les câbles en les tenant par leur fiche. Ne tirez pas sur le câble proprement dit.
- Reportez-vous au mode d'emploi de l'appareil raccordé.

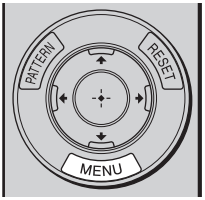

Arrière de l'appareil
1
2
4
HDMI IN
Ordinateur
Appareil avec des connecteurs de sortie HDMI
Avant de l'appareil
vers la sortie HDMI
HDMI IN 3
Câble HDMI (non fourni)
: Flux du signal vidéo
Utilisez un câble HDMI haute vitesse qui porte le logo du type de câble. (Il est recommandé d'utiliser des produits Sony.)

Pour plus d'informations reportez-vous à « Raccordements et préparatifs » dans le Mode d'emploi que vous trouverez sur le CD-ROM fourni.

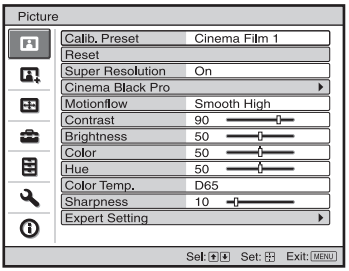
Etape 4 Sélection de la langue du menu

L'anglais est défini d'origine comme langue d'affichage des menus, des messages, etc. Pour changer la langue des menus à l'écran, procédez comme suit :

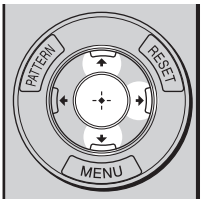
1 Appuyez sur MENU pour afficher le menu.



La fenêtre du menu s'affiche.

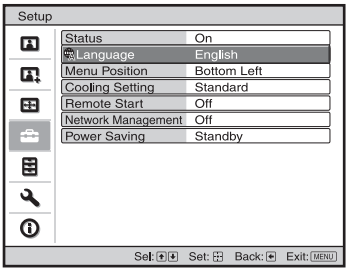


2 Sélectionnez la langue du menu.



❶ Appuyez sur ↑/↓ pour sélectionner le menu Setup , puis appuyez sur → ou sur .

❷ Appuyez sur ↑/↓ pour sélectionner « Language », puis appuyez sur → ou sur .



❸ Appuyez sur ↑/↓/←/→ pour sélectionner une langue, puis appuyez sur → ou sur .

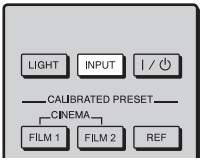
3 Appuyez sur MENU pour désactiver la fenêtre du menu.

Etape 5 Projection

Projection de l'image

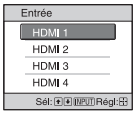
1 Mettez sous tension cet appareil et l'appareil qui y est raccordé.

2 Appuyez sur INPUT pour afficher la palette d'entrée sur la surface de projection.



3 Sélectionnez le périphérique à partir duquel vous voulez afficher les images.

Appuyez plusieurs fois sur INPUT ou sur ↑/↓/⊕ (entrée) pour sélectionner le périphérique à utiliser pour la projection.



Exemple : Pour afficher l'image provenant de l'équipement vidéo raccordé au connecteur HDMI 1 de cet appareil.

Mise hors tension

1 Appuyez sur le bouton I/⏻ (ON/STANDBY).

Le message « METTRE HORS TENSION? » apparaît.

2 Appuyez une nouvelle fois sur le bouton I/⏻ (ON/STANDBY) avant que le message disparaisse.

L'indicateur LED s'éteint.

Vous pouvez débrancher le cordon d'alimentation secteur.

Remarques

- Ne débranchez jamais le cordon d'alimentation lorsque l'appareil est sous tension.
- L'indicateur LED ne change pas lorsque « Éclairage » est réglé sur « Off » dans le menu Installation 🔧.

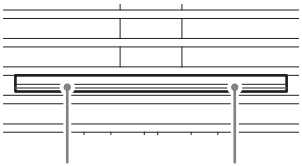
Vous pouvez mettre l'appareil hors tension en maintenant le bouton I/⏻ (ON/STANDBY) enfoncé pendant 1 seconde environ, plutôt qu'en suivant les étapes ci-dessus.

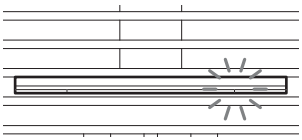
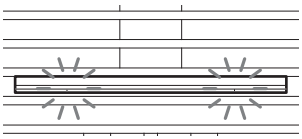
Pour plus d'informations reportez-vous à « Projection » dans le Mode d'emploi que vous trouverez sur le CD-ROM fourni.

Gestion des erreurs

À propos des indicateurs

L'indicateur WARNING1 ou WARNING2 s'allume ou clignote en cas de problème quelconque sur le projecteur.



Clignotement/Éclairage des indicateurs	Le nombre de clignotements	Cause et remède
 (Clignote en rouge)	Trois fois	La température de la source de lumière est anormalement élevée. Mettez hors tension et attendez que la source de lumière se refroidisse, puis remettez sous tension. Si ce symptôme persiste, la source de lumière a peut-être atteint la fin de sa durée de service. Dans ce cas, consultez un technicien Sony qualifié.
	Six fois	L'appareil détecte un impact de chute. Si l'appareil ne fonctionne pas normalement, consultez le service après-vente Sony. En l'absence d'anomalies sur l'appareil, débranchez le cordon d'alimentation secteur et vérifiez que l'indicateur LED s'éteint, puis branchez le cordon d'alimentation secteur et mettez l'appareil sous tension.
 (Clignote en rouge) (Clignote en rouge) Les deux indicateurs clignotent	Deux fois	La température à l'intérieur du projecteur est anormalement élevée. Assurez-vous que rien ne colmate les orifices de ventilation et que l'appareil n'est pas utilisé à haute altitude.
	Trois fois	Le ventilateur est défectueux. Consultez le service après-vente Sony.

Remarque

Si l'indicateur commence à clignoter différemment de ci-dessus et que le symptôme persiste même après avoir effectué les opérations ci-dessus, consultez le service après-vente Sony.

En cas de problème ou si un message d'erreur apparaît à l'écran, reportez-vous à « Gestion des erreurs » dans le Mode d'emploi que vous trouverez sur le CD-ROM fourni.

Acerca del Manual de referencia rápida

Este Manual de referencia rápida explica la instalación y las operaciones básicas para proyectar imágenes. También presenta notas y precauciones importantes que deben tenerse muy en cuenta al manipular y utilizar esta unidad.
Consulte los “Acerca de los indicadores”, según corresponda.
Para obtener más información sobre las operaciones, consulte el Manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM suministrado.

Paso 1 **Preparación** ..... **Página 8**

Paso 2 **Instalación de la unidad** ..... **Página 10**

Paso 3 **Conexión de la unidad**..... **Página 13**

Paso 4 **Selección del idioma del menú** ..... **Página 14**

Paso 5 **Proyección** ..... **Página 15**

Gestión de errores **Acerca de los indicadores** ..... **Página 16**

Antes de poner en funcionamiento la unidad, lea detenidamente este manual y consérvelo para referencias futuras.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad. Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ADVERTENCIA
ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

ADVERTENCIA

Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte el enchufe de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte el enchufe de alimentación.

PRECAUCIÓN

Acerca del conector LAN

Por razones de seguridad, no enchufe a este puerto un conector de cableado de dispositivo periférico que pueda tener una tensión excesiva.

ADVERTENCIA

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

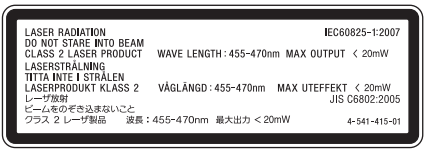
Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

Para los clientes de Europa

Este producto ha sido fabricado por, o en nombre de Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japón. Las consultas relacionadas con la conformidad del producto basadas en la legislación de la Unión Europea deben dirigirse al representante autorizado, Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para cualquier asunto relacionado con el servicio o la garantía, por favor diríjase a la dirección indicada en los documentos de servicio o garantía adjuntados con el producto.

Precaución

La utilización de controles o ajustes, o la realización de procedimientos no especificados aquí pueden resultar en la exposición a radiación peligrosa.



RADIACIÓN LÁSER
NO MIRE DIRECTAMENTE AL HAZ
PRODUCTO LÁSER DE CLASE 2
Este proyector de datos está clasificado como un PRODUCTO LÁSER DE CLASE 2.
La etiqueta de PRODUCTO LÁSER DE CLASE 2 está situada en el lateral del proyector de datos.

Esta etiqueta también puede encontrarse junto a la ventana de proyección del proyector de datos.

ES

Para los clientes de Europa

Aviso para los clientes: la siguiente información sólo se aplica a los equipos vendidos en países sometidos a las directivas de la UE.

CE

Por medio de la presente Sony Corporation declara que el VPL-GTZ1/proyector de datos cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE.
Para mayor información, por favor consulte el siguiente URL:
http://www.compliance.sony.de/

Para los clientes de México

Este equipo opera a titulo secundario, consecuentemente, debe aceptar interferencias perjudiciales incluyendo equipos de la misma clase y puede no causar interferencias a sistemas operando a titulo primario.

AVISO IMPORTANTE PARA MÉXICO

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.
Para consultar la información relacionada al número del certificado, refiérase a la etiqueta del empaque y/o del producto.

Precaución a la hora de sustituir/desechar la batería de las gafas 3D

Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante.
Cuando deseche la batería, debe cumplir con las leyes de la zona o del país.

Precauciones

Seguridad

- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea revisada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- La toma mural debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No examine la lente mientras la utilice.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación. El aire que sale es caliente.

Prevención del calentamiento interno

Después de apagar la alimentación con el botón I/⏻ (encendido/espera), no desconecte la unidad de la toma mural mientras el ventilador de refrigeración esté en funcionamiento.

Precaución

Esta unidad está equipada con orificios de ventilación de entrada y de salida. No bloquee dichos orificios ni coloque nada cerca de ellos, ya que si lo hace puede producirse un recalentamiento interno, causando el deterioro de la imagen o daños a la unidad.

Embalaje

Guarde la caja y los materiales de embalaje originales, ya que resultarán útiles cuando tenga que embalar la unidad. Para obtener una máxima protección, vuelva a embalar la unidad como se embaló originalmente en fábrica.

Sobre la visualización de imágenes de vídeo en 3D

Precauciones de seguridad

- Sólo debe utilizar las gafas 3D para ver imágenes de vídeo en 3D.
- Si observa efectos de oscilación o parpadeo, apague la iluminación de la sala.
- No es adecuado para que lo usen los niños sin la supervisión de un adulto.
- Vigile que los dedos no le queden atrapados en la articulación de las gafas 3D al abrir las varillas.
- No deje caer ni modifique estas gafas 3D.
- Si estas gafas se rompieran, aleje las piezas rotas de la boca y de los ojos.

Revisión de componentes relacionados con la fuente de luz

La unidad utiliza un láser, por lo que al realizar el mantenimiento o la revisión de componentes relacionados con la fuente de luz, es necesario trabajar con las máximas precauciones y en un entorno seguro. Pida siempre consejo a un técnico de Sony cualificado (servicio de pago).

Proiettore LCD

El proyector LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros o brillantes (rojos, azules o verdes), o ambos, de forma continua en el proyector. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica fallo de funcionamiento.
Además, si utiliza varios proyectores LCD para proyectar en una pantalla, es posible que la reproducción de colores no sea igual en todos los proyectores, incluso si son del mismo modelo, ya que el balance de color puede estar configurado de manera distinta.

Acerca de la condensación

Si la temperatura de la habitación en la que se instala el proyector cambia rápidamente, o si el proyector se traslada súbitamente de un lugar muy frío a uno muy cálido, es posible que se produzca condensación en el proyector. La condensación puede provocar errores de funcionamiento, por lo que debe prestarse atención al ajustar la temperatura del aire acondicionado. Si se produce condensación, deje el proyector encendido durante cuatro horas antes de utilizarlo.

SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO DEBIDOS A LA OMISIÓN DE LAS MEDIDAS DE SEGURIDAD ADECUADAS EN DISPOSITIVOS DE TRANSMISIÓN, FUGAS DE DATOS INEVITABLES DERIVADAS DE LAS ESPECIFICACIONES DE TRANSMISIÓN O PROBLEMAS DE SEGURIDAD DE CUALQUIER TIPO.

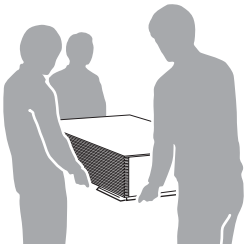
Notas

- Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR RECLAMACIONES DE NINGÚN TIPO REALIZADAS POR USUARIOS DE ESTA UNIDAD O POR TERCEROS.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE DE LA FINALIZACIÓN NI DE LA INTERRUPCIÓN, POR LA CIRCUNSTANCIA QUE FUERA, DE CUALQUIER SERVICIO RELACIONADO CON ESTA UNIDAD.

Notas sobre la instalación y el uso

Transporte de la unidad

Para transportar la unidad se necesitan tres o más personas, una persona para cada lado y otra para la parte delantera, tal y como se muestra en la siguiente ilustración.
Cuando sujete la parte inferior de la unidad, sosténgala firmemente colocando la mano debajo de la parte interior todo lo posible.



Sugerencia

Si el asa está colocada, agárrela durante el transporte.

Nota

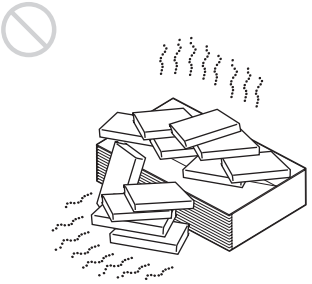
No sujete la parte del panel de control.

Instalación inadecuada

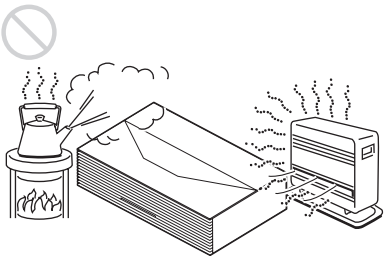
No ponga la unidad en las siguientes situaciones, en las que puede sufrir daños o averías.

Ubicaciones escasamente ventiladas

Deje un espacio superior a 30 cm alrededor de la unidad.

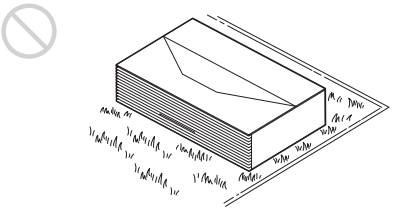


Lugares cálidos y húmedos

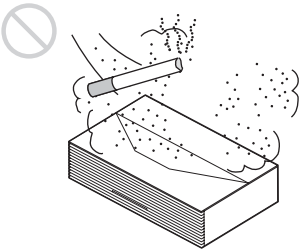


En una alfombra de pelo largo

En la parte inferior de la unidad se encuentran los orificios de ventilación. Si los orificios de ventilación se bloquean podría producirse un error de funcionamiento.



Lugares con mucho polvo o humo excesivo



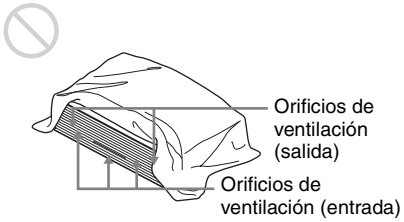
Otra nota

- El aire de los aparatos de climatización o los orificios de ventilación de esta unidad u otros dispositivos podrían provocar oscilación en la superficie de proyección. No instale esta unidad en zonas en las que el aire de los aparatos de climatización o los orificios de ventilación de estos dispositivos alcancen el objetivo de la unidad.
- Si hay suciedad, arena, etc. en las patas de la unidad, el suelo podría presentar daños.

Condiciones inadecuadas

No haga lo siguiente mientras usa la unidad.

Bloqueo de los orificios de ventilación (entrada o salida)



Inclinación adelante/atrás e izquierda/derecha

Si la unidad está instalada con inclinación hacia adelante y hacia atrás, la forma de la imagen en la superficie de proyección será trapezoidal. Instale la unidad de forma que la unidad y la superficie de proyección se coloquen de forma paralela.

Instalación de la unidad a grandes altitudes

Si utiliza la unidad a altitudes de 1.500 m o más, ajuste la opción "Config. refrigeración" del menú Configuración en "Alto". Si no se establece este modo cuando se utiliza la unidad a altitudes elevadas pueden producirse efectos adversos, tales como la reducción de la fiabilidad de determinados componentes.

Precauciones de seguridad para el asa

- No utilice el asa con fines distintos a los especificados.
- Solo el personal de servicio cualificado debe realizar la instalación o el desmontaje del asa de la unidad.
- Utilice únicamente los accesorios suministrados. Si utiliza otros accesorios el asa podría resultar dañada.
- No golpee el asa con objetos pesados ni los cuelgue sobre la misma. Si el asa resulta dañada, deje de utilizarla y póngase en contacto con una persona del servicio técnico de forma inmediata.

Precauciones de seguridad para instalar la unidad en el techo

- Nunca instale el proyector en el techo ni lo desplace sin ayuda. Pida siempre consejo a un técnico de Sony cualificado (servicio de pago).
- Si instala la unidad en el techo, utilice un cable de seguridad o un sistema similar para evitar que la unidad se desprenda. Confíe siempre la instalación a un proveedor o instalador experimentado.

Para los distribuidores

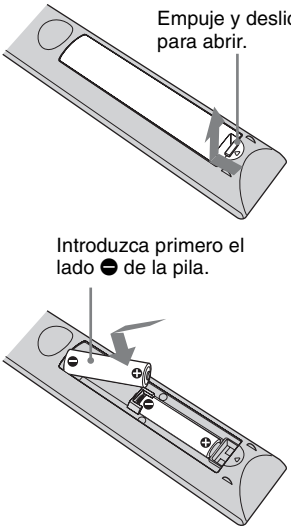
- Si se instala el proyector en el techo, es necesario utilizar un soporte Sony o un soporte equivalente recomendado.
- Cierre firmemente la tapa de la carcasa cuando lo instale en el techo.

Paso 1 Preparación

Comprobación de los accesorios suministrados

Compruebe que la caja contenga los siguientes elementos:
- Mando a distancia RM-PJ28 (1)
- Pilas de manganeso de tamaño AA (R6) (2)
- Cable de alimentación de CA (1)
- Sujeta-enchufe (1)
- Asa (2)
- Tornillos para la fijación del asa (repuesto) (4)
- Herramienta de ajuste (1)
- Paño de limpieza (1)
- Manual de referencia rápida (este manual) (1)
- Manual de instrucciones (CD-ROM) (1)

Introducción de las pilas en el mando a distancia



PRECAUCIÓN

Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante.
Cuando deseche la batería, debe cumplir con las leyes de la zona o del país.

Colocación de las pilas

Se suministran dos pilas de tamaño AA (R6) para el mando a distancia RM-PJ28.
Para evitar el riesgo de explosión, utilice pilas alcalinas o de manganeso de tamaño AA (R6).

Precauciones para la manipulación del mando a distancia

- Manipule con cuidado el mando a distancia. No lo deje caer, ni lo pise, ni derrame ningún líquido sobre él.
- No ponga el mando a distancia cerca de fuentes de calor, bajo la luz directa del sol ni en lugares húmedos.

Utilización del manual en CD-ROM

El manual puede leerse en un ordenador con Adobe Reader instalado.
Puede descargar la aplicación Adobe Reader de forma gratuita desde el sitio web de Adobe.

1 Abra el archivo index.htm en el CD-ROM.

2 Seleccione y haga clic en el manual que desee leer.

Nota

Si ha perdido el CD-ROM o se le ha estropeado, podrá adquirir uno de sustitución en su distribuidor Sony o en un punto de asistencia Sony.

Uso del asa

Coloque el asa suministrada en la unidad para el transporte o la instalación cuando sea necesario.

Para los clientes

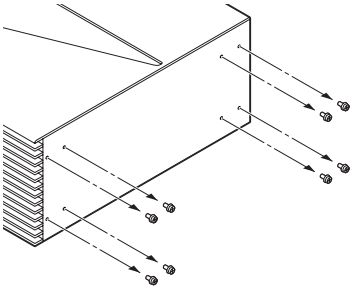
Para instalar el asa es necesario contar con suficiente experiencia. Asegúrese de subcontratar la instalación a distribuidores Sony o contratistas con licencia y preste especial atención a la seguridad durante la instalación.

Para los distribuidores

Asegúrese de leer este manual detenidamente antes de instalar el asa. Sony no será responsable de los daños o lesiones que puedan producirse debido a instalaciones o manipulaciones indebidas.

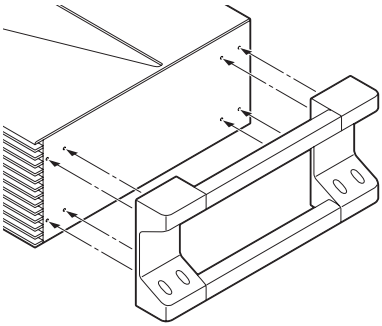
Asegúrese de leer “Precauciones de seguridad para el asa” (página 7).

1 Quite las sujeciones de ambos lados de la unidad.



2 Coloque el asa en la unidad.

Utilice los tornillos colocados en el asa.



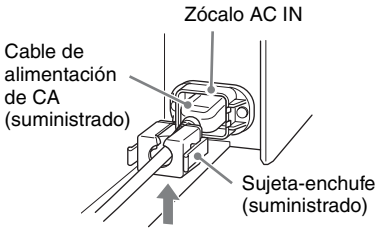
3 Compruebe si el asa está correctamente colocada.

Después de instalar el asa, compruebe que no haya espacio entre el asa y la unidad. Asegúrese de que los tornillos estén apretados cada dos meses.

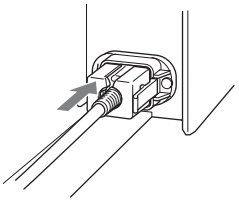
Paso 2 Instalación de la unidad

Conexión del cable de alimentación de CA

1 Enchufe el cable de alimentación de CA en el zócalo AC IN; seguidamente, fije el sujeta-enchufe al cable de alimentación de CA.



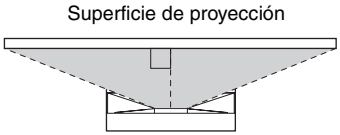
2 Deslice el sujeta-enchufe por el cable de alimentación de CA para fijarlo a la unidad.



Instalación de la unidad

1 Coloque la unidad de modo que la unidad quede paralela a la superficie de proyección.

Vista superior

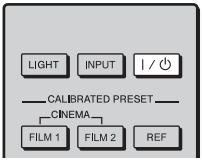


2 Proyecte una imagen en la superficie de proyección y ajuste la imagen de modo que se ajuste a la superficie de proyección.

Ajuste de la imagen proyectada

1 Después de conectar el cable de CA a la unidad, enchufe el cable de CA en una toma de pared.
La unidad entrará en el modo de espera.

2 Pulse el botón **I/⏻** (ON/STANDBY) para encender la unidad.



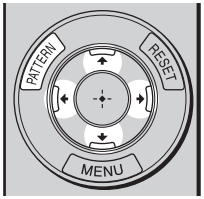
El indicador LED se iluminará en blanco.

3 Utilice la función Posición imagen que coincida con el tamaño de proyección.

Este ajuste está disponible en "Posición imagen" del menú Pantalla .

Tamaño de imagen (para zoom máximo)	Distancia de instalación (desde una superficie de proyección hasta la parte posterior de la unidad)	Destino de ajuste
De 147 a 132 pulgadas	De 11 a 17 cm	Posición imagen Personal 1
De 132 a 121 pulgadas	De 6 a 11 cm	Posición imagen Personal 2
De 121 a 113 pulgadas	De 3 a 6 cm	Posición imagen Personal 3
De 113 a 106 pulgadas	De 0 a 3 cm	Ajuste predeterminado

4 Proyecte una imagen en la pantalla y, a continuación, ajuste ZOOM, FOCUS y CORNER CORRECTION.



❶ Ajuste el tamaño de la imagen.
Pulse el botón PATTERN repetidamente para acceder a la ventana de ajuste de ZOOM, y ajuste el tamaño de la imagen pulsando los botones ↑/↓/←/→.

❷ Ajuste el foco.
Pulse el botón PATTERN repetidamente para acceder a la ventana de ajuste de FOCUS, y ajuste el enfoque del centro de la imagen.

❸ Ajuste el foco y la distorsión en la esquina superior de la imagen.
Pulse el botón PATTERN repetidamente para acceder a la ventana de ajuste de CORNER CORRECTION, y ajuste el enfoque y la distorsión de la esquina superior de la imagen pulsando los botones ↑/↓/←/→.

5 Compruebe que la pantalla esté colocada de forma paralela, horizontal y vertical como se indica a continuación.

❶ Compruebe que el lado superior y el lado inferior de la imagen sean paralelos.
Si no lo son, instale la unidad en una posición paralela a la superficie de proyección.

❷ Compruebe que el lado inferior de la imagen esté en posición horizontal.
Si no lo está, utilice los pies izquierdo/derecho (ajustables) para mantener la unidad nivelada.

❸ Compruebe que el lado izquierdo y el lado derecho de la imagen estén en posición vertical.
Si no lo están, utilice los pies situados en primer plano (ajustables) para mantener la unidad en posición vertical respecto a la superficie de proyección.

Instalación de la unidad (en el techo)

Para los clientes

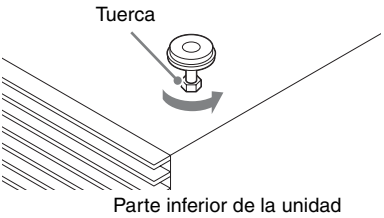
PRECAUCIÓN

Cuando coloque el proyector en el techo o lo traslade a un lugar diferente, no lo haga sin ayuda.

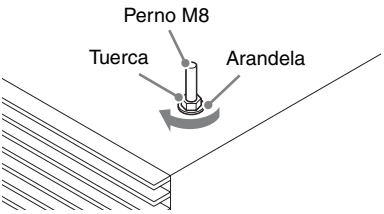
Para los distribuidores

Asegúrese de leer "Precauciones de seguridad para instalar la unidad en el techo" (página 7).

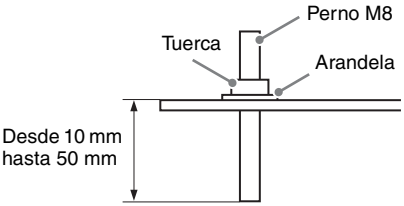
1 Afloje la tuerca y quite los pies (seis puntos).



2 Coloque un perno M8 (60 mm o superior) y una arandela y, a continuación, apriete la tuerca. (Par de apriete recomendado: 12,5 N•m)



Inserción del perno en la unidad: desde 10 mm hasta 50 mm.



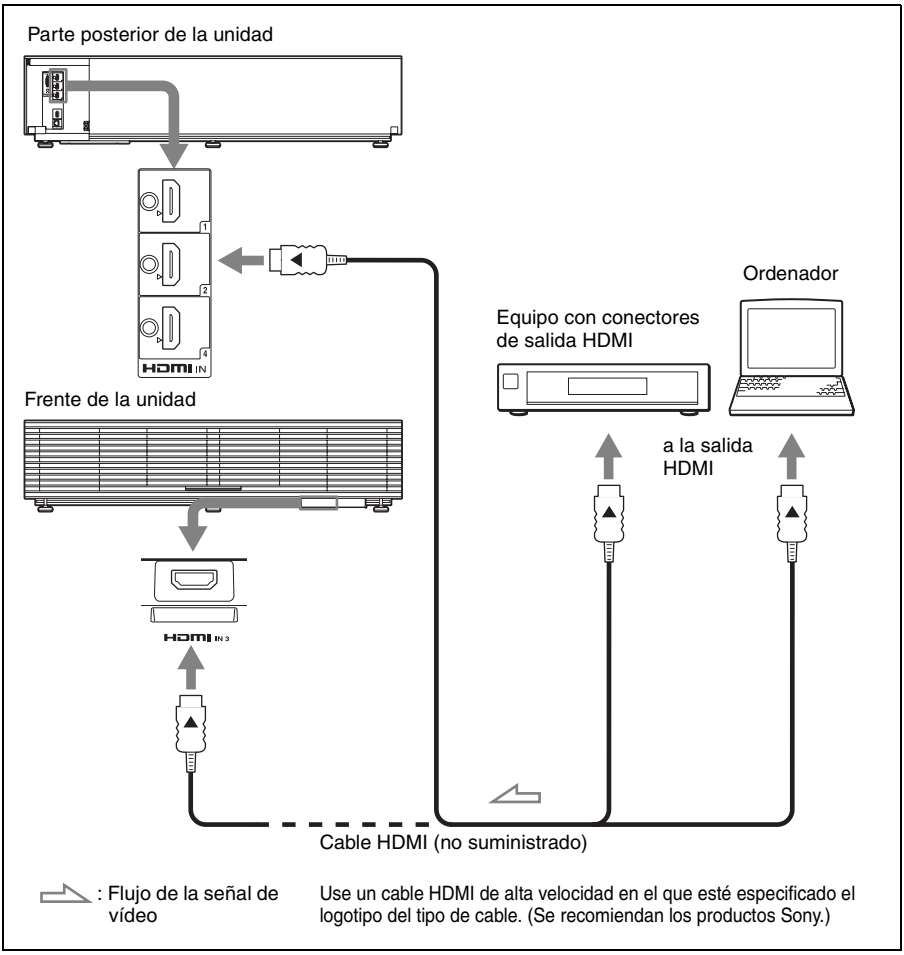
Para obtener más información sobre la posición de colocación del perno M8, consulte "Dimensiones" en el Manual de instrucciones que contiene el CD-ROM suministrado.

Para obtener más información, consulte "Conexiones y preparativos" en el Manual de instrucciones que contiene el CD-ROM suministrado.

Paso 3 Conexión de la unidad

Cuando haga las conexiones, asegúrese de hacer lo siguiente:

- Apague todos los equipos antes de realizar cualquier conexión.
- Utilice los cables apropiados para cada conexión.
- Introduzca los enchufes de los cables correctamente; una mala conexión de las clavijas puede provocar una avería o una mala calidad de imagen. Cuando desconecte un cable, asegúrese de tirar del enchufe, no del cable.
- Consulte las instrucciones de funcionamiento del equipo conectado.

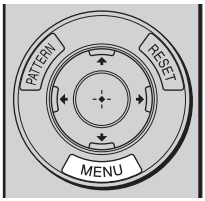

Parte posterior de la unidad
HDMI IN
Frente de la unidad
HDMI IN 3
Ordenador
Equipo con conectores de salida HDMI
a la salida HDMI
Cable HDMI (no suministrado)
: Flujo de la señal de vídeo
Use un cable HDMI de alta velocidad en el que esté especificado el logotipo del tipo de cable. (Se recomiendan los productos Sony.)

Para obtener más información, consulte "Conexiones y preparativos" en el Manual de instrucciones que contiene el CD-ROM suministrado.

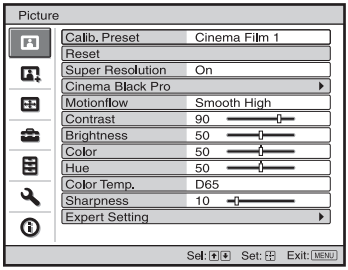
Paso 4 Selección del idioma del menú

El idioma predeterminado de fábrica para visualizar los menús, mensajes, etc. es el inglés. Para cambiar el idioma de las indicaciones en pantalla, haga lo siguiente:

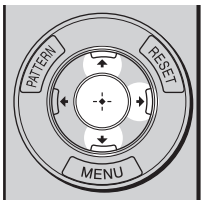
1 Pulse MENU para mostrar el menú.



Aparecerá la ventana del menú.

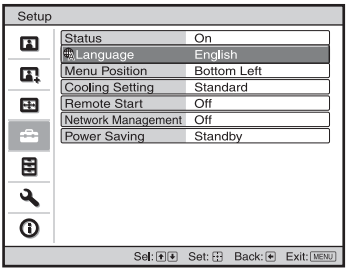


2 Seleccione el idioma del menú.



❶ Pulse ↑/↓ para seleccionar el menú Setup 🧰 y, a continuación, pulse → o ⊕.

❷ Pulse ↑/↓ para seleccionar "🌐A Language" y, a continuación, pulse → o ⊕.



❸ Pulse ↑/↓/←/→ para seleccionar un idioma y, a continuación, pulse → o ⊕.

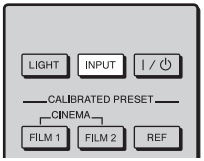
3 Pulse MENU para desactivar la ventana del menú.

Paso 5 Proyección

Proyección de la imagen

1 Encienda la unidad y el equipo conectado a la unidad.

2 Pulse INPUT para visualizar la paleta de entrada en la superficie de proyección.



3 Seleccione el equipo cuyas imágenes desea visualizar.

Pulse INPUT repetidamente o pulse ↑/↓/⊕ (entrar) para seleccionar el equipo desde el que desea realizar la proyección.

Ejemplo: para ver la imagen del equipo de vídeo conectado al conector HDMI 1 de esta unidad.

Apagado de la alimentación

1 Pulse el botón I/⏻ (ON/STANDBY). Aparece el mensaje "DESACTIVAR?".

2 Pulse de nuevo el botón I/⏻ (ON/STANDBY) antes de que desaparezca el mensaje.

Se apaga el indicador LED.

Puede desconectar el cable de alimentación.

Notas

- No desconecte nunca el cable de alimentación mientras la unidad esté encendida.
- El indicador LED no cambiará cuando "Iluminación" está ajustado en "No" en el menú Instalación 🔧.

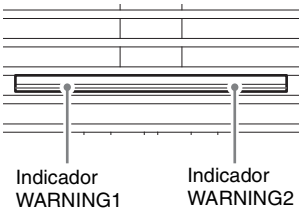
Puede apagar la unidad manteniendo pulsado el botón I/⏻ (ON/STANDBY) aproximadamente durante 1 segundo, en lugar de realizar los pasos anteriormente descritos.

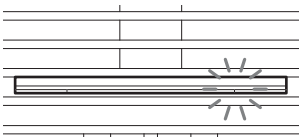
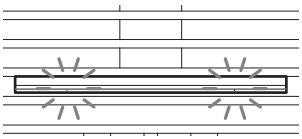
Para obtener más información, consulte "Proyección" en el Manual de instrucciones que contiene el CD-ROM suministrado.

Gestión de errores

Acerca de los indicadores

El indicador WARNING1 o WARNING2 se enciende o parpadea si el proyector tiene algún problema.



Indicadores iluminados/ parpadeando	El número de parpadeos	Causa y solución
 (Parpadea en rojo)	Tres veces	La temperatura de la fuente de luz es inusualmente alta. Apague la unidad y espere a que se enfríe la fuente de luz; a continuación, vuelva a encender la unidad. Si el síntoma no desaparece, es posible que la fuente de luz haya llegado al final de su vida útil. En este caso, consulte con personal especializado de Sony.
	Seis veces	La unidad detecta una caída. Si hay alguna anomalía en la unidad, consulte con personal especializado de Sony. Si no hay anomalías en la unidad, desconecte el cable de alimentación y compruebe que el indicador LED se apaga; a continuación, conecte el cable de alimentación y encienda la unidad.
 (Parpadea en rojo) (Parpadea en rojo) Ambos indicadores parpadean	Dos veces	La temperatura interna es anormalmente alta. Compruebe que no haya nada bloqueando los orificios de ventilación y si la unidad se está utilizando a altitudes elevadas.
	Tres veces	El ventilador está averiado. Consulte con personal especializado de Sony.

Nota

Si el indicador empieza a parpadear de una forma diferente a las anteriores y el síntoma persiste incluso después de completar los métodos anteriores, consulte al personal cualificado de Sony.

Si se produce algún problema o aparece un mensaje de error en la pantalla, consulte "Gestión de errores" en el Manual de instrucciones que incluye el CD-ROM suministrado.

Informationen zur Kurzreferenz

Diese Kurzreferenz beschreibt die Installation und die grundlegenden Bedienungsvorgänge zum Projizieren von Bildern. Es werden auch wichtige Hinweise und Vorsichtsmaßnahmen erläutert, die Sie bei Handhabung und Gebrauch dieses Geräts beachten müssen.
Schlagen Sie bei Bedarf unter „Hinweis zu den Anzeigen“ nach.
Einzelheiten zu den Bedienungsvorgängen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

Schritt 1 **Vorbereitung** ..... **Seite 9**

Schritt 2 **Installieren des Geräts** ..... **Seite 11**

Schritt 3 **Anschließen des Geräts** ..... **Seite 14**

Schritt 4 **Wählen der Menüsprache** ..... **Seite 15**

Schritt 5 **Projizieren** ..... **Seite 16**

Störungsbehebung **Hinweis zu den Anzeigen** ..... **Seite 17**

Bitte lesen Sie dieses Handbuch vor der Benutzung des Geräts sorgfältig durch und bewahren Sie es zum späteren Nachschlagen auf.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden. Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG
DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

VORSICHT

Hinweis zum LAN-Anschluss

Aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegerät-Anschluss verbinden, der zu starke Spannung für diese Buchse haben könnte.

WARNUNG

1 Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2 Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

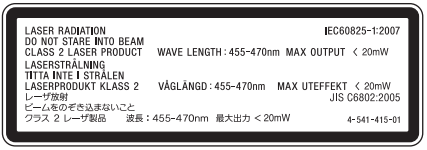
Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

Für Kunden in Europa

Dieses Produkt wurde von oder für Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokio, 108-0075 Japan hergestellt.
Bei Fragen zur Produktkonformität auf Grundlage der Gesetzgebung der Europäischen Union kontaktieren Sie bitte den Bevollmächtigten Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Für Kundendienst oder Garantieangelegenheiten wenden Sie sich bitte an die in den Kundendienst- oder Garantiedokumenten genannten Adressen.

Vorsicht

Bei Betätigung von Bedien- und Einstellteilen oder Ausführung von Bedienvorgängen, die nicht ausdrücklich in dieser Bedienungsanleitung aufgeführt sind, droht u.U. die Einwirkung gefährlicher Laserstrahlung.



LASERSTRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASERPRODUKT DER KLASSE 2
Dieser Datenprojektor ist als LASERPRODUKT DER KLASSE 2 eingestuft.
Der Aufkleber LASERPRODUKT DER KLASSE 2 befindet sich an der Seite des Datenprojektors.

Dieser Aufkleber befindet sich neben dem Projektionsfenster des Datenprojektors.

- Richten Sie den Laserstrahl nicht auf Personen.
- Schauen Sie niemals in den direkten oder reflektierten Laserstrahl.
- Wenn ein Laserstrahl der Klasse 2 auf Ihre Augen trifft, schließen Sie die Augen und entfernen Sie den Kopf umgehend aus dem Strahl.
- Manipulationen (Änderungen) am Lasergerät sind untersagt.
- Diese Anleitung muss gut aufbewahrt und bei Weitergabe des Laserprodukts zur Verfügung gestellt werden.

Für Kunden in Europa

Hinweis für Kunden: die folgenden Hinweise gelten nur für Geräte, die in Ländern verkauft werden, in denen die EG-Richtlinien angewandt werden.

CE

Hiermit erklärt Sony Corporation, dass sich das Gerät VPL-GTZ1/Datenprojektor in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG befindet.
Weitere Informationen erhältlich unter: http://www.compliance.sony.de/

Vorsicht beim Austauschen/ Entsorgen der Batterie der 3D-Brille

Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen.
Wenn Sie die Batterie entsorgen, müssen Sie die Gesetze der jeweiligen Region und des jeweiligen Landes befolgen.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Vorsichtsmaßnahmen

Info zur Sicherheit

- Vergewissern Sie sich, dass die Betriebsspannung Ihres Gerätes mit der Spannung Ihrer örtlichen Stromversorgung übereinstimmt.
- Sollten Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen, ziehen Sie das Netzkabel ab, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät ist auch im ausgeschalteten Zustand nicht vollständig vom Stromnetz getrennt, solange der Netzstecker noch an der Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Schauen Sie nicht in das Objektiv, während es verwendet wird.
- Halten Sie Ihre Hände oder Gegenstände von den Lüftungsöffnungen fern. Die austretende Luft ist heiß.

Info zur Verhütung eines internen Wärmestaus

Nachdem Sie den Projektor mit der Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft) ausgeschaltet haben, trennen Sie ihn nicht von der Netzsteckdose, solange der Lüfter noch läuft.

Vorsicht

Dieses Gerät ist mit Lüftungsöffnungen (Einlass und Auslass) ausgestattet. Der Luftstrom durch diese Öffnungen darf nicht blockiert oder durch in der Nähe abgestellte Gegenstände behindert werden, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann, der eine Verschlechterung der Bildqualität oder Beschädigung des Geräts zur Folge haben kann.

Info zur Wiederverpackung

Bewahren Sie den Originalkarton und das Verpackungsmaterial gut auf für den Fall, dass Sie das Gerät später einmal transportieren müssen. Am besten geschützt ist das Gerät beim Transport, wenn Sie es wieder so verpacken, wie es geliefert wurde.

Hinweis zum Betrachten von 3D-Videobildern

Sicherheitshinweise

- Verwenden Sie die 3D-Brille ausschließlich zum Betrachten von 3D-Videobildern.
- Wenn Sie Flimmern oder Flackern bemerken, schalten Sie die Raumbeleuchtung aus.
- Nicht geeignet für Kinder ohne angemessene Aufsicht durch Erwachsene.
- Achten Sie darauf, sich nicht die Finger in den Scharnieren der 3D-Brille einzuklemmen, wenn Sie die Brillenbügel einklappen.
- Lassen Sie die 3D-Brille nicht fallen und nehmen Sie keine Veränderungen daran vor.
- Wenn ein Brillenglas springt, achten Sie darauf, sich durch die Bruchstücke keine Verletzungen an Mund oder Augen zuzuziehen.

Hinweis zur Inspektion von zur Lichtquelle gehörenden Teilen

Da das Gerät mit einem Laser arbeitet, sind bei der Wartung oder Inspektion von zur Lichtquelle gehörenden Teilen besondere Vorsicht und eine sichere Umgebung erforderlich. Wenden Sie sich dazu unbedingt an qualifizierte Sony-Fachleute (kostenpflichtig).

Info zum LCD-Projektor

Der LCD-Projektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Es kann jedoch sein, dass im Projektionsbild des LCD-Projektors ständig winzige schwarze und/oder helle Punkte (rote, blaue oder grüne) enthalten sind. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung.

Wenn Sie mehrere LCD-Projektoren für die Projizierung auf einer Leinwand verwenden, kann außerdem selbst bei identischen Modellen die Farbwiedergabe bei den verschiedenen Projektoren variieren, da für jeden Projektor eigene Einstellungen der Farbbalance vorgenommen werden können.

Hinweis zur Kondensation

Wenn sich die Temperatur in dem Raum, in dem der Projektor aufgestellt ist, schnell ändert oder wenn der Projektor plötzlich von einem kalten an einen warmen Ort gebracht wird, kann es im Inneren des Projektors zu einer Kondensation kommen. Da die Kondensation zu einer Fehlfunktion führen kann, sollten Sie bei den Temperatureinstellungen einer Klimaanlage vorsichtig sein.
Lassen Sie den Projektor vor der Verwendung ungefähr vier Stunden eingeschaltet, wenn es zu einer Kondensation gekommen ist.

SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART DURCH UNTERLASSENE GEEIGNETE SICHERHEITSMASSNAHMEN AN ÜBERTRAGUNGSGERÄTEN, DURCH UNVERMEIDBARE DATENPREISGABE AUFGRUND DER ÜBERTRAGUNGSSPEZIFIKATIONEN ODER DURCH SICHERHEITSPROBLEME JEGLICHER ART ÜBERNEHMEN.

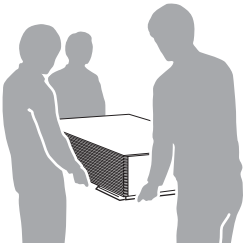
Hinweise

- Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR ANSPRÜCHE JEDER ART VON DEN BENUTZERN DIESES GERÄTS ODER VON DRITTER SEITE ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR DIE BEENDIGUNG ODER EINSTELLUNG VON DIENSTLEISTUNGEN BEZÜGLICH DIESES GERÄTS GLEICH AUS WELCHEM GRUND ÜBERNEHMEN.

Hinweise zu Installation und Gebrauch

Tragen des Geräts

Zum Tragen des Geräts sind mindestens drei Personen erforderlich - je eine an den Seiten und eine an der Vorderseite wie in der Abbildung unten zu sehen.
Halten Sie das Gerät fest an der Unterseite und platzieren Sie die Hände dabei möglichst weit innen.



Tipp

Wenn der Griff angebracht ist, tragen Sie das Gerät am Griff.

Hinweis

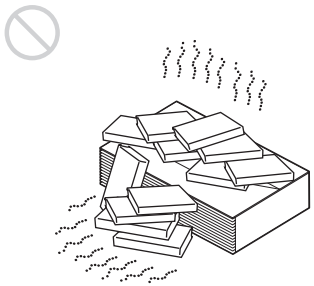
Achten Sie darauf, das Gerät nicht am Bedienfeld zu fassen.

Ungeeignete Installation

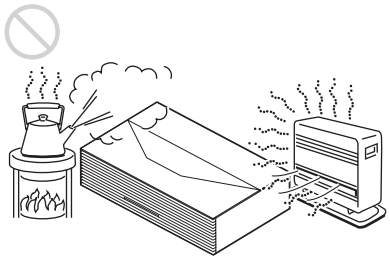
Stellen Sie das Gerät nicht an folgenden Orten auf, weil es sonst zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts kommen kann.

Schlecht belüftete Orte

Halten Sie einen Abstand von mindestens 30 cm um das Gerät ein.

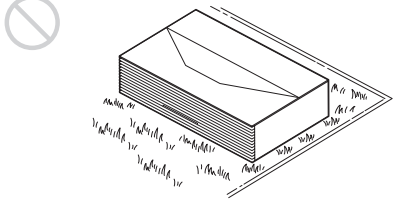


Heiße und feuchte Orte

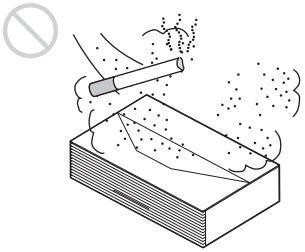


Auf einem dicken, flauschigen Teppich

Auf der Unterseite des Geräts befinden sich Lüftungsöffnungen. Wenn die Lüftungsöffnungen blockiert werden, kann es zu einer Fehlfunktion kommen.



Sehr staubige oder extrem rauchige Orte



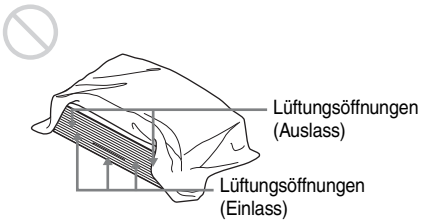
Sonstige Hinweise

- Der Luftzug von Klimaanlagen oder Lüftungsöffnungen an diesem oder anderen Geräten kann zu Oszillationen auf der Projektionsfläche führen. Achten Sie darauf, dieses Gerät so aufzustellen, dass der Luftzug von Klimaanlagen oder Lüftungsöffnungen nicht das Objektiv dieses Geräts erreicht.
- Wenn an den Füßen des Geräts Schmutz, Sand o. Ä. haftet, kann der Fußboden beschädigt werden.

Ungeeignete Bedingungen

Führen Sie während der Benutzung des Geräts keinen der folgenden Vorgänge durch.

Blockieren der Lüftungsöffnungen (Einlass oder Auslass)



Neigen nach vorn/hinten und links/rechts

Wenn das Gerät nach vorne oder hinten geneigt aufgestellt wird, erscheint das Bild auf der Projektionsfläche trapezförmig. Stellen Sie das Gerät so auf, dass es parallel zur Projektionsfläche ausgerichtet ist.

Bei Installation des Gerätes in Höhenlagen

Wenn Sie das Gerät in Höhenlagen über 1.500 m benutzen, setzen Sie „Kühlungseinstellung“ im Menü Einrichtung auf „Hoch“. Wird dieser Modus bei Verwendung des Geräts in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z.B. die Verschlechterung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.

Sicherheitsmaßnahmen für den Griff

- Verwenden Sie den Griff ausschließlich für den vorgesehenen Zweck.
- Überlassen Sie das Anbringen oder Abnehmen des Griffs vom Gerät ausschließlich qualifiziertem Fachpersonal.
- Verwenden Sie ausschließlich das mitgelieferte Zubehör. Wenn Sie andere Teile als das mitgelieferte Zubehör verwenden, kann es am Griff zu Schäden kommen.
- Schützen Sie den Griff vor Stößen und hängen Sie keine schweren Gegenstände daran. Wenn der Griff beschädigt ist, verwenden Sie ihn nicht weiter und wenden Sie sich unverzüglich an qualifiziertes Fachpersonal.

Sicherheitshinweise zur Montage des Geräts an der Decke

- Montieren Sie den Projektor auf keinen Fall selbst an der Decke und hängen Sie ihn nicht alleine um. Wenden Sie sich dazu unbedingt an qualifizierte Sony-Fachleute (kostenpflichtig).
- Verwenden Sie bei der Montage des Geräts an der Decke unbedingt einen Sicherungsdraht o. Ä., damit das Gerät nicht herunterfallen kann. Beauftragen Sie erfahrenes Fachpersonal mit der Montage.

Für Händler

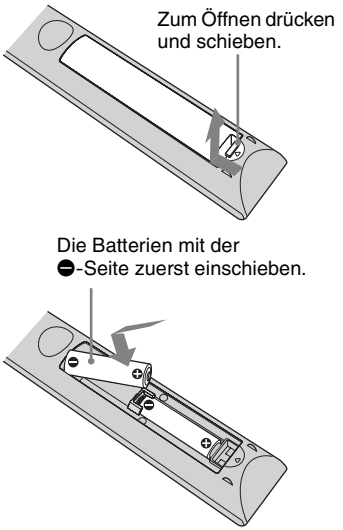
- Wenn der Projektor an der Decke montiert wird, muss zur Installation eine Sony-Halterung oder eine gleichwertige, empfohlene Vorrichtung verwendet werden.
- Sorgen Sie bei Deckenmontage für eine einwandfreie Sicherung der Gehäuseabdeckung.

Schritt 1 Vorbereitung

Überprüfen des mitgelieferten Zubehörs

Prüfen Sie die Verpackung und vergewissern Sie sich, dass sie folgende Elemente enthält:
- Fernbedienung RM-PJ28 (1)
- Manganbatterien der Größe AA (R6) (2)
- Netzkabel (1)
- Steckerhalter (1)
- Griff (2)
- Befestigungsschrauben für den Griff (Ersatz) (4)
- Einstellwerkzeug (1)
- Reinigungstuch (1)
- Kurzreferenz (diese Anleitung) (1)
- Bedienungsanleitung (CD-ROM) (1)

Einlegen der Batterien in die Fernbedienung



VORSICHT

Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen.

Wenn Sie die Batterie entsorgen, müssen Sie die Gesetze der jeweiligen Region und des jeweiligen Landes befolgen.

Einlegen der Batterien

Zwei R6-Batterien der Größe AA werden für die RM-PJ28-Fernbedienung mitgeliefert.
Verwenden Sie R6-Mangan- oder -Alkalibatterien der Größe AA. Andernfalls besteht Explosionsgefahr.

Vorsichtshinweis zum Umgang mit der Fernbedienung

- Gehen Sie sorgfältig mit der Fernbedienung um. Lassen Sie sie nicht fallen, treten Sie nicht darauf und verschütten Sie keine Flüssigkeiten darauf.
- Legen Sie die Fernbedienung nicht an einem Ort in der Nähe einer Wärmequelle, in direktem Sonnenlicht oder in einem feuchten Raum ab.

Verwenden der Anleitungen auf der CD-ROM

Die Anleitung kann auf einem Computer, auf dem der Adobe Reader installiert ist, gelesen werden.
Sie können den Adobe Reader kostenlos von der Adobe-Website herunterladen.

1 Öffnen Sie die Datei index.htm auf der CD-ROM.

2 Wählen Sie die Anleitung aus, die Sie lesen möchten, und klicken Sie darauf.

Hinweis

Wenn Sie die CD-ROM nicht mehr besitzen, oder wenn sie beschädigt ist, können Sie Ersatz bei Ihrem Sony-Händler oder der Sony-Servicevertretung bestellen.

Verwenden des Griffs

Montieren Sie bei Bedarf den mitgelieferten Griff zum Tragen oder Installieren des Geräts.

Für Kunden

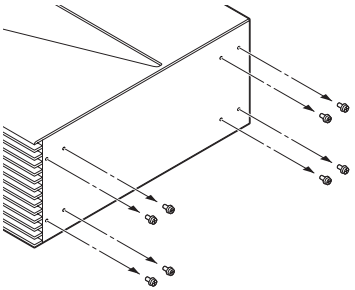
Zur Installation des Griffs sind Fachkenntnisse erforderlich. Lassen Sie die Installation unbedingt von Sony-Händlern oder lizenzierten Fachleuten ausführen und beachten Sie bei der Installation alle relevanten Sicherheitsmaßnahmen.

Für Händler

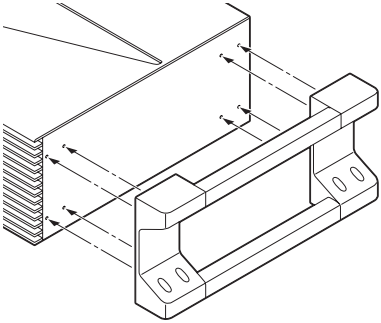
Lesen Sie diese Anleitung zum Installieren des Griffs unbedingt sorgfältig durch. Sony übernimmt keine Haftung für Verletzungen bzw. Sachschäden, die durch unsachgemäßen Umgang mit dem Produkt oder eine fehlerhafte Montage entstehen.

Lesen Sie unbedingt den Abschnitt „Sicherheitsmaßnahmen für den Griff“ (Seite 8).

1 Entfernen Sie die Befestigungen auf beiden Seiten des Geräts.



2 Montieren Sie den Griff am Gerät.
Verwenden Sie dazu die am Griff angebrachten Schrauben.

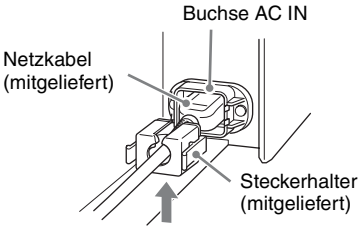


3 Prüfen Sie, ob der Griff ordnungsgemäß montiert ist.
Achten Sie darauf, dass nach der Montage des Griffs kein Zwischenraum zwischen Griff und Gerät bleibt. Vergewissern Sie sich alle zwei Monate, dass die Schrauben noch fest angezogen sind.

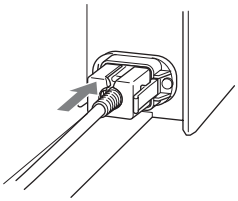
Schritt 2 Installieren des Geräts

Anschließen des Netzkabels

1 Stecken Sie das Netzkabel in die Buchse AC IN und bringen Sie dann den Steckerhalter am Netzkabel an.



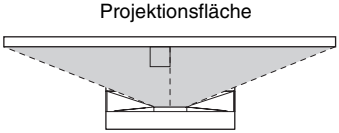
2 Schieben Sie den Steckerhalter über das Netzkabel, um dieses am Gerät zu befestigen.



Installieren des Geräts

1 Positionieren Sie das Gerät so, dass es parallel zur Projektionsfläche ausgerichtet ist.

Draufsicht



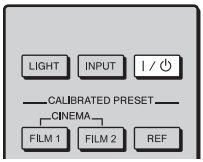
2 Projizieren Sie ein Bild auf die Projektionsfläche und stellen Sie es so ein, dass es auf die Projektionsfläche passt.

Einstellen des projizierten Bildes

1 Schließen Sie das Netzkabel erst an das Gerät und dann an eine Netzsteckdose an.

Das Gerät wechselt in den Bereitschaftsmodus.

2 Drücken Sie die Taste I/⏻ (ON/STANDBY), um das Gerät einzuschalten.



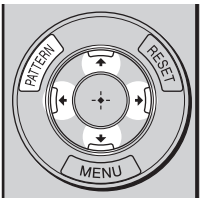
Die LED-Anzeige leuchtet weiß.

3 Wählen Sie die Funktion Bildposition passend zur Größe der Projektionsfläche aus.

Die „Bildposition“ können Sie im Menü Bildschirm ⊞ einstellen.

Bildgröße (für maximalen Zoom)	Installationsabstand (von der Projektionsfläche bis zur Geräterückseite)	Auszuwählende Option für die Einstellung
147 bis 132 Zoll	11 bis 17 cm	Bildposition Benut.def. 1
132 bis 121 Zoll	6 bis 11 cm	Bildposition Benut.def. 2
121 bis 113 Zoll	3 bis 6 cm	Bildposition Benut.def. 3
113 bis 106 Zoll	0 bis 3 cm	Standardeinstellung

4 Projizieren Sie ein Bild auf die Leinwand und stellen Sie dann ZOOM, FOCUS und CORNER CORRECTION ein.



❶ Stellen Sie die Bildgröße ein.
Drücken Sie die Taste PATTERN so oft, bis das Einstellfenster für ZOOM angezeigt wird, und stellen Sie die Bildgröße dann mit den Tasten ↑/↓/←/→ ein.

❷ Stellen Sie den Fokus ein.
Drücken Sie die Taste PATTERN so oft, bis das Einstellfenster für FOCUS angezeigt wird, und stellen Sie dann den Fokus für die Bildmitte ein.

❸ Stellen Sie den Fokus und die Verzerrung der oberen Bildecke ein.
Drücken Sie die Taste PATTERN so oft, bis das Einstellfenster für CORNER CORRECTION angezeigt wird, und stellen Sie dann den Fokus und die Verzerrung der oberen Bildecke mit den Tasten ↑/↓/←/→ ein.

5 Prüfen Sie wie im Folgenden beschrieben, ob das Gerät parallel zur Projektionsfläche und das Bild horizontal und vertikal ausgerichtet ist.

❶ Prüfen Sie, ob der obere und der untere Rand des Bildes parallel ausgerichtet sind.
Wenn nicht, stellen Sie das Gerät parallel zur Projektionsfläche auf.

❷ Prüfen Sie, ob der untere Rand des Bildes horizontal ausgerichtet ist.
Wenn nicht, richten Sie das Gerät mithilfe der Füße (einstellbar) links/rechts waagerecht aus.

❸ Prüfen Sie, ob der linke und der rechte Rand des Bildes vertikal ausgerichtet sind.
Wenn nicht, richten Sie das Gerät mithilfe der Füße (einstellbar) vorn vertikal zur Projektionsfläche aus.

Installieren des Geräts (Wandmontage)

Für Kunden

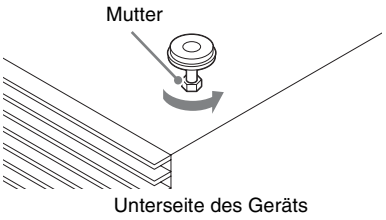
VORSICHT

Wenn Sie den Projektor an der Wand montieren oder anderswohin transportieren wollen, benötigen Sie dazu weitere Personen.

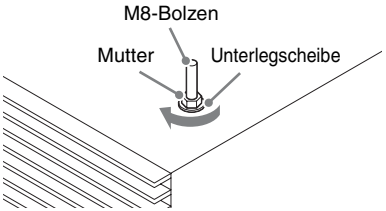
Für Händler

Lesen Sie unbedingt den Abschnitt „Sicherheitshinweise zur Montage des Geräts an der Decke“ (Seite 8).

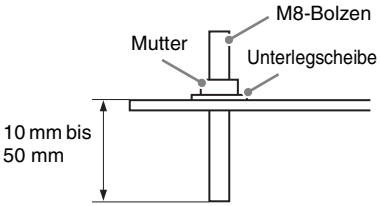
1 Lösen Sie die Mutter und entfernen Sie die Füße (sechs Stellen).



2 Bringen Sie einen M8-Bolzen (mindestens 60 mm lang) und eine Unterlegscheibe an und ziehen Sie die Mutter fest. (Empfohlenes Drehmoment zum Anziehen der Mutter: 12,5 N•m)



Der Bolzen sollte zwischen 10 mm und 50 mm in das Gerät hineinragen.



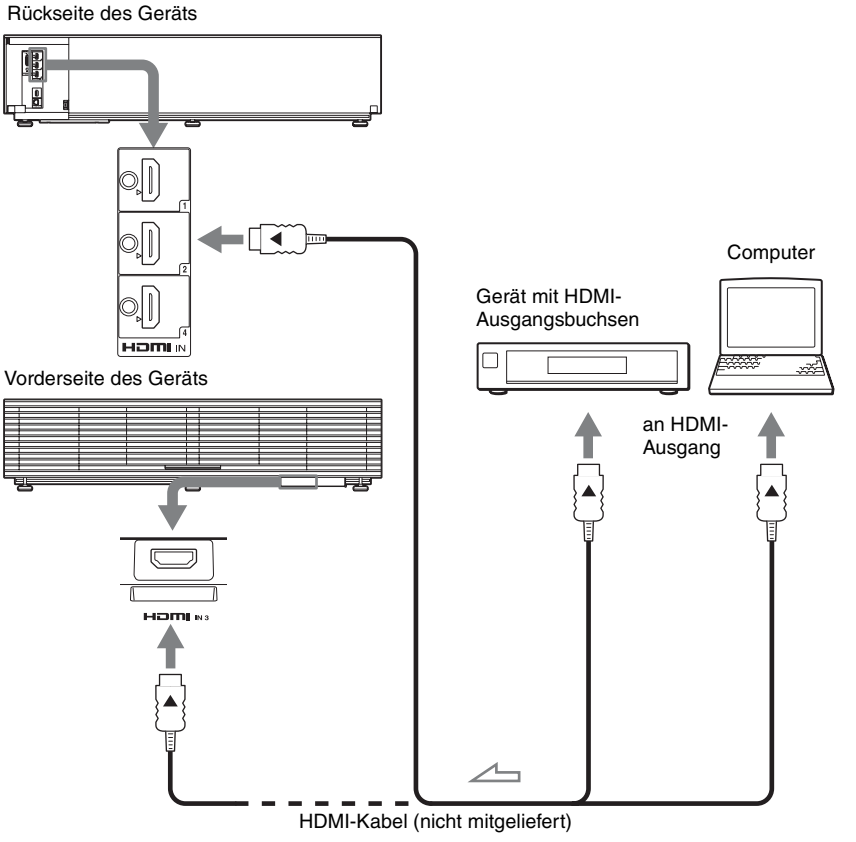
Einzelheiten zur Montageposition des M8-Bolzens finden Sie unter „Abmessungen“ in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

Falls Probleme auftreten oder eine Fehlermeldung angezeigt wird, schlagen Sie unter „Anschlüsse und Vorbereitungen“ in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM nach.

Schritt 3 Anschließen des Geräts

Achten Sie bei der Herstellung der Anschlüsse auf Folgendes:

- Schalten Sie alle Geräte aus, bevor Sie irgendwelche Anschlüsse vornehmen.
- Verwenden Sie die korrekten Kabel für jeden Anschluss.
- Stecken Sie die Kabelstecker einwandfrei ein; lockerer Anschluss der Stecker kann eine Funktionsstörung oder schlechte Bildqualität verursachen. Ziehen Sie beim Herausziehen eines Kabels am Stecker, nicht am Kabel selbst.
- Schlagen Sie in der Bedienungsanleitung des angeschlossenen Gerätes nach.

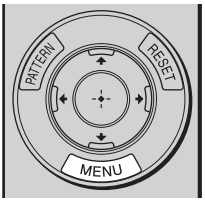


Falls Probleme auftreten oder eine Fehlermeldung angezeigt wird, schlagen Sie unter „Anschlüsse und Vorbereitungen“ in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM nach.

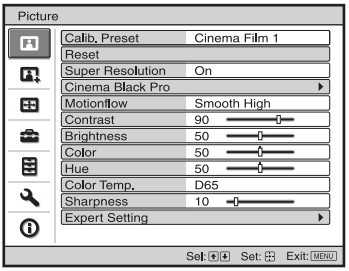
Schritt 4 Wählen der Menüsprache

Die werkseitige Einstellung für die Sprache zur Anzeige der Menüs, Meldungen usw. ist Englisch.
Um die Sprache für die Bildschirmanzeige zu ändern, gehen Sie wie folgt vor:

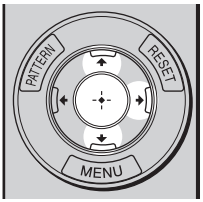
1 Drücken Sie MENU, um das Menü aufzurufen.



Das Menüfenster erscheint.

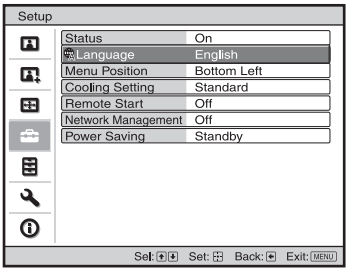


2 Wählen Sie die Menüsprache aus.



❶ Wählen Sie mit ↑/↓ das Menü Setup aus und drücken Sie dann → oder ⊕.

❷ Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Language“ aus und drücken Sie dann → oder ⊕.



❸ Wählen Sie mit ↑/↓/←/→ eine Sprache aus und drücken Sie dann → oder ⊕.

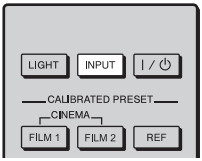
3 Drücken Sie MENU, um das Menüfenster auszublenden.

Schritt 5 Projizieren

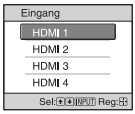
Projizieren des Bildes

1 Schalten Sie sowohl dieses Gerät als auch die angeschlossenen Geräte ein.

2 Drücken Sie INPUT, um auf der Projektionsfläche eine Liste der Eingabegeräte anzuzeigen.



3 Wählen Sie das Gerät, auf dem sich die Bilder befinden, die angezeigt werden sollen.
Drücken Sie wiederholt auf INPUT, oder drücken Sie auf ↑/↓/⊕ (Eingabe), um das gewünschte Gerät zu wählen.



Beispiel: Wiedergeben des Bildes vom am Anschluss HDMI 1 dieses Geräts angeschlossenen Videogerät.

Ausschalten des Geräts

1 Drücken Sie die Taste I/⏻ (ON/STANDBY).
Die Meldung „AUSSCHALTEN?“ erscheint.

2 Drücken Sie die Taste I/⏻ (ON/STANDBY) erneut, bevor die Meldung ausgeblendet wird.
Die LED-Anzeige erlischt.

Sie können das Netzkabel abziehen.

Hinweise

- Bei eingeschaltetem Gerät darf das Netzkabel auf keinen Fall abgezogen werden.
- Die LED-Anzeige ändert sich nicht, wenn „Beleuchtung“ im Menü Installation 🔧 auf „Aus“ gesetzt wird.

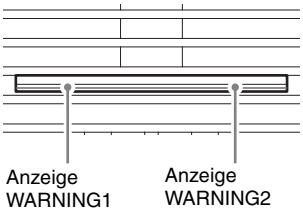
Anstatt die obigen Schritte auszuführen, können Sie das Gerät auch ausschalten, indem Sie die Taste I/⏻ (ON/STANDBY) etwa 1 Sekunde lang gedrückt halten.

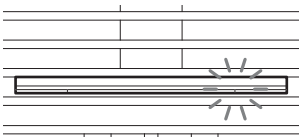
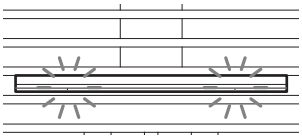
Falls Probleme auftreten oder eine Fehlermeldung angezeigt wird, schlagen Sie unter „Projizieren“ in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM nach.

Störungsbehebung

Hinweis zu den Anzeigen

Die Anzeige WARNING1 oder WARNING2 leuchtet auf oder blinkt, wenn am Projektor eine Störung vorliegt.



Anzeigen blinken/leuchten	Anzahl des Blinkens	Ursache und Abhilfemaßnahme
 (Blinkt rot)	Dreimal	Die Temperatur der Lichtquelle ist ungewöhnlich hoch. Schalten Sie die Stromversorgung aus und warten Sie, bis die Lichtquelle abgekühlt ist, bevor Sie den Projektor wieder einschalten. Wenn das Symptom weiterhin besteht, hat die Lichtquelle möglicherweise das Ende ihrer Nutzungsdauer erreicht. Wenden Sie sich in diesem Fall an qualifiziertes Sony-Personal.
	Sechsmal	Das Gerät erkennt einen Aufprall oder eine Erschütterung. Liegt am Gerät eine Störung oder Beschädigung vor, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal. Liegen am Gerät keine Störungen oder Beschädigungen vor, ziehen Sie das Netzkabel ab, vergewissern Sie sich, dass die LED-Anzeige erlischt, schließen Sie das Netzkabel dann wieder an und schalten Sie das Gerät ein.
 (Blinkt rot) (Blinkt rot) Beide Anzeigen blinken	Zweimal	Die Innentemperatur ist ungewöhnlich hoch. Prüfen Sie, ob die Lüftungsöffnungen blockiert sind oder ob das Gerät in Höhenlagen verwendet wird.
	Dreimal	Der Lüfter ist defekt. Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.

Hinweis

Falls die Anzeige anders als oben erläutert zu blinken beginnt und das Symptom trotz Durchführung der obigen Maßnahmen bestehen bleibt, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal.

Falls Probleme auftreten oder eine Fehlermeldung angezeigt wird, schlagen Sie unter „Störungsbehebung“ in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM nach.

Informazioni sulla Guida rapida all'uso

La presente Guida rapida all'uso descrive l'installazione e le operazioni di base per la proiezione di immagini. Inoltre, sono descritte note e precauzioni importanti a cui prestare attenzione durante l'uso di questa unità.
Vedere "Informazioni sulle spie" in base alle necessità.
Per i dettagli sulle operazioni, consultare le Istruzioni per l'uso contenute nel CD-ROM in dotazione.

Punto 1 **Preparazione** ..... **Pagina 9**

Punto 2 **Installazione dell'unità** ..... **Pagina 11**

Punto 3 **Collegamento dell'unità** ..... **Pagina 14**

Punto 4 **Selezione della lingua del menu** ..... **Pagina 15**

Punto 5 **Proiezione** ..... **Pagina 16**

Gestione degli errori **Informazioni sulle spie** ..... **Pagina 17**

Leggere attentamente questo manuale prima di utilizzare l'unità, e conservarlo per riferimenti futuri.

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.
Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

AVVERTENZA
QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

AVVERTENZA

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

ATTENZIONE

Informazioni sul connettore LAN

Per ragioni di sicurezza, non collegare il connettore per il cablaggio del dispositivo periferico che potrebbe avere una tensione eccessiva in questa porta.

AVVERTENZA

1 Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2 Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina confrmi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

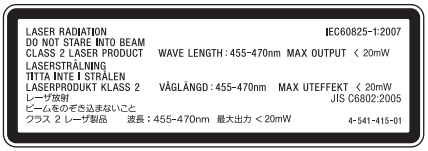
In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, rivolgersi al personale qualificato.

Per i clienti in Europa

Questo prodotto è stato fabbricato da o per conto di Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Giappone. Eventuali richieste in merito alla conformità del prodotto in ambito della legislazione Europea, dovranno essere indirizzate al rappresentante autorizzato, Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germania. Per qualsiasi informazione relativa al servizio o la garanzia, si prega di fare riferimento agli indirizzi riportati separatamente sui documenti relativi all'assistenza o sui certificati di garanzia.

Attenzione

L'uso di comandi o regolazioni o l'esecuzione di procedimenti diversi da quelli specificati in questo manuale possono causare esposizione a radiazioni pericolose.



RADIAZIONE LASER
NON FISSARE IL RAGGIO LUMINOSO
PRODOTTO LASER DI CLASSE 2
Il proiettore dati è classificato come PRODOTTO LASER DI CLASSE 2. Questa etichetta PRODOTTO LASER DI CLASSE 2 si trova sul lato del proiettore dati.

Questa etichetta si trova vicino alla finestra di proiezione del proiettore dati.

Per i clienti in Europa

Avviso per i clienti: le seguenti informazioni sono valide solo per gli apparecchi venduti nei paesi che applicano le direttive UE.

CE

Con la presente Sony Corporation dichiara che VPL-GTZ1/Proiettore dati è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE.
Per ulteriori dettagli, si prega di consultare il seguente URL:
http://www.compliance.sony.de/

Attenzione per sostituzione/ smaltimento della batteria degli occhiali 3D

Se una batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale o simile seguendo le raccomandazioni del produttore.
Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.

Nota: Le seguenti frasi integrano il manuale di istruzioni e, in caso di discordanza, prevalgono sul manuale di istruzioni.

Indicazioni specifiche e avvertenze per l'utilizzo di occhiali 3D in ambito domestico, richieste dal Ministero della Salute Italiano.

- L'utilizzo degli occhiali 3D è controindicato per i bambini al di sotto dei 6 anni di età.
- L'utilizzo continuativo degli occhiali 3D deve in ogni caso essere limitato a un tempo massimo orientativamente pari a quello della durata di uno spettacolo cinematografico.
- L'utilizzo degli occhiali 3D deve essere limitato esclusivamente alla visione di contenuti in 3D.
- Gli occhiali 3D devono essere utilizzati contestualmente agli strumenti correttivi della visione (ad es., occhiali da vista/lenti a contatto), qualora abitualmente utilizzati dall'utente.
- E'opportuno interrompere immediatamente la visione in 3D in caso di comparsa di disturbi agli occhi o di malessere generale e, nell'eventualità di persistenza degli stessi, consultare un medico.
- Gli occhiali 3D devono essere tenuti fuori dalla portata dei bambini qualora vi sia la presenza di piccole parti mobili ingeribili.
- La pulizia degli occhiali 3D deve essere fatta utilizzando un panno leggermente inumidito con una soluzione di sapone delicato e acqua tiepida, non usare prodotti a base alcolica.
- L'uso di sostanze disinfettanti può danneggiare il prodotto o comprometterne la funzionalità; è pertanto controindicato l'uso promiscuo degli occhiali 3D in caso di infezioni oculari o altre affezioni trasmissibili per contatto (a titolo meramente esemplificativo: congiuntivite, infestazioni del capo ecc…) fino alla completa scomparsa dell'infezione stessa.

Precauzioni

Sicurezza

- Verificare che la tensione di funzionamento dell'unità corrisponda alla tensione della rete elettrica locale.
- Se liquidi o solidi dovessero cadere nel mobile, scollegare l'unità e farla controllare da personale qualificato prima di usarla nuovamente.
- Se l'unità non sarà utilizzata per diversi giorni, scollegarla dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo, tirarlo fuori afferrando la spina. Non tirare mai direttamente il cavo.
- La presa di rete dovrebbe essere vicina all'unità e facilmente accessibile.
- L'unità non è scollegata dalla sorgente di alimentazione c.a. (rete elettrica) finché è collegata alla presa di rete, anche se l'unità stessa è stata spenta.
- Non guardare nella lente durante l'uso.
- Non mettere le mani o degli oggetti vicino alle prese di ventilazione. L'aria che ne fuoriesce è calda.

Prevenzione del surriscaldamento interno

Dopo aver spento l'alimentazione con il pulsante **I**/⏻ (accensione/attesa), non scollegare l'unità dalla presa di rete mentre la ventola di raffreddamento è ancora in funzione.

Attenzione

Questa unità è dotata di prese di ventilazione di aspirazione e di scarico. Non ostruire o mettere alcun oggetto vicino a queste aperture; potrebbe verificarsi surriscaldamento interno, provocando un peggioramento dell'immagine o danneggiamento dell'unità.

Imballaggio

Conservare la scatola e il materiale di imballaggio originale, poiché potrebbero servire se fosse necessario spedire l'apparecchio. Per ottenere la massima protezione, imballare l'apparecchio nello stesso modo in cui è stato imballato in stabilimento.

Informazioni sulla visione di immagini video 3D

Precauzioni per la sicurezza

- Gli occhiali 3D devono essere utilizzati esclusivamente per guardare immagini video in 3D.
- Se si notano tremolii o lampi, spegnere l'illuminazione della stanza.
- Prodotto non destinato all'uso da parte di bambini senza l'appropriata supervisione di un adulto.
- Fare attenzione a non schiacciarsi le dita durante la chiusura delle stanghette degli occhiali 3D.
- Non lasciar cadere né modificare gli occhiali 3D.
- In caso di rottura degli occhiali, evitare il contatto di occhi e bocca con i frammenti.

Per il controllo delle parti relative alla sorgente luminosa

Poiché l'unità utilizza un laser, quando si esegue la manutenzione o il controllo delle parti relative alla sorgente luminosa, è necessario prestare particolare attenzione e operare in un ambiente sicuro. Per l'installazione rivolgersi a personale Sony qualificato (a pagamento).

Proiettore LCD

Il proiettore LCD è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Tuttavia potrebbero essere visibili dei puntini neri e/o luminosi (rossi, blu o verdi) che appaiono in modo permanente sul proiettore LCD. Questo è un risultato normale del processo di fabbricazione e non costituisce un guasto. Inoltre, usando più proiettori LCD per proiettare su uno schermo, anche se sono dello stesso modello, la risoluzione dei colori dei vari proiettori può cambiare in quanto il bilanciamento dei colori potrebbe essere impostato diversamente da un proiettore all'altro.

Informazioni sulla condensa

Se la temperatura dell'ambiente dove il proiettore è stato installato cambia rapidamente, o se il proiettore viene improvvisamente spostato da una stanza

fredda a una calda, è possibile che sul proiettore si formi condensa. Dato che la condensa può provocare malfunzionamenti, prestare attenzione alle regolazioni delle impostazioni di temperatura del condizionatore d'aria. Se si forma condensa, lasciare il proiettore acceso per circa quattro ore prima dell'uso.

SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO RISULTANTI DALLA MANCATA IMPLEMENTAZIONE DI MISURE DI PROTEZIONE ADEGUATE SUI DISPOSITIVI DI TRASMISSIONE, DA INEVITABILI DIFFUSIONI DI DATI RISULTANTI DALLE SPECIFICHE TECNICHE DELLA TRASMISSIONE O DA PROBLEMATICHE RELATIVE ALLA SICUREZZA DI QUALSIASI TIPO.

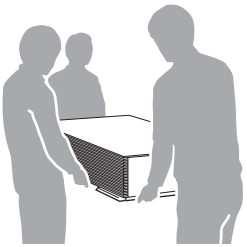
Note

- Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER RICHIESTE O RICORSI DI NESSUN TIPO PRESENTATI DA UTENTI DI QUESTO APPARATO O DA TERZI.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER LA CANCELLAZIONE O LA MANCATA CONTINUAZIONE PER QUALSIASI CAUSA O CIRCOSTANZA DI SERVIZI CORRELATI A QUESTO APPARATO.

Note sull'installazione e sull'utilizzo

Trasporto dell'unità

Quando si trasporta l'unità, utilizzare almeno tre persone, una persona per lato e una per la parte anteriore come illustrato in figura.
Quando si tiene la parte inferiore dell'unità, tenerla saldamente con la mano inserita fin dove possibile sotto la parte interna.



Suggerimento

Se la maniglia è montata, afferrare la maniglia per il trasporto.

Nota

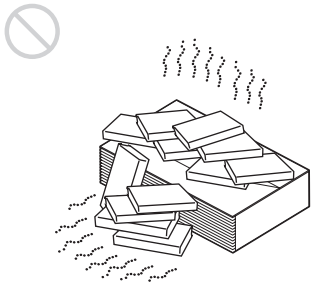
Fare attenzione a non afferrare la parte con il pannello di controllo.

Posizioni di installazione inadatte

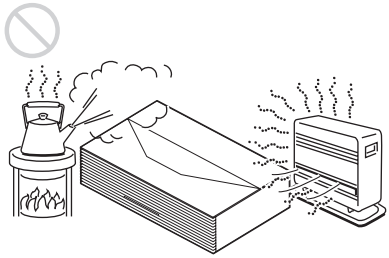
Non installare l'unità nelle seguenti condizioni, che potrebbero causare malfunzionamenti o danneggiarla.

Posizioni con ventilazione insufficiente

Lasciare uno spazio di almeno 30 cm intorno all'unità.

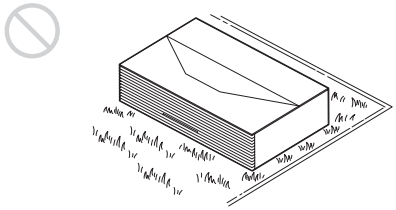


Caldo e umido

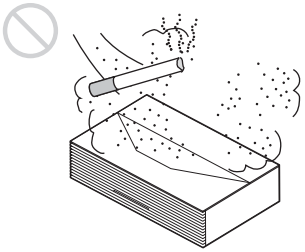


Su spessi tappeti morbidi

Sul fondo dell'unità sono presenti prese di ventilazione. Se le prese sono bloccate può verificarsi malfunzionamento.



Posizioni molto polverose o estremamente fumose



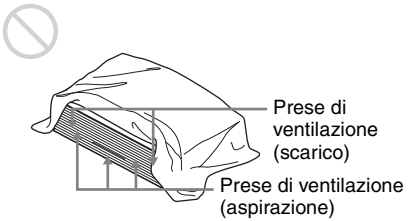
Altra nota

- L'aria proveniente da condizionatori o dalle prese di ventilazione di questa unità o altri dispositivi può provocare oscillazione sulla superficie di proiezione. Verificare di non installare questa unità in posizioni dove l'aria proveniente da condizionatori o dalle prese di ventilazione di questi dispositivi raggiunga la zona dell'obiettivo dell'unità.
- Se tra i piedini dell'unità sono presenti detriti, sabbia, ecc., il pavimento potrebbe danneggiarsi.

Condizioni non idonee

Durante l'uso dell'unità, non effettuare alcuna delle operazioni che seguono.

Ostruire le prese di ventilazione (aspirazione o scarico)



Inclinare avanti/indietro e sinistra/destra

Se si installa l'unità inclinandola avanti e indietro, la forma dell'immagine sulla superficie di proiezione è trapezoidale. Installare l'unità in modo che unità e superficie di proiezione siano parallele.

Installazione dell'unità a quota elevata

Quando si usa l'unità a una quota di 1.500 m o superiore, impostare "Impostazione ventil." nel menu Impostazione su "Alto". Se non viene impostata questo modo e l'unità è usata a quote elevate, potrebbero verificarsi degli effetti negativi, quale la diminuzione dell'affidabilità di determinati componenti.

Precauzioni di sicurezza relative alla maniglia

- Non utilizzare la maniglia per finalità diverse da quelle per cui è stata progettata.
- L'installazione o la disinstallazione della maniglia dall'unità devono essere eseguite solo da personale qualificato del servizio di assistenza.
- Utilizzare esclusivamente gli accessori forniti in dotazione. Utilizzando accessori diversi da quelli forniti in dotazione si potrebbe danneggiare la maniglia.
- Non urtare la maniglia e non appendervi oggetti pesanti. Se la maniglia è danneggiata, sospenderne l'utilizzo e contattare immediatamente un tecnico qualificato del servizio di assistenza.

Precauzioni di sicurezza per l'installazione dell'unità sul soffitto

- Non montare mai il proiettore sul soffitto né spostarlo da soli. Per l'installazione rivolgersi a personale Sony qualificato (a pagamento).
- Se si installa l'unità sul soffitto, accertarsi di utilizzare un cavetto di sicurezza, ecc., per impedire la caduta dell'unità. Affidare l'installazione a un installatore specializzato.

Per rivenditori

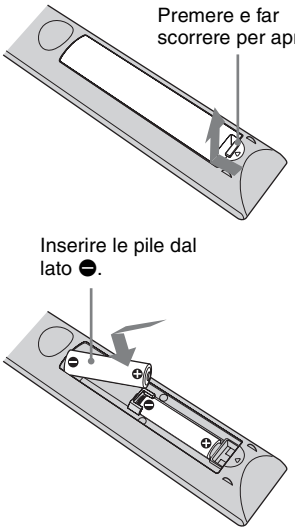
- Se si installa il proiettore sul soffitto, utilizzare per l'installazione una staffa Sony o equivalente consigliata.
- Fissare saldamente il coperchio dell'unità per una installazione sul soffitto sicura.

Punto 1 Preparazione

Verifica degli accessori in dotazione

Verificare che la confezione contenga tutti gli elementi indicati di seguito:
- Telecomando RM-PJ28 (1)
- Pile al manganese in formato AA (R6) (2)
- Cavo di alimentazione CA (1)
- Supporto della spina (1)
- Maniglia (2)
- Viti per il fissaggio della maniglia (4) (riserva)
- Utensile di regolazione (1)
- Panno per la pulizia (1)
- Guida rapida all'uso (questo manuale) (1)
- Istruzioni per l'uso (sul CD-ROM) (1)

Inserimento delle pile nel telecomando



ATTENZIONE

Se una batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale o simile seguendo le raccomandazioni del produttore.

Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.

Inserimento delle pile

Due pile formato AA (R6) sono fornite in dotazione per il telecomando RM-PJ28. Per evitare il rischio di esplosione, utilizzare pile formato AA (R6) al manganese o alcaline.

Precauzioni per l'uso del telecomando

- Maneggiare il telecomando con cura. Non farlo cadere, calpestarlo o versarvi sopra liquidi di alcun tipo.
- Non posizionare il telecomando in prossimità di fonti di calore, né in luoghi soggetti alla luce diretta del sole o in stanze umide.

Uso del manuale su CD-ROM

Il manuale può essere letto esclusivamente su un computer su cui è installato Adobe Reader.
È possibile scaricare gratuitamente Adobe Reader dal sito web di Adobe.

1 Aprire il file index. htm nel CD-ROM.

2 Selezionare e fare clic sul manuale che si desidera leggere.

Nota

In caso di perdita o di danneggiamento del CD-ROM, è possibile acquistarne uno nuovo da un rivenditore Sony o rivolgendosi all'assistenza Sony.

Uso della maniglia

Montare la maniglia fornita in dotazione sull'unità per il trasporto, oppure installarla secondo necessità.

Per i clienti

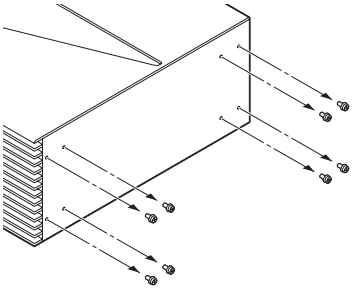
Per installare la maniglia occorre essere sufficientemente esperti. Si raccomanda di fare eseguire l'installazione a installatori Sony o installatori autorizzati, e di prestare particolare attenzione alla sicurezza durante l'installazione.

Per rivenditori

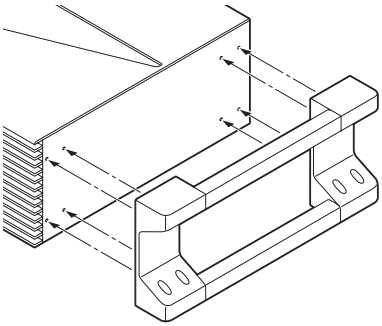
Leggere con attenzione il presente manuale per eseguire l'installazione della maniglia. Sony declina ogni responsabilità in caso di danni o infortuni provocati da un uso errato o un'installazione scorretta.

Si raccomanda di leggere le "Precauzioni di sicurezza relative alla maniglia" (pagina 8).

1 Rimuovere gli elementi di fissaggio dai due lati dell'unità.



2 Fissare la maniglia all'unità.
Utilizzare le viti della maniglia.



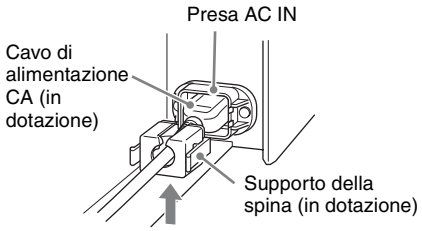
3 Controllare che la maniglia sia fissata correttamente.

In seguito all'installazione della maniglia, controllare che non vi sia spazio libero tra la maniglia e l'unità. Verificare ogni due mesi che le viti siano ancora ben serrate.

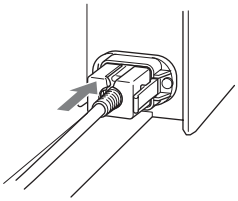
Punto 2 Installazione dell'unità

Collegamento del cavo di alimentazione CA

1 Collegare il cavo di alimentazione CA alla presa AC IN, quindi inserire il supporto della spina sul cavo di alimentazione CA.



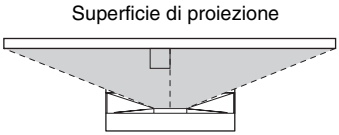
2 Fare scorrere il supporto della spina sul cavo di alimentazione CA per assicurarlo all'unità.



Installazione dell'unità

1 Posizionare l'unità in modo che l'obiettivo sia parallelo alla superficie di proiezione.

Vista dall'alto

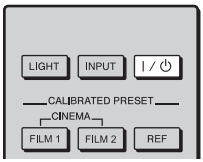


2 Proiettare un'immagine sulla superficie di proiezione e regolarla in modo che rientri in essa.

Regolazione dell'immagine di proiezione

1 Dopo aver collegato il cavo di alimentazione c.a. all'unità, collegarlo a una presa della rete elettrica.
L'unità passa alla modalità di attesa.

2 Premere il pulsante **I/⏻** (ON/STANDBY) per accendere l'unità.

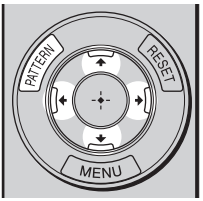


La spia a LED si accende con luce bianca.

3 Utilizzare la funzione Posiz. Immagine corrispondente alla dimensione di proiezione.
Questa impostazione è disponibile in "Posiz. Immagine" nel menu Schermo .

Dimensione immagine (per massimo zoom)	Distanza di installazione (da una superficie di proiezione al retro dell'unità)	Destinazione per regolazione
Da 147 a 132 pollici	Da 11 a 17 cm	Posiz. Immagine Personal. 1
Da 132 a 121 pollici	Da 6 a 11 cm	Posiz. Immagine Personal. 2
Da 121 a 113 pollici	Da 3 a 6 cm	Posiz. Immagine Personal. 3
Da 113 a 106 pollici	Da 0 a 3 cm	Impostazione predefinita

4 Proiettare un'immagine sullo schermo, quindi regolare ZOOM, FOCUS e CORNER CORRECTION.



❶ Regolare la dimensione dell'immagine.

Premere ripetutamente il pulsante PATTERN per visualizzare la finestra di regolazione ZOOM, quindi regolare le dimensioni dell'immagine premendo i pulsanti ↑/↓/←/→.

❷ Regolare la messa a fuoco.

Premere ripetutamente il pulsante PATTERN per visualizzare la finestra di regolazione FOCUS, quindi regolare la messa a fuoco della parte centrale dell'immagine.

❸ Regolare messa a fuoco e distorsione sull'angolo superiore dell'immagine.

Premere ripetutamente il pulsante PATTERN per visualizzare la finestra di regolazione CORNER CORRECTION, quindi regolare messa a fuoco e distorsione dell'angolo superiore dell'immagine premendo i pulsanti ↑/↓/←/→.

5 Controllare che lo schermo sia parallelo, orizzontale e verticale come segue.

❶ Verificare che il lato superiore dell'immagine e quello inferiore siano paralleli.

In caso contrario, installare l'unità parallelamente alla superficie di proiezione.

❷ Verificare che il lato inferiore dell'immagine sia orizzontale.

In caso contrario, utilizzare i piedini sinistro/destro (regolabili) per livellare l'unità.

❸ Verificare che il lato sinistro dell'immagine e quello destro siano verticali.

In caso contrario, utilizzare i piedini frontali (regolabili) per mantenere l'unità parallela alla superficie di proiezione.

Installazione dell'unità (a soffitto)

Per i clienti

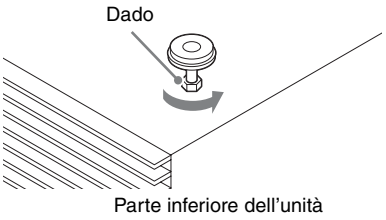
ATTENZIONE

Le operazioni di installazione del proiettore a soffitto o di spostamento in una posizione diversa non devono essere eseguite dall'utente.

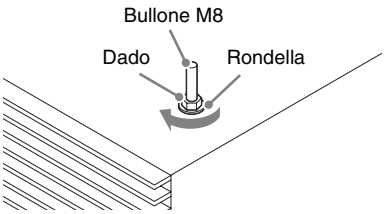
Per rivenditori

Si raccomanda di leggere le "Precauzioni di sicurezza per l'installazione dell'unità sul soffitto" (pagina 8).

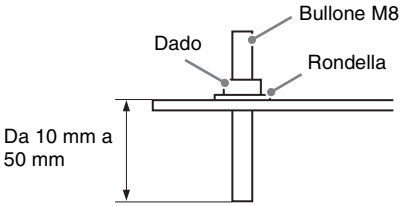
1 Allentare il dado e rimuovere il piedino (sei punti).



2 Installare un bullone M8 (da 60 mm o più lungo) e una rondella, quindi serrare il dado. (Coppia di serraggio consigliata: 12,5 N•m)



Profondità di inserimento del bullone nell'unità: da 10 mm a 50 mm.



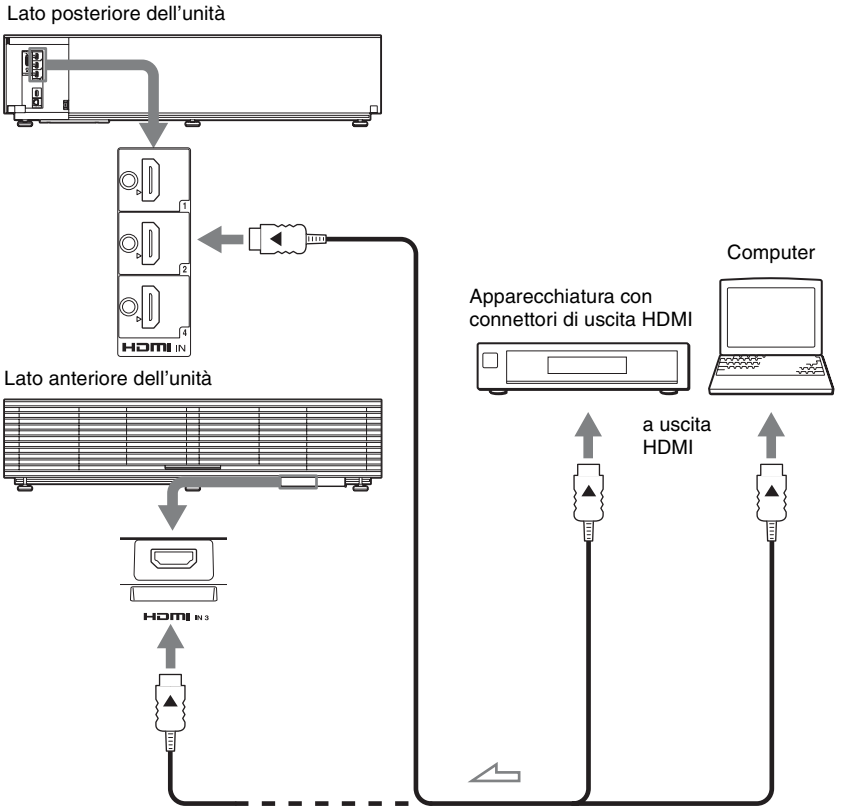
Per informazioni sulla posizione di installazione del bullone M8, consultare "Dimensioni" nelle Istruzioni per l'uso sul CD-ROM in dotazione.

Per i dettagli, consultare "Collegamenti e preparazioni" nelle Istruzioni per l'uso sul CD-ROM in dotazione.

Punto 3 Collegamento dell’unità

Effettuare i collegamenti osservando quanto segue:

- Spegnere tutte le apparecchiature prima di effettuare qualsiasi collegamento.
- Usare cavi adatti a ciascun collegamento.
- Inserire correttamente le spine dei cavi; se il collegamento delle spine non è corretto, potrebbe verificarsi un malfunzionamento oppure la qualità dell’immagine potrebbe risultare scadente. Per scollegare un cavo, afferrare la spina senza tirare il cavo stesso.
- Consultare le istruzioni d’uso dell’apparecchiatura collegata.

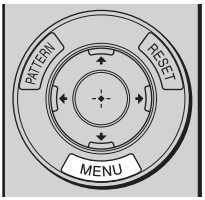

Lato posteriore dell’unità
1
2
4
HDMI IN
Computer
Apparecchiatura con connettori di uscita HDMI
Lato anteriore dell’unità
a uscita HDMI
HDMI IN 3
Cavo HDMI (non in dotazione)
: Flusso del segnale video
Utilizzare un cavo HDMI ad alta velocità sul quale sia specificato il logo del tipo di cavo. (Si raccomanda l’uso di prodotti Sony.)

Per i dettagli, consultare “Collegamenti e preparazioni” nelle Istruzioni per l’uso sul CD-ROM in dotazione.

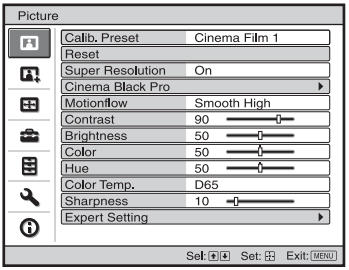
Punto 4 Selezione della lingua del menu

L'impostazione di fabbrica relativa alla lingua di visualizzazione di menu, messaggi e simili è l'inglese.
Per cambiare la lingua delle indicazioni a schermo, procedere come indicato di seguito:

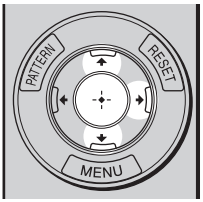
1 Premere MENU per visualizzare il menu.



Appare la finestra del menu.

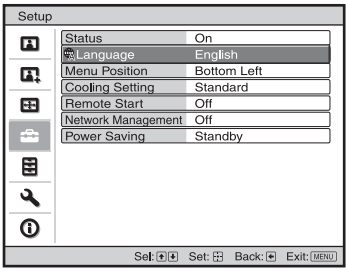


2 Selezionare la lingua del menu.



❶ Premere ↑/↓ per selezionare il menu Setup , quindi premere → o ⊕.

❷ Premere ↑/↓ per selezionare "Language", quindi premere → o ⊕.



❸ Premere ↑/↓/←/→ per selezionare una lingua, quindi premere → o ⊕.

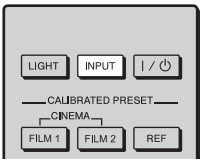
3 Premere MENU per chiudere la finestra di menu.

Punto 5 Proiezione

Proiezione dell'immagine

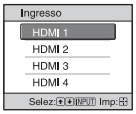
1 Accendere l'unità e l'apparecchiatura ad essa collegata.

2 Premere INPUT per visualizzare sullo schermo gli ingressi disponibili.



3 Selezionare l'apparecchiatura della quale visualizzare le immagini.

Premere ripetutamente INPUT oppure premere ↑/↓/⊕ (invio) per selezionare l'apparecchiatura di cui proiettare le immagini.



Esempio: per visualizzare l'immagine dall'apparecchiatura video collegata al connettore HDMI 1 di questa unità.

Spegnimento dell'alimentazione

1 Premere il pulsante **I**/⏻ (ON/STANDBY).

Viene visualizzato il messaggio "DISATTIVARE?".

2 Premere di nuovo il pulsante **I**/⏻ (ON/STANDBY) prima che il messaggio scompaia.

La spia a LED si spegne.

Ora è possibile scollegare il cavo di alimentazione CA.

Note

- Non scollegare mai il cavo di alimentazione CA mentre la spia lampeggia.
- Lo stato della spia a LED non cambia quando "Illuminazione" è impostato su "Disin." nel menu Installazione 🔧 .

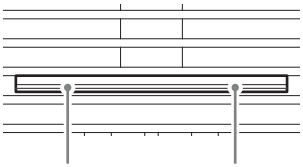
È possibile spegnere l'unità tenendo premuto il pulsante **I**/⏻ (ON/STANDBY) per circa 1 secondo, invece di eseguire la procedura precedentemente indicata.

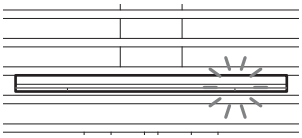
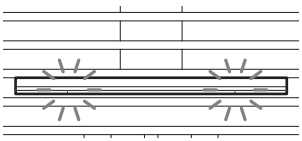
Per i dettagli, consultare "Proiezione" nelle Istruzioni per l'uso sul CD-ROM in dotazione.

Gestione degli errori

Informazioni sulle spie

La spia WARNING1 o WARNING2 si illumina o lampeggia in caso di problemi del proiettore.



Spie illuminate/lampeggianti	Numero di lampeggi	Causa e rimedio
 (Lampeggia in rosso)	Tre volte	La temperatura della sorgente luminosa è insolitamente alta. Spegnere e attendere che la sorgente luminosa si raffreddi, quindi riaccendere l'alimentazione. Se il sintomo persiste, la sorgente luminosa potrebbe essere giunta al temine della durata utile. In questo caso, rivolgersi a personale Sony qualificato.
	Sei volte	L'unità rileva un impatto da caduta. In caso di anomalie dell'unità, consultare personale Sony qualificato. Se non vi sono anomalie dell'unità, scollegare il cavo di alimentazione CA e verificare che la spia a LED si spenga, quindi collegare il cavo di alimentazione CA e accendere l'unità.
 (Lampeggia in rosso) (Lampeggia in rosso) Entrambe le spie lampeggiano	Due volte	La temperatura interna è insolitamente elevata. Verificare che le prese di ventilazione non siano ostruite oppure se l'unità viene usata a quota elevata.
	Tre volte	La ventola è guasta. Rivolgersi a personale Sony qualificato.

Nota

Se la spia inizia a lampeggiare in modi differenti da quelli indicati e il problema persiste anche dopo aver effettuato le precedenti operazioni, rivolgersi a personale Sony qualificato.

Per eventuali problemi o a seguito della comparsa di un messaggio d'errore sullo schermo, consultare "Gestione degli errori" nelle Istruzioni per l'uso sul CD-ROM in dotazione.

关于快速参考手册

此快速参考手册说明安装详情和有关投影图像的基本操作。同时也介绍您在处理和使用本产品时必须注意的重要注意事项和警告事项。
如有必要，请参阅 “关于指示灯”。
有关操作的详细信息，请参阅附送 CD-ROM 内含的使用说明书。

步骤 1 准备 .....第 8 页

步骤 2 安装本产品.....第 10 页

步骤 3 连接本产品.....第 13 页

步骤 4 选择菜单语言 .....第 14 页

步骤 5 投影 .....第 15 页

故障处理 关于指示灯.....第 16 页

机型名称：数据投影机
使用产品前请仔细阅读本书，并请妥善保管。

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。
为防止触电严禁拆开机壳，维修请咨询具备资格人士。

警告
此设备必须接地。

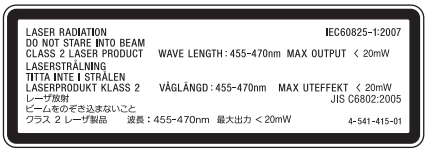
警告
在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源插头与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源插头。

注意
LAN 接口注意事项
为安全起见，请勿将可能有过高电压的外围设备配线用连接器连接到本端口上。

警告
1 请使用经过认可的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 带有接地点的插头，并且都要符合所在国家的安全法规。
2 请使用符合特定额定值 （电压、电流）的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头。

如果在使用上述电源线 / 设备接口 / 插头时有任何疑问，请咨询合格的维修人员。

注意
未按照此处规定的程序使用控制器、进行调整或操作可能会导致危险的辐射暴露。



激光辐射
勿直视光束
2 类激光产品
本数据投影机归类为 2 类激光产品。此 2 类激光产品标签位于数据投影机的侧面。

此标签位于数据投影机投影窗口的旁边。

CS

使用前须知

安全须知

- 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请拔下本机的电源插头，并请专业技术人员检查后再使用。
- 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
- 墙上电源插座应安装于设备附近使用方便的地方。
- 即使本机的电源已经关闭，只要其插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
- 使用时请不要看镜头。
- 请不要将手或物品放在通风孔附近。排出的空气较热。

防止内部蓄热须知

用 I/⏻（开机 / 待机）开关关闭电源后，在冷却扇还在运转时，请勿将本机的电源插头从墙上电源插座上拔出。

注意

投影机装备有通风孔（进气和排气）。请勿堵塞通风孔或将任何物品放在通风孔旁边，否则可能发生内部蓄热，造成影像质量下降或损坏投影机。

重新包装须知

请保存原有的包装箱和包装材料，以便在运输设备时可随时使用。为尽量保护好机体，请用出厂时使用的包装箱重新包装本机。

安全注意事项

- 您只能使用 3D 眼镜观看 3D 视频影像。
- 如果观察到抖动或闪烁，请关闭室内照明。
- 儿童须在成人适当监管的情况下使用。
- 弯折镜架时，小心不要让手指被 3D 眼镜的铰链夹住。
- 请勿掉落或改装 3D 眼镜。
- 如果眼镜破碎，请使碎片远离口或眼睛。

关于光源相关部件的检查

由于本机使用激光，当对光源相关部件进行维护或检查时，必须特别注意并在安全环境下进行。请务必咨询 Sony 公司专业技术人员（收费）。

关于废弃产品的处理

请不要将废弃的产品与一般生活垃圾一同弃置。
正确处置废弃的产品有助于避免对环境和人类健康造成潜在的负面影响。
具体的处理方法请遵循当地的规章制度。

关于 LCD 投影机

本 LCD 投影机采用高精密度技术制造。然而，可能会在 LCD 投影机的图像上持续显示微小的黑点和 / 或亮点（红色、蓝色或绿色）。这是制造过程的正常结果，不代表故障。
并且，当您使用多台 LCD 投影机投影在一个屏幕上时，即使是相同型号，投影机间的色彩再现可能会有不同，因为各个投影机的色彩平衡可能设置各异。

关于湿气凝结

如果投影机安装地的室温急剧变化，或如果突然将投影机从寒冷的地方搬到温暖的地方，投影机中可能会出现湿气凝结。由于湿气凝结可能会造成故障，所以在调节空调温度设定时请小心。如果出现湿气凝结，请让投影机保持开启状态约四小时后再使用。

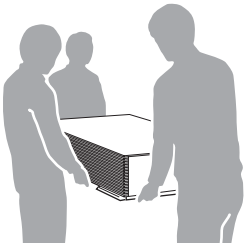
SONY 不对任何因传输设备安全措施操作不当、传输规格导致不可避免的数据泄露或任何种类的安全问题造成的损坏负责。

注意
- 在使用前请始终确认本机运行正常。**无论保修期内外或基于任何理由，SONY 对任何损坏概不负责。由于本机故障造成的利润损失等，无论是在保修期以内或者以外，SONY 均不作任何赔偿。**
- **SONY 对本产品用户或第三方的任何索赔概不负责。**
- **SONY 对因任何情况导致终止或停止使用本机相关服务概不负责。**

安装和使用注意事项

搬运本产品

搬运本产品时，务必由三人或更多人操作 – 如下图所示，两边各一人，还有一人在正面。
当握住本产品底部时，请尽可能将手牢牢握在内侧部分下方。



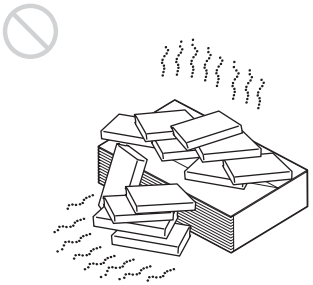
提示
如果安装了把手，请握住把手进行搬运。

注释
切勿抓握控制面板部分。

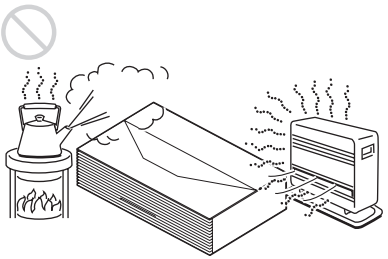
不当安装

不要将本机放在如下位置，否则会造成故障或损坏本机。

通风不良的场所
请在本机周围留出 30 cm 以上的空间。

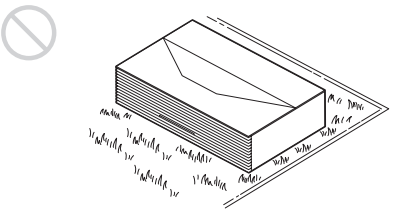


热和潮湿的场所

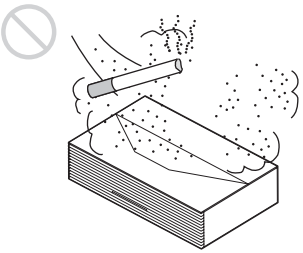


放在长毛绒地毯上时

本产品底部有通风孔。如果通风孔被堵塞，可能造成故障。



多尘、多烟雾的场所



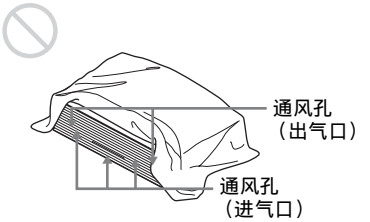
其他注意事项

- 从空调吹出的空气或从本产品或其他设备的通风孔吹出的空气可能造成投影表面上出现振动。切勿将本产品安装在空调吹出的或这些设备通风孔吹出的空气可到达本产品镜头部分的地方。
- 如果本产品的支撑腿内有碎屑、沙子等异物，可能会损坏地板。

不正确使用

请不要在使用本机期间进行下述任何操作。

堵塞通风孔 （进气口或出气口）



向前面 / 后面及左侧 / 右侧倾斜

如果安装的本产品向后或向前倾斜，投影表面上的图像形状会呈梯形。因此安装本产品时，使本产品和投影表面保持平行。

在高海拔地区安装本机时

当在海拔 1500 米或更高的地区使用本机时，请将设置 菜单中的 “冷却设定”设定为 “高位”。当在高海拔地区使用本机时，如果没有设定此模式，可能会产生不良的效果，诸如降低某些组件的可靠性。

有关把手的安全注意事项

- 请勿将把手用于设计用途以外的其他目的。
- 在本产品上安装或拆卸把手的工作只能交由合格的维修人员进行。
- 只能使用附送配件。 使用非附送的配件可能造成把手损坏。
- 请勿敲击把手，或在把手上悬挂重物。如果把手受损，请立即停止使用并联络合格的维修人员。

在天花板上安装本机的安全注意事项

- 切勿自行在天花板上安装投影机或进行移动。务必咨询 Sony 专业技术人员（收费）。
- 在天花板上安装本机时，务必使用防坠绳等以防止本机掉落。请委托经验丰富的承包商或安装人员进行安装。

对于经销商

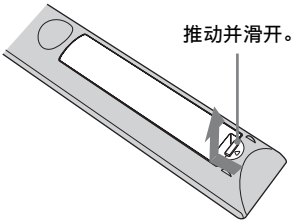
- 在天花板上安装投影机时，务必使用 Sony 支架或推荐的同等支架进行安装。
- 将本机牢固安装到天花板的同时务必牢固固定机壳盖。

步骤 1 准备

检查随机附件

检查包装箱，确认其中包含如下物品：
- 遥控器 RM-PJ28 （1）
- AA （R6）尺寸锰电池 （2）
- 交流电源线 （1）
- 插头固定器 （1）
- 把手 （2）
- 把手固定螺钉 （备用）（4）
- 调节工具 （1）
- 清洁布 （1）
- 快速参考手册 （本手册）（1）
- 使用说明书 （CD-ROM）（1）

将电池插入遥控器



注意

如果更换的电池不正确，就会有爆炸的危险。只更换同一类型或制造商推荐的电池型号。
处理电池时，必须遵守相关地区或国家的法律。

安装电池

附送两节 AA （R6）RM-PJ28 遥控器电池。
为避免爆炸危险，请使用 AA （R6）锰电池或碱性电池。

有关操作遥控器的注意事项
- 操作遥控器时请小心。不要掉落或践踏遥控器，或将任何种类的液体溅到遥控器上。
- 请勿将遥控器放在热源附近、受阳光直射的地方或潮湿的房间内。

使用 CD-ROM 手册

可在安装了 Adobe Reader 的电脑上阅读手册。
可从 Adobe 网站免费下载 Adobe Reader。

1 打开CD-ROM中的 index.html 文件。

2 选择并单击您要读取的手册。

注意

如果您丢失或损坏 CD-ROM，可从 Sony 经销商或 Sony 服务柜台购买新的。

使用把手

如有需要，将附送的把手安装到本产品以便搬运或安装。

致客户

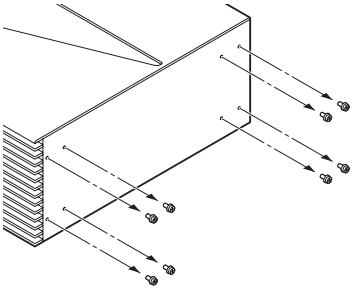
安装把手需要有足够的经验。 请务必将安装工作转包给 Sony 经销商或经授权的承包商，并在进行安装时特别注意安全。

对于经销商

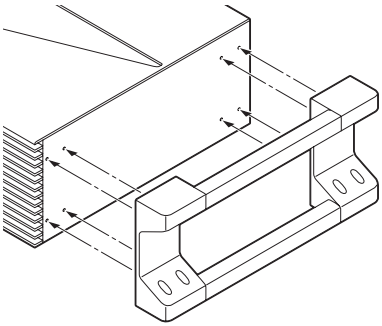
请务必在安装把手前通读本手册。 Sony 对于因误操作或安装不当而引起的任何损坏或受伤概不负责。

请务必阅读 “有关把手的安全注意事项”（第 6 页）。

1 拆下本产品两侧的紧固件。



2 将把手安装到本产品上。
使用把手上安装的螺钉。

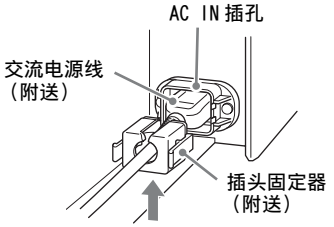


3 确认把手是否已正确安装。
安装把手后，请确认把手和本产品之间没有空隙。 请每两个月确认螺钉是否紧固。

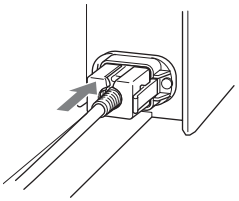
步骤 2 安装本产品

连接交流电源线

1 将交流电源线插入 AC IN 插孔，然后将插头固定器安装到交流电源线上。



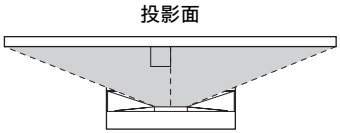
2 在交流电源线上滑动插头固定器以固定到本产品上。



安装本产品

1 放置本产品时要使其平行于投影面。

俯视图

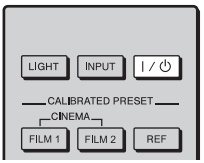


2 将一个图像投影到投影面上，并调整图像使其适合投影面。

调整投影图像

1 将交流电源线连接至本产品后，将交流电源线插入壁装电源插座。
本产品进入待机模式。

2 按下 I/⏻ （ON/STANDBY）按钮开启本产品。

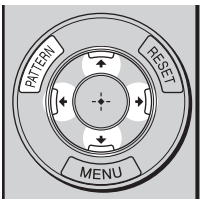


LED 指示灯发出白光。

3 使用与投影尺寸匹配的图像位置功能。
可以在屏幕设定 菜单的 “图像位置”中使用此设定。

图像尺寸（最大缩放）	安装距离（从投影面到本产品背面）	调整的目标
147 至 132 英寸	11 至 17 cm	图像位置特制 1
132 至 121 英寸	6 至 11 cm	图像位置特制 2
121 至 113 英寸	3 至 6 cm	图像位置特制 3
113 至 106 英寸	0 至 3 cm	默认设置

4 将图像投影到屏幕上，然后调节 ZOOM、FOCUS 和 CORNER CORRECTION。



❶ **调节图像尺寸。**
重复按下 PATTERN 按钮以显示 ZOOM 调整窗口，按下 ↑/↓/←/→ 按钮以调整图像的尺寸。

❷ **调节对焦。**
重复按下 PATTERN 按钮以显示 FOCUS 调整窗口，调整图像中心的焦点。

❸ **调节图像上角的对焦和失真。**
重复按下 PATTERN 按钮以显示 CORNER CORRECTION 调整窗口，按下 ↑/↓/←/→ 按钮以调整图像上角的焦点和失真。

5 检查画面是否平行、水平且垂直。

❶ **检查图像的上下侧是否平行。**
如果不平行，将本产品安装到与投影面平行的位置。

❷ **检查图像的下侧是否水平。**
如果不是水平，使用 （可调整的）左右撑脚保持本产品水平。

❸ **检查图像的左右侧是否垂直。**
如果不垂直，使用 （可调整的）前台撑脚保持本产品与投影面垂直。

安装本产品 （吊顶）

致客户

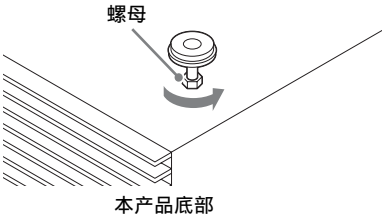
注意

当要将投影机安装在天花板上，或将其移动至其他位置时，请勿自行操作。

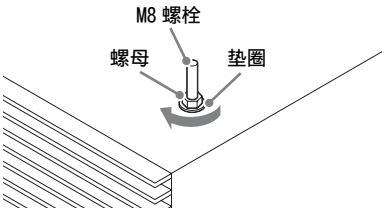
对于经销商

请务必阅读“在天花板上安装本机的安全注意事项”（第 6 页）。

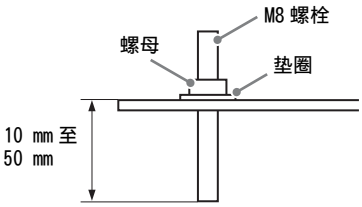
1 松开螺母，拆下撑脚 （六处）。



2 安装 M8 螺栓 （60 mm 或更长）和垫圈，然后拧紧螺母。（建议拧紧扭矩：12.5 N•m）



螺栓插入本产品的长度：10 mm 至 50 mm。



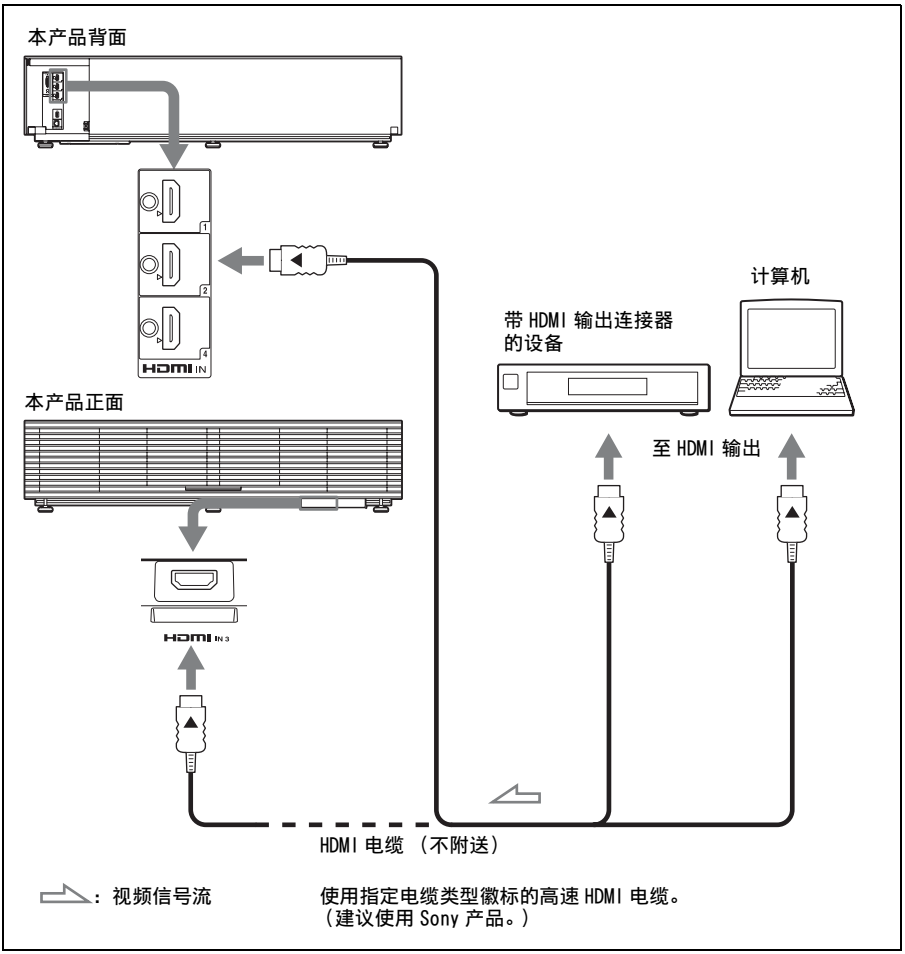
有关 M8 螺栓的安装位置详情，请参阅附送 CD-ROM 内含使用说明书中的“尺寸”。

有关更多信息，请参阅附送 CD-ROM 内含使用说明书中的 “连接和准备”。

步骤 3 连接本产品

进行连接时务必执行以下操作：

- 进行任何连接之前关闭所有设备。
- 为每个连接使用合适的电缆。
- 正确地插入电缆插头；插头处连接不良可能会造成故障或图像质量差。当拉出电缆时，务必从插头拉出电缆，而不是拉电缆本身。
- 请参阅相连设备的使用说明书。

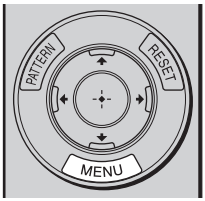


有关更多信息，请参阅附送 CD-ROM 内含使用说明书中的 “连接和准备”。

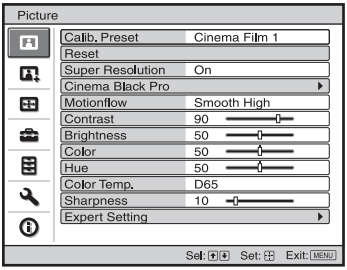
步骤 4 选择菜单语言

菜单、信息等显示语言的出厂设定为英文。
若要更改画面显示语言，请按以下步骤操作：

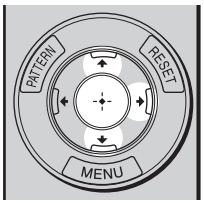
1 按下 MENU 显示菜单。



出现菜单窗口。

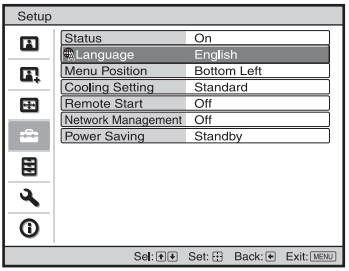


2 选择菜单语言。



❶ 按下 ↑/↓ 选择 Setup 菜单，然后按下 → 或 ⊕。

❷ 按下 ↑/↓ 选择 “Language”，然后按下 → 或 ⊕。



❸ 按下 ↑/↓/←/→ 选择一种语言，然后按下 → 或 ⊕。

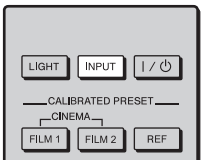
3 按下 MENU 关闭菜单窗口。

步骤 5 投影

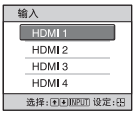
投影图像

1 同时开启本产品和连接至本产品的设备。

2 按 INPUT 以在投影面上显示输入面板。



3 选择要显示图像的设备。
重复按 INPUT 或按 ↑/↓/⊕（回车）以选择要投影的设备。



示例：查看连接至本产品 HDMI 1 连接器的视频设备的图像。

关闭电源

1 按 I/⏻ （ON/STANDBY）按钮。
出现 “电源关闭 ?” 消息。

2 此消息消失前再次按 I/⏻ （ON/STANDBY）按钮。
LED 指示灯熄灭。

可以断开交流电源线的连接。

注释

- 切勿在开启本产品时断开交流电源线的连接。
- 当在安装设定 🔧 菜单上将 “照明” 设定为 “关” 时，LED 指示灯无变化。

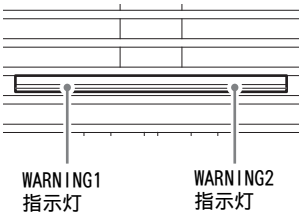
不实施上述步骤，而是按住 I/⏻ （ON/STANDBY）按钮约 1 秒钟，可关闭本产品。

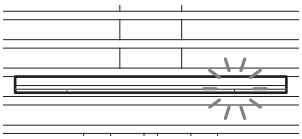
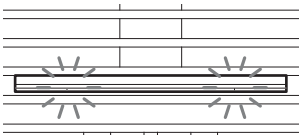
有关更多信息，请参阅附送 CD-ROM 内含使用说明书中的 “投影”。

故障处理

关于指示灯

如果投影机出现任何故障，WARNING1 或 WARNING2 指示灯点亮或闪烁。



指示灯闪烁 / 点亮	闪烁次数	原因和补救措施
 （红灯闪烁）	三次	光源的温度异常高。切断电源，等待光源冷却，然后再次开启电源。 如果症状依然存在，光源的使用寿命可能结束。这种情况下，请咨询合格的 Sony 工作人员。
	六次	本产品检测到坠落冲击。 如果本产品出现异常，请咨询合格的 Sony 工作人员。 如果本产品没有异常，断开交流电源线的连接，并检查 LED 指示灯熄灭，然后连接交流电源线，并再次开启本产品。
 （红灯闪烁） （红灯闪烁） 两个指示灯均闪烁	两次	内部温度异常高。检查以确保通风孔未被阻塞或未在高海拔地带使用本产品。
	三次	风扇坏了。请咨询合格的 Sony 工作人员。

注释

如果指示灯闪烁的方式不是上述任何一种，且在采取上述方法后症状依然存在，请咨询合格的 Sony 工作人员。

如果有任何问题或屏幕上出现错误信息，请参阅附送 CD-ROM 内含使用说明书中的 “故障处理”。

О документе Краткое справочное руководство

В данном документе Краткое справочное руководство описана установка и основные операции для проецирования изображений. В этом руководстве также содержатся важные примечания и предупреждения, которым следует уделять особое внимание при обращении с аппаратом и его эксплуатации.
При необходимости см. “Об индикаторах”.
Для получения дополнительной информации об операциях см. документ Инструкция по эксплуатации, содержащийся на прилагаемом компакт-диске.

Шаг 1. **Подготовка** ..... **Стр. 10**

Шаг 2. **Установка устройства** ..... **Стр. 12**

Шаг 3. **Подключение устройства** ..... **Стр. 16**

Шаг 4. **Выбор языка меню** ..... **Стр. 17**

Шаг 5. **Проецирование** ..... **Стр. 18**

Устранение ошибок

Об индикаторах ..... **Стр. 19**

Проектор данных
VPL-GTZ1

Перед использованием устройства внимательно прочитайте настоящее руководство и сохраните его для получения необходимой информации в будущем.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ

Для снижения риска возгорания и поражения электрическим током не допускайте воздействия на аппарат влаги и сырости.
Чтобы исключить риск поражения электрическим током, не вскрывайте корпус.
Обслуживание аппарата должны выполнять только квалифицированные специалисты.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ
ДАННОЕ УСТРОЙСТВО ДОЛЖНО БЫТЬ ЗАЗЕМЛЕНО.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ
При установке устройства используйте легкодоступный прерыватель питания с фиксированной проводкой или подключите провод питания к легкодоступной настенной розетка, расположенной рядом с устройством. Если в процессе эксплуатации блока возникнет неисправность, с помощью прерывателя отключите питание, или отсоедините провод питания.

ОСТОРОЖНО
Разъем LAN
В целях обеспечения безопасности не подключайте к этому порту соединительные разъемы электропроводки периферических устройств, которые, возможно, имеют чрезмерно высокое напряжение.

ПРЕДУПРЕЖДЕНИЕ
1 Используйте разрешенные к применению шнур питания (с 3-жильным силовым проводом) / разъем для подключения бытовых приборов / штепсельную вилку с заземляющими контактами, соответствующие действующим нормам техники безопасности каждой отдельной страны.
2 Используйте шнур питания (с 3-жильным силовым проводом) / разъем для подключения бытовых приборов / штепсельную вилку, соответствующие допустимым номинальным характеристикам (напряжение, сила тока).

В случае вопросов относительно использования упомянутых выше шнура питания / разъема для подключения бытовых приборов / штепсельной вилки, пожалуйста, обращайтесь к квалифицированным специалистам по сервисному обслуживанию.

Соблюдайте осторожность при замене/утилизации элементов питания для 3D-очков
При неправильной замене элементов питания возникает опасность взрыва. Используйте для замены только идентичные или эквивалентные элементы питания, рекомендуемые изготовителем.
При утилизации отработанных элементов питания необходимо следовать правилам, действующим в соответствующем регионе или стране.

SONY

Сони Корпорейшн

1-7-1, Конан, Минато-ку, Токио, Япония, 108-0075

Сделано в ЯПОНИИ

Импортер на территории стран Таможенного союза
ЗАО «Сони Электроникс», Россия, 123103, Москва, Карамышевский проезд, 6

Это устройство является проектором для проецирования изображений с подключенного компьютера или видеооборудования.

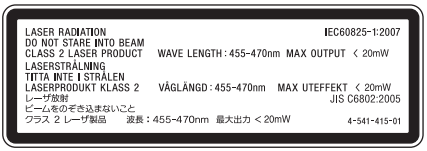
Организация, уполномоченная принимать претензии от пользователей на территории Казахстана:
ЗАО «Сони Электроникс»
Представительство в Казахстане
050059 Алматы, улица Иванилова, д. 58

Год производства: см. паспортную табличку на изделии.
Пример: (2013-01)
2013: означает год
01: означает месяц

Это устройство поддерживает технологии беспроводной связи для частотного диапазона 2,4 ГГц.

Осторожно!

Использование элементов управления и регуляторов, а также выполнение операций, отличающихся от тех, что указаны в данном руководстве, могут привести к воздействию опасного излучения.



ЛАЗЕРНОЕ ИЗЛУЧЕНИЕ
НЕ НАПРАВЛЯЙТЕ ЛУЧ В ГЛАЗАИЗДЕЛИЕМ С ИСПОЛЬЗОВАНИЕМ ЛАЗЕРА КЛАССА 2
Проектор данных является ИЗДЕЛИЕМ С ИСПОЛЬЗОВАНИЕМ ЛАЗЕРА КЛАССА 2.
Ярлык с пометкой ИЗДЕЛИЕ С ИСПОЛЬЗОВАНИЕМ ЛАЗЕРА КЛАССА 2 находится на боковой поверхности проектора данных.

Ярлык находится рядом с проекционным окном проектора данных.

Осторожно!

Использование оптических инструментов с данным изделием приведет к увеличению опасного воздействия на глаза.

Меры предосторожности

Безопасность

- Проверьте, соответствует ли рабочее напряжение вашего устройства напряжению питания местной электрической сети.
- В случае попадания внутрь корпуса каких-либо жидкостей или посторонних предметов отсоедините устройство от электрической сети и обратитесь к квалифицированному персоналу для его проверки перед дальнейшей эксплуатацией.
- Выключите устройство из сетевой розетки, если не планируете использовать его в течение нескольких дней.
- При отключении шнура тяните его за вилку. Никогда не тяните непосредственно за шнур.
- Сетевая розетка должна находиться возле устройства и быть легко доступной.
- Пока устройство подключено к источнику переменного тока, на него по-прежнему подается электропитание, даже если само устройство выключено.
- Нельзя смотреть сквозь линзу при использовании.
- Не подносите руки или предметы к вентиляционным отверстиям. Из них выходит горячий воздух.

О предотвращении внутреннего перегрева

После выключения питания с помощью кнопки I/⏻ (ON/STANDBY) не отключайте устройство от сетевой розетки, пока работает вентилятор.

Осторожно

Данное устройство оборудовано вентиляционными отверстиями (впускными и выпускными). Не блокируйте и не располагайте ничего возле этих отверстий, в противном случае возможен внутренний перегрев, что приведет к ухудшению изображения или повреждению устройства.

О повторной упаковке

Сохраните оригинальную транспортировочную упаковку, она потребуется при возможной транспортировке устройства. Для максимальной защиты повторно упакуйте устройство так, как оно было упаковано на заводе.

Просмотр видеоизображений 3D

Правила техники безопасности

- 3D-очки можно использовать только для просмотра 3D-видеоизображений.
- Если вы ощущаете мерцание или мигание света, выключите освещение в комнате.
- Запрещается использование детьми без присмотра взрослых.
- Соблюдайте осторожность, чтобы при складывании дужек 3D-очков не прищемить пальцы.
- Не роняйте и не модифицируйте эти 3D-очки.
- Если очки разбились, не допускайте попадания осколков в рот или в глаза.

Осмотр компонентов источника освещения

В данном устройстве используется лазер, поэтому при обслуживании или осмотре компонентов источника освещения необходимо соблюдать осторожность и обеспечить безопасность. Обязательно проконсультируйтесь с квалифицированным персоналом компании Sony, компетентным в данном вопросе.

Жидкокристаллический проектор

ЖК-проектор создан с использованием высокоточных технологий. Однако, на экране ЖК-проектора могут периодически

появляться мелкие черные и/или яркие (красные, синие или зеленые) точки. Этот эффект является нормальным результатом производственного процесса и не свидетельствует о неисправности. Кроме того, при использовании для проецирования на один экран нескольких ЖК-проекторов, даже одной модели, цветопередача разных проекторов может отличаться, так как баланс цвета на них может быть настроен по-разному.

О конденсации

При быстром изменении температуры в помещении, в котором установлен проектор, или при быстром перемещении проектора из холодного в теплое место внутри него может образоваться конденсат. Так как конденсат может привести к неисправности, соблюдайте осторожность при изменении настроек температуры кондиционера. При образовании конденсата перед использованием проектора оставьте его включенным приблизительно на четыре часа.

КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА КАКОЙ БЫ ТО НИ БЫЛО УЩЕРБ, ВОЗНИКШИЙ ВСЛЕДСТВИЕ НЕСОБЛЮДЕНИЯ МЕР ПРЕДОСТОРОЖНОСТИ ПРИ ИСПОЛЬЗОВАНИИ УСТРОЙСТВ ПЕРЕДАЧИ ДАННЫХ, НЕИЗБЕЖНЫХ УТЕЧЕК ИНФОРМАЦИИ, СВЯЗАННЫХ СО СПЕЦИФИКАЦИЯМИ ПЕРЕДАЧИ ДАННЫХ, ИЛИ ПРОБЛЕМ БЕЗОПАСНОСТИ ЛЮБОГО РОДА.

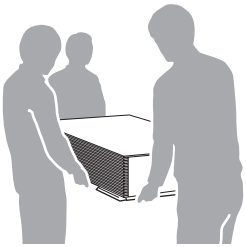
Примечания

- Всегда проверяйте исправность устройства, прежде чем его использовать. КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА КАКОЙ БЫ ТО НИ БЫЛО УЩЕРБ, ВКЛЮЧАЯ, В ЧАСТНОСТИ, КОМПЕНСАЦИЮ ИЛИ ВОЗМЕЩЕНИЕ УБЫТКОВ В СВЯЗИ С УТРАТОЙ ИЛИ НЕДОПОЛУЧЕНИЕМ ПРИБЫЛЕЙ ИЗ-ЗА НЕРАБОТОСПОСОБНОСТИ ЭТОГО ОБОРУДОВАНИЯ, КАК НА ПРОТЯЖЕНИИ ГАРАНТИЙНОГО ПЕРИОДА, ТАК И ПОСЛЕ ИСТЕЧЕНИЯ ГАРАНТИЙНОГО СРОКА, А ТАКЖЕ ВСЛЕДСТВИЕ ЛЮБЫХ ИНЫХ ВОЗМОЖНЫХ ПРИЧИН.
- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА ПРЕТЕНЗИИ ЛЮБОГО РОДА, ПРЕДЪЯВЛЕННЫЕ ПОЛЬЗОВАТЕЛЯМИ ЭТОГО ПРИБОРА ИЛИ ТРЕТЬИМИ ЛИЦАМИ.
- КОМПАНИЯ SONY НЕ НЕСЕТ ОТВЕТСТВЕННОСТИ ЗА ПРЕКРАЩЕНИЕ ИЛИ ПРИОСТАНОВКУ ПРЕДОСТАВЛЕНИЯ КАКИХ-ЛИБО УСЛУГ, СВЯЗАННЫХ С ЭТИМ ПРИБОРОМ, ВНЕ ЗАВИСИМОСТИ ОТ ОБСТОЯТЕЛЬСТВ.

Примечания по установке и эксплуатации

Переноска устройства

Устройство должны переносить три человека или более - по одному человеку с каждой стороны и один человек спереди, как показано на следующем рисунке.
При поддержке устройства снизу его следует крепко держать, максимально просунув руку под внутреннюю часть.



Совет

Если подсоединена ручка, используйте ее для переноски.

Примечание

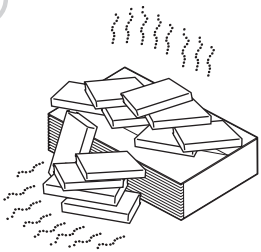
Не беритесь за панель управления.

Недопустимые варианты установки

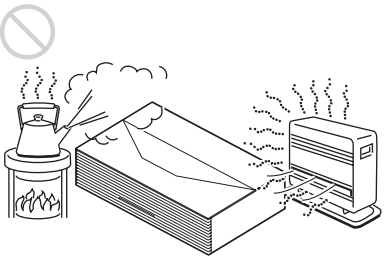
Не размещайте устройство в следующих условиях, которые могут привести к неисправности или повреждению устройства.

Помещение с плохой вентиляцией

Оставьте вокруг устройства минимальное пространство в 30 см.

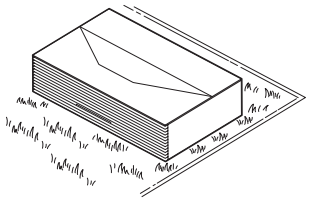


Жаркое и влажное помещение

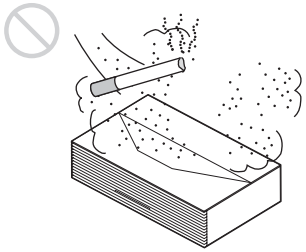


На пушистом ковре

В нижней части устройства имеются вентиляционные отверстия. Блокирование вентиляционных отверстий может привести к неисправности.



Сильно запыленные или сильно задымленные помещения



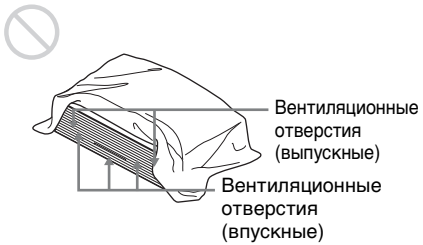
Дополнительное примечание

- Воздух из кондиционера или вентиляционных отверстий данного аппарата или других устройств может привести к колебаниям проекционной поверхности. Не устанавливайте данный аппарат в месте, где воздух из кондиционера или вентиляционных отверстий устройств попадает на часть аппарата с объективом.
- Наличие загрязнений, песка и т. п. на ножках устройства может привести к повреждению пола.

Недопустимые условия эксплуатации

При использовании данного устройства запрещается выполнять следующие операции.

Блокировка вентиляционных отверстий (впускное и выпускное)



Наклон вперед/назад и вправо/влево

При установке устройства с наклоном назад или вперед изображение на проекционной поверхности будет иметь трапецеидальную форму. Установите устройство таким образом, чтобы оно было параллельно проекционной поверхности.

Установка устройства на большой высоте над уровнем моря

При использовании устройства на высоте 1500 м или выше установите для параметра “Установки охлажд” в меню “Настройка” значение “Высокий”. Если не установить этот режим при использовании устройства высоко над уровнем моря, это может привести к неблагоприятным последствиям, например к уменьшению надежности некоторых компонентов.

Правила техники безопасности при использовании ручки

- Используйте ручку только по назначению.
- Установку ручки на устройство и ее снятие должны выполнять только квалифицированные специалисты сервисной службы.
- Используйте только прилагаемые принадлежности. Использование других принадлежностей (которые не прилагаются) может привести к повреждению ручки.
- Не ударяйте тяжелыми предметами по ручке и не вешайте их на нее. Если ручка повреждена, не используйте ее и немедленно обратитесь к квалифицированным специалистам сервисной службы.

Меры предосторожности при установке устройства на потолке

- Не пытайтесь установить проектор на потолке или переместить его самостоятельно. Обязательно проконсультируйтесь с квалифицированным персоналом компании Sony, компетентным в данном вопросе.
- Устанавливая устройство на потолке, обязательно используйте страховочный шнур или другие средства для предотвращения падения устройства. Доверьте установку опытному специалисту по монтажу.

Информация для дилеров

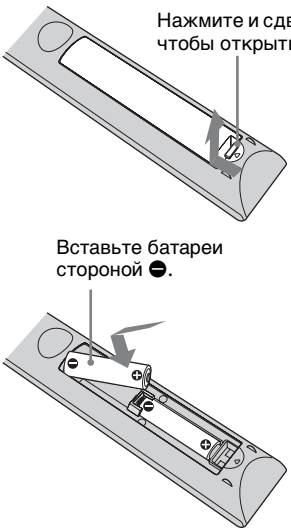
- Для установки проектора на потолке необходимо использовать кронштейн производства компании Sony или аналогичное рекомендованное крепление.
- При установке на потолок плотно закрывайте крышку корпуса.

Шаг 1. Подготовка

Проверка аксессуаров из комплекта поставки

Проверьте упаковку на наличие следующих элементов.
- Пульт дистанционного управления RM-PJ28 (1)
- Марганцевые батарейки размера AA (R6) (2)
- Кабель переменного тока (1)
- Держатель штекера (1)
- Ручка (2)
- Винты для фиксации ручки (запасные) (4)
- Регулировочный инструмент (1)
- Чистящая ткань (1)
- Краткое справочное руководство (данное руководство) (1)
- Инструкция по эксплуатации (компакт-диск) (1)

Установка батарей в пульт дистанционного управления



ОСТОРОЖНО

При неправильной замене элементов питания возникает опасность взрыва. Используйте для замены только идентичные или эквивалентные элементы питания, рекомендуемые изготовителем.
При утилизации отработанных элементов питания необходимо следовать правилам, действующим в соответствующем регионе или стране.

Установка батарей

К пульту дистанционного управления RM-PJ28 прилагаются две батареи размера AA (R6).
Чтобы избежать опасности взрыва, используйте марганцевые или щелочные батареи размера AA (R6).

Предупреждение относительно использования пульта дистанционного управления

- Бережно обращайтесь с пультом дистанционного управления. Не бросайте его, не наступайте на него и не проливайте на него никакие жидкости.
- Не оставляйте пульт дистанционного управления вблизи источников тепла или в месте, подверженном прямому воздействию солнечных лучей, или во влажном помещении.

Использование руководства на компакт-диске

Руководство можно открыть с помощью компьютера, на котором установлена программа Adobe Reader.Программу Adobe Reader можно бесплатно скачать с веб-сайта Adobe.

1 Откройте файл index.html на компакт-диске.

2 Выберите нужное руководство и щелкните по нему.

Примечание

В случае утери или повреждения компакт-диска новый диск можно приобрести у ближайшего дилера Sony или в сервисном центре Sony.

Использование ручки

При необходимости прикрепите прилагаемую ручку к устройству для его переноски или установки.

К сведению клиентов

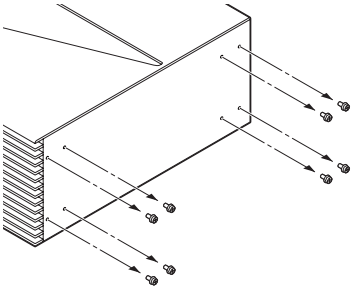
Для установки ручки требуются достаточные навыки. Для установки обязательно обратитесь к дилеру или лицензированному подрядчику Sony, а также соблюдайте необходимые меры предосторожности.

Информация для дилеров

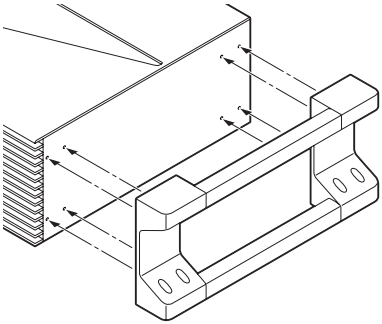
Перед установкой ручки обязательно внимательно прочтите настоящее руководство. Sony не несет ответственности в случае повреждения или получения травм в результате неправильного обращения или ненадлежащей установки.

Обязательно прочтите раздел “Правила техники безопасности при использовании ручки” (стр. 8).

1 Снимите крепежные детали с обеих сторон устройства.



2 Прикрепите ручку к устройству. Используйте винты, имеющиеся на ручке.



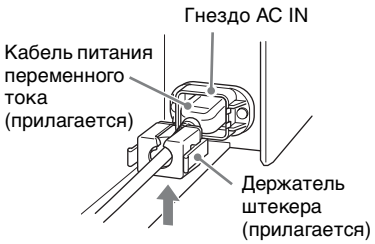
3 Убедитесь, что ручка прикреплена правильно.

После установки ручки убедитесь, что между ручкой и самим устройством нет зазора. Проверяйте затяжку винтов каждые два месяца.

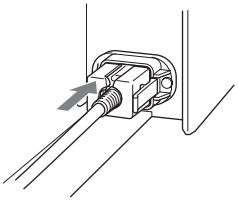
Шаг 2. Установка устройства

Подключение кабеля питания переменного тока

1 Вставьте кабель питания переменного тока в гнездо AC IN, затем подключите держатель штекера к кабелю питания переменного тока.



2 Сдвиньте держатель штекера по кабелю питания переменного тока для крепления к устройству.



Установка устройства

1 Расположите устройство параллельно проекционной поверхности.

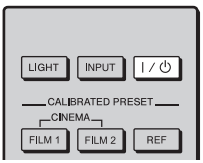
Вид сверху

2 Выполните проецирование изображения на проекционную поверхность и отрегулируйте изображение, чтобы оно соответствовало проекционной поверхности.

Регулировка проецируемого изображения

1 После подключения кабеля питания переменного тока к устройству подключите кабель питания переменного тока к сетевой розетке.
Устройство перейдет в режим ожидания.

2 Нажмите кнопку **I**/⏻ (ON/STANDBY), чтобы включить устройство.



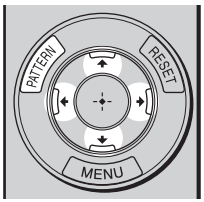
Индикатор LED горит белым.

3 Используйте функцию “Полож. изображ.”, соответствующую размеру проекции.

Эта настройка доступна в пункте “Полож. изображ.” меню “Экран” .

Размер изображения (для максимального увеличения)	Расстояние для установки (от проекционной поверхности до задней панели устройства)	Параметр для регулировки
от 147 дюймов до 132 дюймов	от 11 до 17 см	Полож. изображ. Выбороч. 1
от 132 дюймов до 121 дюйма	от 6 до 11 см	Полож. изображ. Выбороч. 2
от 121 дюйма до 113 дюймов	от 3 до 6 см	Полож. изображ. Выбороч. 3
от 113 дюймов до 106 дюймов	от 0 до 3 см	Значение по умолчанию

4 Выполните проецирование изображения на экран, затем отрегулируйте параметры ZOOM, FOCUS и CORNER CORRECTION.



❶ Отрегулируйте размер изображения.

Последовательно нажимайте кнопку PATTERN для отображения окна регулировки ZOOM, затем отрегулируйте размер изображения, нажимая кнопки ↑/↓/←/→.

❷ Отрегулируйте фокусное расстояние.

Последовательно нажимайте кнопку PATTERN для отображения окна регулировки FOCUS, затем отрегулируйте фокус в центре изображения.

❸ Отрегулируйте фокусировку и искажение по верхнему углу изображения.

Последовательно нажимайте кнопку PATTERN для отображения окна регулировки CORNER CORRECTION, затем отрегулируйте фокус и искажения в вернем углу изображения, нажимая кнопки ↑/↓/←/→.

5 Проверьте параллельность, горизонтальность и вертикальность сторон экрана.

❶ Проверьте, параллельны ли верхняя и нижняя стороны изображения.

В противном случае установите устройство в положение, параллельное проекционной поверхности.

❷ Проверьте, находится ли нижняя сторона изображения в горизонтальном положении.

В противном случае используйте левые/правые ножки (регулируемые), чтобы поддержать ровное положение устройства.

❸ **Проверьте, находятся ли левая и правая стороны изображения в вертикальном положении.**

В противном случае используйте передние ножки (регулируемые), чтобы поддержать вертикальное положение устройства по отношению к проекционной поверхности.

Установка устройства (на потолке)

К сведению клиентов

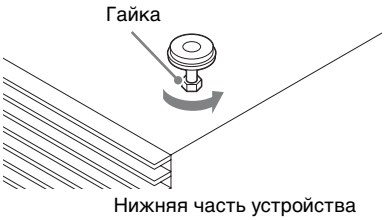
ВНИМАНИЕ!

При установке проектора на потолке или перемещении в другое место не выполняйте эти работы самостоятельно.

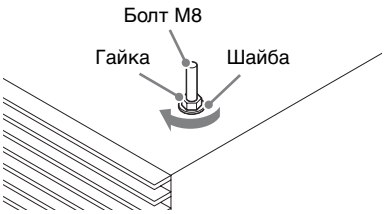
Информация для дилеров

Обязательно прочтите раздел “Меры предосторожности при установке устройства на потолке” (стр. 9).

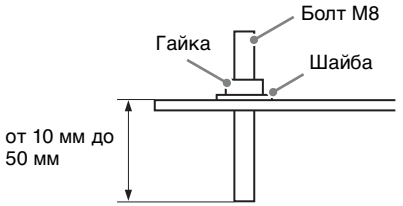
1 Ослабьте гайки и снимите ножки (в шести точках).



2 Установите болт M8 (60 мм или длиннее) с шайбой и закрутите гайку. (Рекомендованный момент затяжки: 12,5 Н•м)



Глубина установки болта в устройство: от 10 мм до 50 мм.



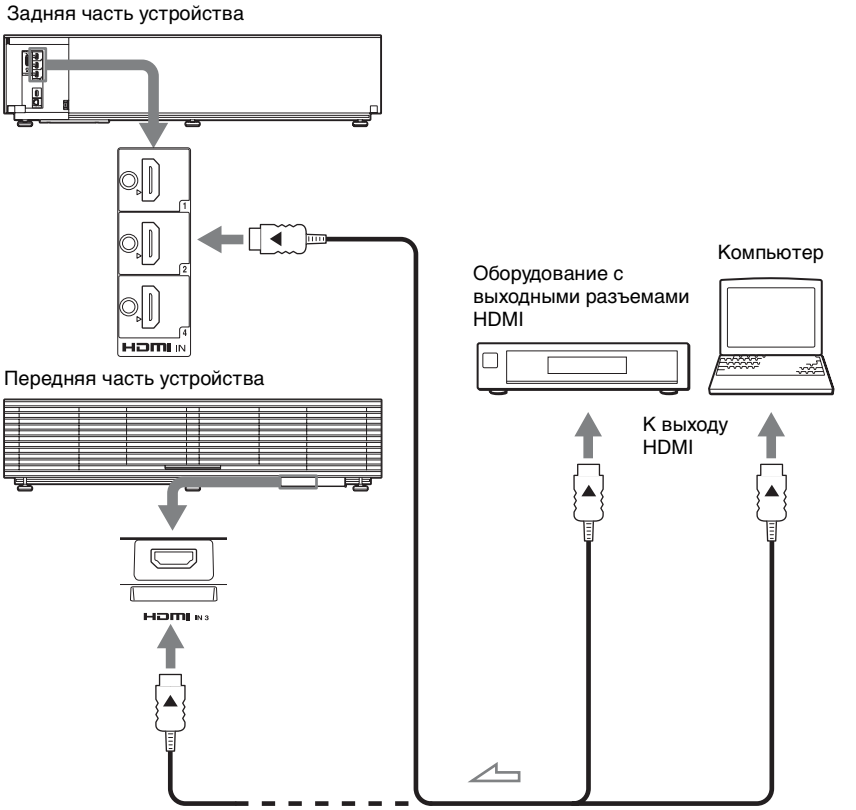
Для получения дополнительной информации о месте крепления болта M8 см. раздел “Размеры” в инструкции по эксплуатации, которая находится на прилагаемом компакт-диске.

Для получения дополнительной информации см. раздел “Соединения и подготовка” в документе Инструкция по эксплуатации, содержащемся на прилагаемом компакт-диске.

Шаг 3. Подключение устройства

При подключении выполните следующие действия.

- Выключите все оборудование перед выполнением любых подключений.
- Используйте соответствующий кабель для каждого соединения.
- Вставьте штекеры кабеля надлежащим образом; ненадежное соединение штекеров может привести к неисправности или низкому качеству изображения. При отсоединении кабеля тяните за штекер, а не за сам кабель.
- См. инструкции по эксплуатации подключенного оборудования.

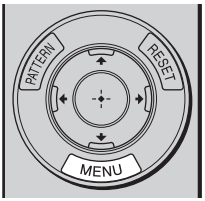


Для получения дополнительной информации см. раздел "Соединения и подготовка" в документе Инструкция по эксплуатации, содержащемся на прилагаемом компакт-диске.

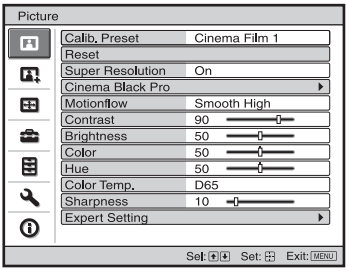
Шаг 4. Выбор языка меню

По умолчанию для отображаемых меню, сообщений и т. д. выбран английский язык.
Для изменения языка экрана выполните следующие действия:

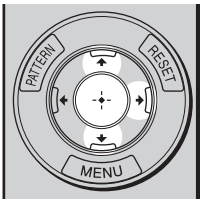
1 Нажмите кнопку MENU для отображения меню.



Появится окно меню.

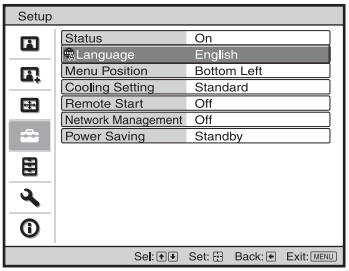


2 Выберите язык меню.



❶ Нажмите ↑/↓, чтобы выбрать меню Setup , затем нажмите → или ⊕.

❷ Нажмите ↑/↓, чтобы выбрать меню “ Language”, затем нажмите → или ⊕.



❸ Нажмите ↑/↓/←/→, чтобы выбрать язык, затем нажмите → или ⊕.

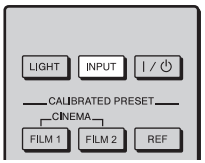
3 Нажмите кнопку MENU, чтобы выключить окно меню.

Шаг 5. Проецирование

Проецирование изображения

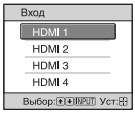
1 Включите устройство и оборудование, подключенное к устройству.

2 Нажмите INPUT для отображения панели входа на проекционной поверхности.



3 Выберите оборудование, с которого следует отображать изображения.

Нажимайте повторно INPUT или нажмите ↑/↓/⊕ (ввод) для выбора оборудования, с которого следует выполнять проецирование.



Пример: для просмотра изображения с видеооборудования, подключенного к разъему HDMI 1 данного устройства.

Выключение питания

1 Нажмите кнопку I/⏻ (ON/STANDBY).

Отобразится сообщение “ПИТАНИЕ ВЫКЛ?”.

2 Нажмите кнопку I/⏻ (ON/STANDBY) еще раз до того, как сообщение исчезнет.

Индикатор LED погаснет.

Можно отсоединить кабель питания переменного тока.

Примечания

- Ни в коем случае не отсоединяйте кабель питания переменного тока при включенном устройстве.
- Индикатор LED не меняется, если в меню “Монтаж” 🔧 для параметра “Освещение” установлено значение “Выкл”.

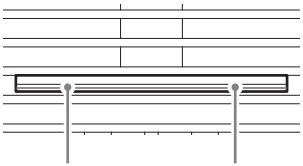
Можно отключить устройство, удерживая кнопку I/⏻ (ON/STANDBY) в течение около 1 секунды, не выполняя вышеуказанные действия.

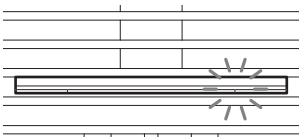
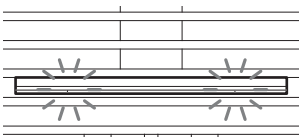
Для получения дополнительной информации см. раздел “Проецирование” в документе Инструкция по эксплуатации, содержащемся на прилагаемом компакт-диске.

Устранение ошибок

Об индикаторах

Индикатор WARNING1 или WARNING2 загорается или мигает при наличии какой-либо неисправности проектора.



Мигают/горят индикаторы	Число миганий	Вероятная причина и метод устранения
 (Мигает красным)	Три раза	Чрезмерно высокая температура источника света. Выключите питание, дайте остыть источнику света, затем снова включите питание. Если симптомы сохраняются, возможно, подходит конец срока службы источника света. Обратитесь за консультацией к квалифицированным сотрудникам компании Sony.
	Шесть раз	Устройством обнаружено сотрясение в результате падения. Если обнаружен сбой в работе устройства, обратитесь к квалифицированному персоналу компании Sony. Если сбоев в работе устройства не обнаружено, отсоедините кабель питания переменного тока и убедитесь, что индикатор LED не горит, затем подключите кабель питания переменного тока и включите устройство.
 (Мигает красным) (Мигает красным) Оба индикатора мигают	Два	Необычно высокая внутренняя температура. Убедитесь, что ничто не блокирует вентиляционные отверстия и устройство не используется высоко над уровнем моря.
	Три раза	Вентилятор вышел из строя. Обратитесь к квалифицированному персоналу Sony.

Примечание

Если индикатор начинает мигать способом, отличным от вышеуказанных, а симптомы остаются даже после выполнения вышеуказанных действий, обратитесь к квалифицированному персоналу компании Sony.

При возникновении каких-либо проблем или отображении сообщения об ошибке на экране см. раздел “Устранение ошибок” в документе Инструкция по эксплуатации, содержащемся на прилагаемом компакт-диске.